



# トヨタ ウェルキャブシリーズ



## ウェルキャブ 車いす仕様車(スロープタイプ I・II) 取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。  
取扱書は車の中に保管しましょう。

# ESQUIRE NOAH VOXY





イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 シート・室内装備

シート・室内装備に関する説明

3 車いすの車内外への  
乗り降り

スロープを使用して車いすに乗ったままでの車内外への乗降、車いすの車内での固定・解除に関する説明

4 お手入れのしかた

ウェルキャブ装備のお手入れに関する説明

5 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

6 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

さくいん

症状から検索

音から検索

五十音で検索

イラスト目次 .....	4
本書の見方 .....	10

## 1 安全・安心のために

### 1-1. 安全なドライブのために

車いすの車内外への乗降について.....	12
車いすの固定およびシートベルトの着用について.....	20
車両火災・故障・損傷を防ぐために.....	23

## 2 シート・室内装備

### 2-1. シート

シートの構成および標準車との相違点.....	26
------------------------	----

### 2-2. 室内装備

夜間照明灯.....	34
収納装備一覧.....	35

## 3 車いすの車内外への乗り降り

### 3-1. スロープを使用する前に

ご使用前に確認していただきたいこと.....	38
------------------------	----

### 3-2. 車いすの車内外への乗降・固定

操作の流れ.....	43
作動条件の確認.....	49
メインスイッチ.....	53
車高調整およびスロープの展開・格納.....	56
車いすの車内外への乗降.....	74
車いすの車内での固定・解除.....	100
車いす用シートベルト.....	106
走行する前に.....	116

## 4 お手入れのしかた

### 4-1. お手入れのしかた

手動スロープの清掃 (手動スロープ装着車).....	118
電動スロープの清掃 (電動スロープ装着車).....	120
ベルトの清掃.....	122
車いす固定装置の清掃.....	123
フロアマットの清掃 (タイプI).....	124

### 4-2. 簡単な点検・部品交換

ガレージジャッキ.....	126
---------------	-----

## 5 万ーの場合には

### 5-1. パンクしたときは

工具・ジャッキの取り出し... 128

### 5-2. 故障かな?と

お考えになる前に

ヒューズの交換..... 133

車高降下装置が  
作動しないときは..... 138

電動スロープが  
作動しないときは  
(電動スロープ装着車)..... 139

ワイヤレスリモコンの電池交換  
(電動ウインチ装着車)..... 140

### 5-3. 緊急時の対処法

電動スロープが  
格納できないときは  
(電動スロープ装着車)..... 142

セーフティベルトが引き出せ  
ない・後退防止作動しない  
ときは(セーフティベルト  
装着車)..... 146

電動ウインチが作動しないときは  
(電動ウインチ装着車)..... 148

車いす固定装置が  
作動しないときは..... 151

## 6 点検・整備項目

### 6-1. 点検・整備項目

定期点検整備..... 154

## さくいん

こんなときは  
(症状別さくいん)..... 158

車から音が鳴ったときは  
(音さくいん)..... 165

五十音順さくいん..... 168

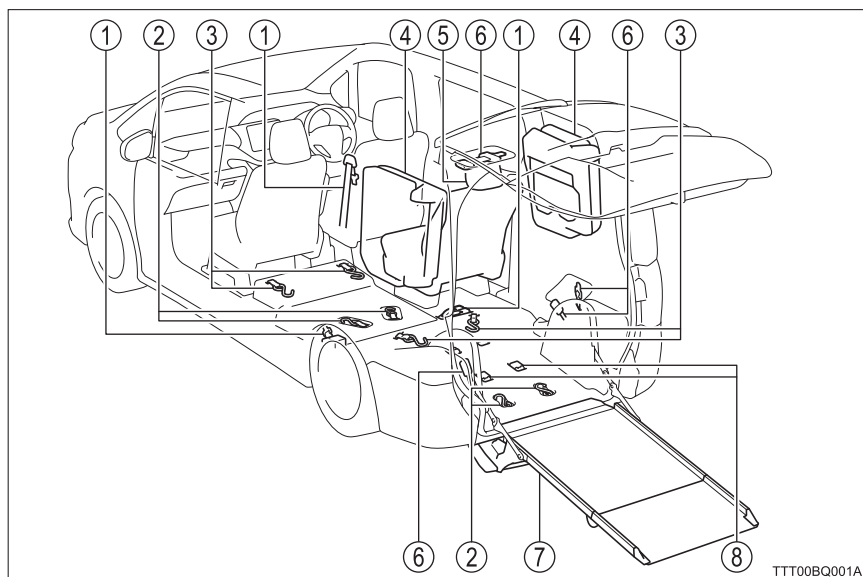
本書はウェルキャブ 車いす仕様車(スロープタイプ I・II)の装備について記載しています。

車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

# イラスト目次

## ■ タイプ I



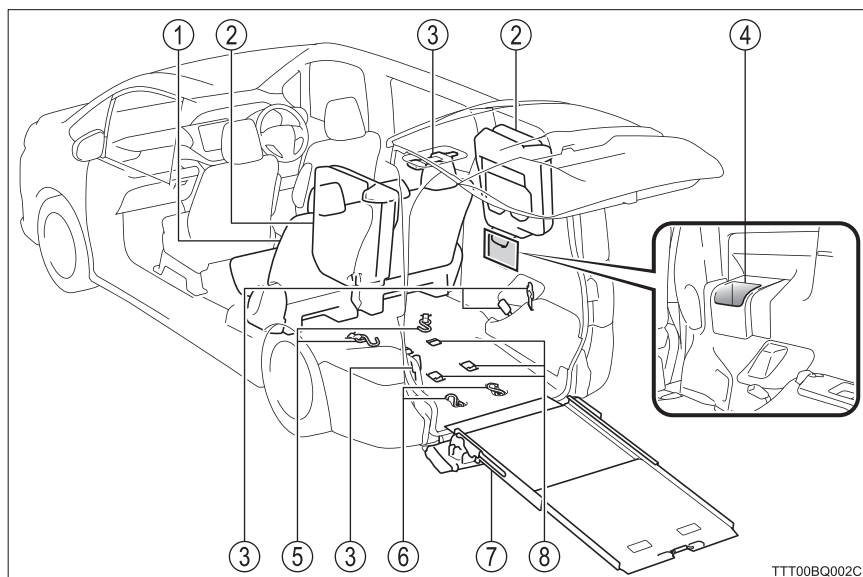
- |                      |            |
|----------------------|------------|
| ① 車いす用シートベルト（セカンド席用） | P.106      |
| セカンド席での着用            | P.107      |
| 清掃                   | P.122      |
| ② 車いす固定装置*           |            |
| 車いすの固定               | P.100      |
| 車いすの固定解除             | P.102      |
| 作動条件                 | P.49       |
| 清掃                   | P.122, 123 |
| 作動しないときは             | P.151      |

- ③ **セーフティベルト★※**
- 車いすの車内への乗り入れ ..... P.75
  - 車いすの車外への降車 ..... P.79
  - 作動条件 ..... P.49
  - 清掃 ..... P.122
  - 作動しないときは ..... P.146
- 電動ウインチ★※**
- 車いすの車内への乗り入れ ..... P.82
  - 車いすの車外への降車 ..... P.86
  - 作動条件 ..... P.49
  - 清掃 ..... P.122
  - 作動しないときは ..... P.148
- ④ **サードシート ..... P.27**
- ⑤ **セカンドシート ..... P.26**
- ⑥ **車いす用シートベルト（サード席用）※ ..... P.106**
- サード席での着用 ..... P.109
  - 清掃 ..... P.122
- ⑦ **手動スロープ★**
- 展開 ..... P.56, 57
  - 格納 ..... P.58
  - 手動スロープ前倒れ機構 ..... P.59, 60
  - 清掃 ..... P.118
- 電動スロープ★**
- 展開 ..... P.62
  - 格納 ..... P.63
  - 作動条件 ..... P.49
  - 清掃 ..... P.120
  - 作動しないときは ..... P.139
  - 格納できないときは ..... P.142
- ⑧ **床面ロック ..... P.30**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：サード席用のセーフティベルト／電動ウインチ、車いす用シートベルトおよび車いす固定装置は、車いす2脚仕様に装備されます。

## ■ タイプII



①	セカンドシート*	P.26
②	サードシート (タイプII “サードシート付”)	P.27
③	車いす用シートベルト	P.106
	着用	P.109
	清掃	P.122
④	デッキポケット (タイプII “サードシート無”)	P.35
⑤	セーフティベルト★	
	車いすの車内への乗り入れ	P.75
	車いすの車外への降車	P.79
	作動条件	P.49
	清掃	P.122
	作動しないときは	P.146
	<b>電動ウインチ★</b>	
	車いすの車内への乗り入れ	P.82
	車いすの車外への降車	P.86
	作動条件	P.49
	清掃	P.122
	作動しないときは	P.148



- ⑥ **車いす固定装置**
  - 車いすの固定 . . . . . P.100
  - 車いすの固定解除 . . . . . P.102
  - 作動条件 . . . . . P.49
  - 清掃 . . . . . P.123
  - 作動しないときは . . . . . P.151
- ⑦ **手動スロープ★**
  - 展開 . . . . . P.56, 57
  - 格納 . . . . . P.58
  - 手動スロープ前倒れ機構 . . . . . P.59, 60
  - 清掃 . . . . . P.118

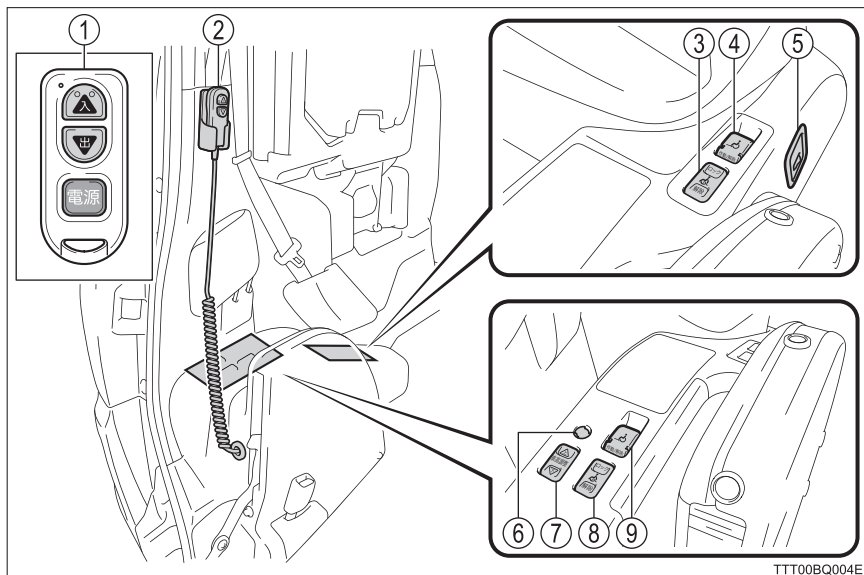
**電動スロープ★**

  - 展開 . . . . . P.62
  - 格納 . . . . . P.63
  - 作動条件 . . . . . P.49
  - 清掃 . . . . . P.120
  - 作動しないときは . . . . . P.139
  - 格納できないときは . . . . . P.142
- ⑧ **床面ロック . . . . . P.30**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：サードシート付（FF車）およびサードシート無（全車）は3人掛けチップアップシート、サードシート付（4WD車）は1人掛けキャプテンシート（左右席）が装備されます。

## ■ 車内左側後部



TTT00BQ004E

※：上図は説明用にすべてのスイッチ類を配置したものであり、実際を上図のような仕様は存在しません。

- |   |  |            |
|---|--|------------|
| ① | ワイヤレスリモコン※ <sup>1</sup> .....            | P.81       |
|   | 車内への乗り入れ .....                           | P.84       |
|   | 車外への降車 .....                             | P.86       |
|   | 電池交換 .....                               | P.140      |
| ② | 操作スイッチ※ <sup>2</sup>                     |            |
|   | 作動条件 .....                               | P.49       |
|   | 電動スロープ展開／車高降下 .....                      | P.62       |
|   | 車高復帰／電動スロープ格納 .....                      | P.63       |
|   | 作動しないときは .....                           | P.139      |
| ③ | 固定装置スイッチ（セカンド席用）※ <sup>3</sup> .....     | P.101, 102 |
| ④ | セーフティベルトスイッチ（セカンド席用）※ <sup>4</sup> ..... | P.76, 80   |
|   | ウインチスイッチ（セカンド席用）※ <sup>5</sup> .....     | P.82, 86   |

※<sup>1</sup>：電動ウインチ装着車に装備されます。

※<sup>2</sup>：電動スロープ装着車に装備されます。

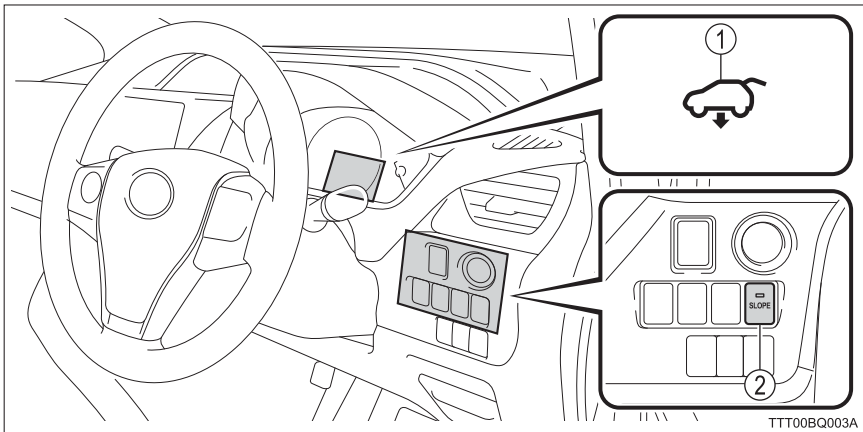
※<sup>3</sup>：タイプ I に装備されます。

※<sup>4</sup>：タイプ I のセーフティベルト装着車に装備されます。

※<sup>5</sup>：タイプ I の電動ウインチ装着車に装備されます。

- ⑤ 夜間照明灯 ..... P.34
- ⑥ 車高降下装置異常ランプ ..... P.65
- ⑦ 車高調整スイッチ<sup>※6</sup>
  - 作動条件 ..... P.49
  - 車高降下 ..... P.56
  - 車高復帰 ..... P.58
  - 作動しないときは ..... P.138
- ⑧ 固定装置スイッチ（サード席用）<sup>※7</sup> ..... P.101, 102
- ⑨ セーフティベルトスイッチ（サード席用）<sup>※8</sup> ..... P.76, 80
- ウインチスイッチ（サード席用）<sup>※9</sup> ..... P.82, 86

## ■ 運転席まわり



- ① 車高調整インジケーター ..... P.56, 62
- ② メインスイッチ
  - ON / OFF ..... P.53
  - 各装置の作動条件 ..... P.49

※6： 手動スロープ装着車に装備されます。

※7： タイプⅠ “車いす 2 脚仕様” / タイプⅡ に装備されます。

※8： タイプⅠ “車いす 2 脚仕様” / タイプⅡ のセーフティベルト装着車に装備されます。

※9： タイプⅠ “車いす 2 脚仕様” / タイプⅡ の電動ウインチ装着車に装備されます。

## 本書の見方



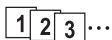
**警告**

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



**注意**

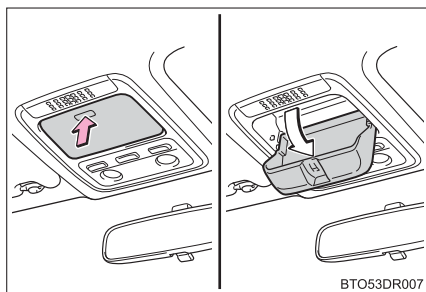
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

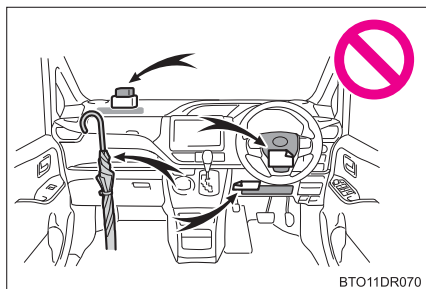
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



**知識**

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

## 安全・安心のために

～必ずお読みください～

### 1

#### 1-1. 安全なドライブのために

車いすの車内外への 乗降について.....	12
車いすの固定およびシート ベルトの着用について.....	20
車両火災・故障・損傷を 防ぐために.....	23

## 車いすの車内外への乗降について

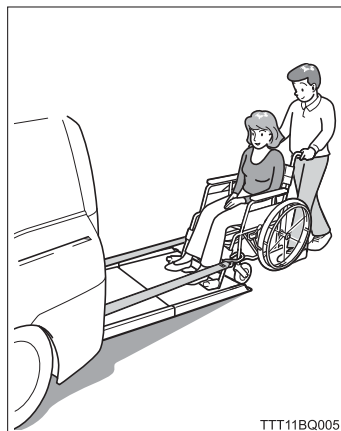
- 本書におけるウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプⅠ・Ⅱ）の操作はすべて介助の方が行ってください。
- この項目では、スロープおよびセーフティベルト★または電動ウインチ★を使用しての車内外への乗降について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

### 警告

#### ■ ウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプⅠ・Ⅱ）の操作をするときは

操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。

- 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあり危険です。（車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください）
- 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。



TTT11BQ005

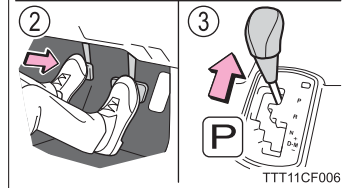
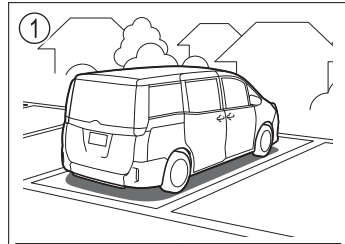
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 警告

### ■スロープを使用する前に

- 安全で平坦な場所に駐車してください。交通量の多い道路や狭いところ、不整地や傾斜地でスロープを使用すると、思わぬ事故や車両の損傷につながるおそれがあり危険です。

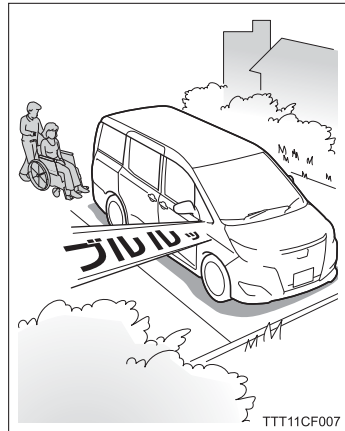
- ① 安全で平坦な場所に駐車する
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトレバーをPの位置にする



- エンジンをかけた状態で使用してください。

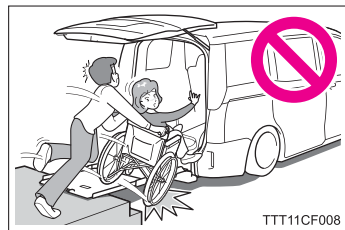
- ・ エンジン停止状態ではバッテリーあがりの原因になったり、十分な性能を引き出せないおそれがあります。
- ・ エンジン停止状態では車高降下装置は作動しません。

- 乗降するときはヘッドランプを点灯および非常点滅灯を点滅させ、周囲へ注意をうながしてください。



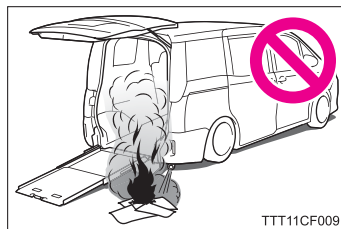
- 階段や段差を利用して車いすの乗り入れをしないでください。

- 段差を利用すると車いすがスロープから転落したり、スロープが段差からはずれて破損するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

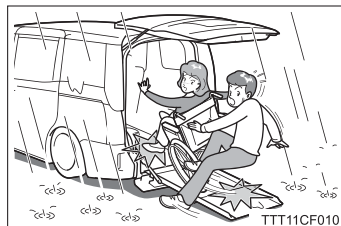


## 警告

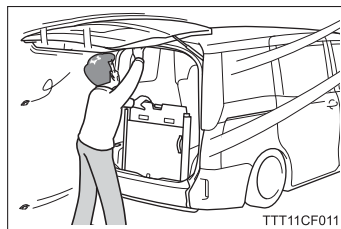
- 可燃物付近に駐車しないでください。  
車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると、火災になるおそれがあり危険です。  
スロープ使用時、車高降下により排気管の位置が大きくなり下がりますので、特にご注意ください。



- 悪天候時、スロープを使用するときは、すべりやすくなりますのでご注意ください。  
風の強い場所や風雨の強い日、降雨時や降雪時などは特に注意してください。



- 強風時、バックドアが閉まることがあります。  
バックドアが頭にあたるおそれがありますので、注意してください。



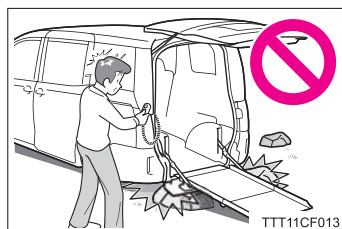
## ■ 車高を下げる前に

- 車両周辺・下側、バックドア下側や後輪付近に人や突起物などがいないことを確認してください。  
車両後部の車高が下がるため（バックドアも車高に合わせて下がります）、頭を打ったり、手足を挟むなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、車両を損傷するおそれもあります。

### ▶ 手動スロープ装着車



### ▶ 電動スロープ装着車





## 警告

- 車高調整およびサイドリフトアップチルトシートを同時に作動させないでください。(サイドリフトアップチルトシート装着車)  
車両後部の車高が下がるため、サイドリフトアップチルトシートからの転落やシートが地面と接触するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ 不測の事態により車高降下を途中でやめたいときは

車高降下装置の作動途中で、次のように操作すると、ただちに車高降下が停止します。

#### ▶ 手動スロープ装着車

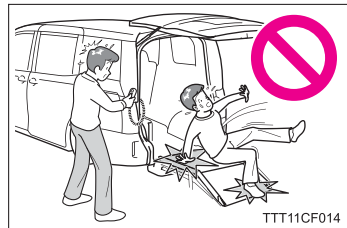
車高調整スイッチの「上」「下」どちらかを短く押す

#### ▶ 電動スロープ装着車

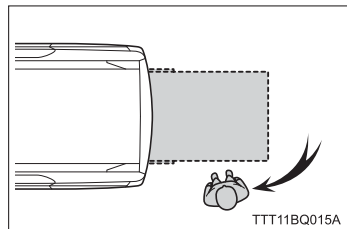
電動スロープの展開完了後、操作スイッチの「上」「下」どちらかを短く押す

### ■ 電動スロープを開閉するときは（電動スロープ装着車）

- 作動範囲内に人がいないことを確認し、作動範囲内で操作しないでください。  
作動範囲内にいると電動スロープが手足にあたったり、手足を巻き込まれるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



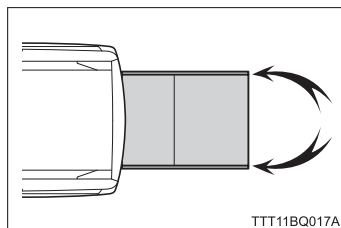
- 電動スロープを操作するときは、車両から少し離れた斜め後方で操作してください。



## 警告

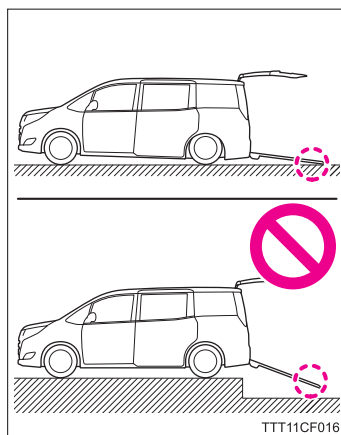
### ■ スローブに車いすを乗降するときは

- スローブに乗降するときは、足元および車いすの車輪がスローブ端部より出ないように注意してください。スローブ端部より出ると、スローブから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



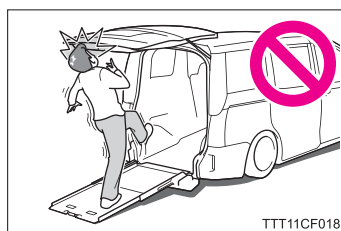
TTT11BQ017A

- 車高降下装置による車高降下およびスローブ展開完了後、スローブ先端が完全に接地していることを確認してください。段差やスローブ下部にもものがあたるなどにより、スローブ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スローブから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スローブが破損するおそれもあります。



TTT11CF016

- 頭上の安全を確認しながらゆっくり乗り入れ、頭をバックドアやドア開口部にあてないように注意してください。(→ P.40)



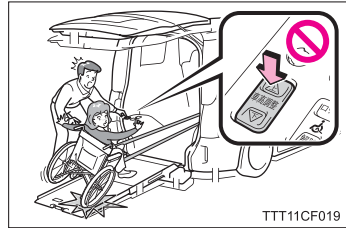
TTT11CF018

## 警告

- 不要なスイッチ類の操作およびシフトレバーを操作しないでください。装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

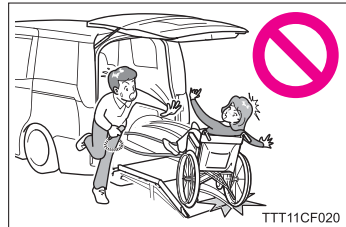
### ▶ 手動スロープ装着車

車高調整スイッチの「上」を押すと、車高が復帰するため、手動スロープの角度が変わります。



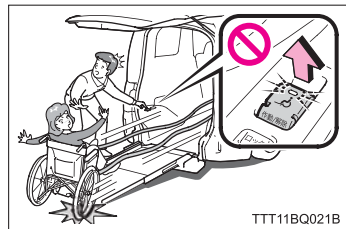
### ▶ 電動スロープ装着車

操作スイッチを押すと、電動スロープが動きます。



### ▶ セーフティベルト★または電動ウインチ★

セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引くと、後退防止作動が解除されます。



### ▶ 車高降下中にシフトレバーをP以外の位置にした場合

次のように作動します。

- ・ 車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わります。
- ・ バックドアが開いていることを知らせるため、ブザーが鳴ります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

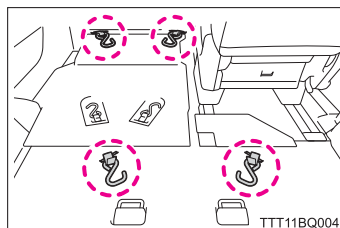
## 警告

### ■ 電動ウインチを使用するときは（電動ウインチ装着車）

電動ウインチ作動時、ベルトやベルト巻き取り部にふれないでください。

ベルトの巻き取り不良やベルト巻き取り部に手などを巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 : ベルト巻き取り部

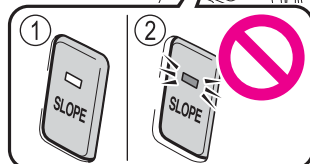
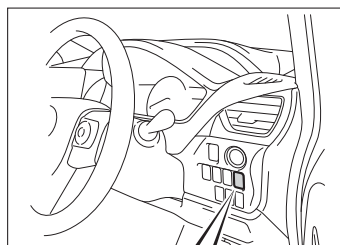


TTT11BQ004

### ■ スロープを使用しないときは

メインスイッチを OFF にしてください。メインスイッチを ON にしていると、装置の不意な作動により、重大な事故につながるおそれがあり危険です。（各装置の作動条件→ P.49）

- ① OFF
- ② ON



TTT11BQ001

### ■ 助手席側スライドドアを開けて車内外に乗降するときは

足元に注意してください。ステップの端に足をのせると、足を踏みはずし、転倒したり車両から転落するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

車いすがセカンド席に乗り入れ・固定している場合、乗降時の足元スペースが狭くなるため、十分注意してください。



TTT11BQ030

**警告****■ 車内後部のカバーについて**

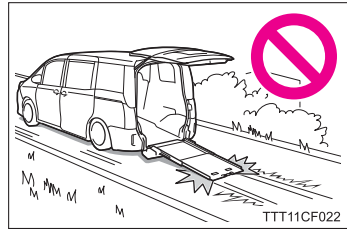
車内後部のカバーの上に乗ったり、座ったりしないでください。

- カバーから転落してけがをするおそれがあります。
- カバーの中には装置の作動をコントロールする機器が設けてあります。過度な力が加わるとカバーの破損や機器の故障の原因になります。

**■ 走行するときは**

スロープを展開したまま車を移動させないでください。

スロープを展開したまま車を移動させると、スロープの損傷やスロープおよびバックドアが車外の人やものにあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



## 車いすの固定およびシートベルトの着用について

車内に乗車後の車いすの固定およびシートベルトの着用について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

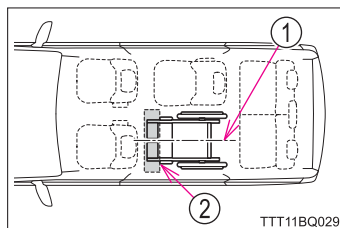
### 知識

#### ■ 車いすの停止位置について

##### ▶ セカンド席（1脚固定時）（タイプⅠ）

- ① 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ② 前後位置：車いすの前輪が車輪止めにあたる位置で停止する

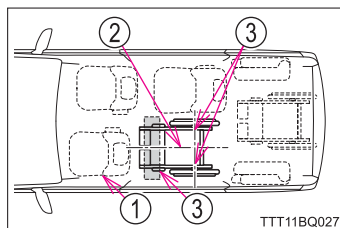
車いすの車内への乗り入れ方（→P.75, 82）



##### ▶ セカンド席（2脚固定時）（タイプⅠ “車いす2脚仕様”）

- ① 助手席シートを前方にスライドさせる
- ② 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ③ 前後位置：車いすの前輪は車輪止めを乗り越え、車いすの後輪中央と床面黄色線が合う位置に停止させる

車いすの車内への乗り入れ方（→P.88）

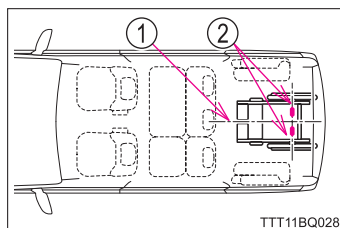


##### ▶ サード席（タイプⅠ “車いす2脚仕様” / タイプⅡ）

- ① 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ② 前後位置：車いすの後輪中央と床面ロックの黄色マークが合う位置に停止させる

サード席での車いすの停止位置は、セカンド席の車いすの有無に関係なく、上記の位置になります。

車いすの車内への乗り入れ方（→P.75, 82）



## 警告

### ■ 走行前の車いす固定状態の確認

走行前に車いすが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、走行中に車いすが動きだし、転倒したり車いすが損傷するなど重大な事故につながるおそれがあります。

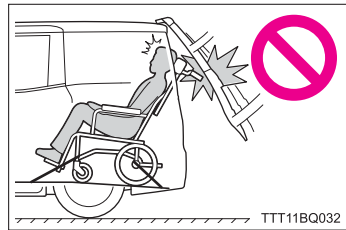
- セーフティベルト★の固定状態を確認するときは、ベルトを強く引っ張り、ベルトが確実に巻き締まっていることを確認してください。(→ P.79)
- 電動ウインチ★のベルトの固定状態を確認するときは、ベルトを強く引っ張り、ベルトに確実に張力がかかっていることを確認してください。(→ P.85)
- 車いす固定装置での車いすの固定状態を確認するときは、車いすを前後にゆすり、ベルトおよびワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。(→ P.101)

### ■ バックドアを閉めるときは：サード席乗り入れ時

バックドアが車いす乗車の方および車いすにあたらないことを確認しながら、ゆっくり閉めてください。

バックドアが車いす乗車の方の頭にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

また、車いすおよびバックドアが破損するおそれもあります。



### ■ 車いすのタイヤ空気圧について

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 警告

### ■ 車いす乗車の方のシートベルト着用確認

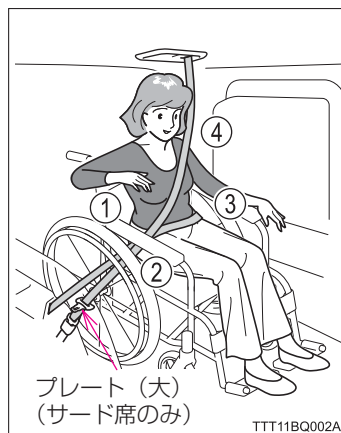
走行中は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

サード席の肩部ベルトは、必ずプレート（大）（小）とも格納箱から取り出し、プレート（大）は下側にたらししておきます。（→ P.109, 110）

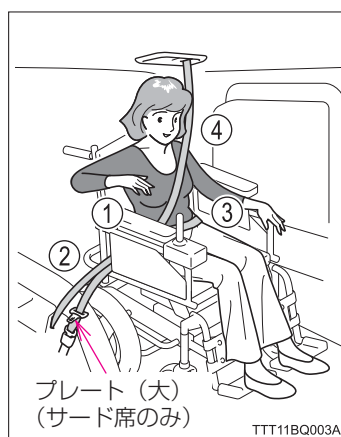
#### ▶ 手動車いす（サード席での着用例）

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② アームレストの下とスポークのあいだを通す
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる  
腰部ベルトがねじれがないようにしてください。
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける  
・ 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。  
・ 肩部ベルトがねじれがないようにしてください。



#### ▶ 電動車いす（サード席での着用例）

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② アームレストの下とスカートガードのあいだを通す
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる  
腰部ベルトがねじれがないようにしてください。
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける  
・ 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。  
・ 肩部ベルトがねじれがないようにしてください。





## 車両火災・故障・損傷を防ぐために

車両火災・故障・損傷を防ぐために、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

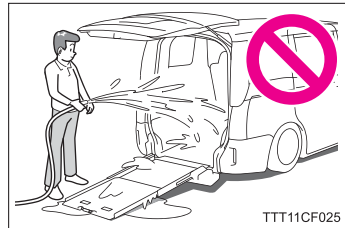
### 警告

#### ■清掃するときは

車内を水洗いしないでください。  
電気部品に水がかかると、故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。

万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

手入れ、清掃のしかたは、装置により異なります。P.117「お手入れのしかた」を参照し、正しく手入れ、清掃をしてください。



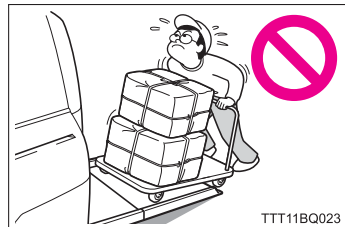
### 注意

#### ■スロープについて

スロープの耐荷重は 200kg です。

●スロープ先端接地時、スロープに乗り入れる「車いす+車いす乗車の方+手荷物+介助の方」の合計重量が 200kg 以下であることを確認してください。

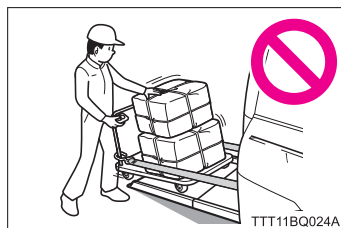
●スロープは車いすの乗り降り専用です。荷物を載せたり耐荷重をこえるとスロープが損傷したり、セーフティベルト★または電動ウインチ★が故障するおそれがあります。



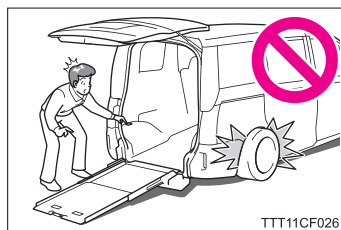
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**注意****■ セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用するときは**

セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用して、車いす以外のものを車内外に出し入れしないでください。  
セーフティベルト★の後退防止機構または電動ウインチ★が故障したり、ベルトが切れるおそれがあります。

**■ タイヤ交換をするときは**

装着されているタイヤサイズ以外のタイヤを装着しないでください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## シート・室内装備

# 2

### 2-1. シート

シートの構成および 標準車との相違点.....	26
----------------------------	----

### 2-2. 室内装備

夜間照明灯.....	34
収納装備一覧.....	35

## シートの構成および標準車との相違点

標準車のセカンドシート・サードシートと本車両のセカンドシート・サードシートの相違点をまとめてあります。

この項目に記載されていない使用方法（シートベルトの着用やチャイルドシートの取り付けなど）は標準車と同様ですので、標準車取扱書を参照してください。

### セカンドシート

#### ▶ タイプ I

セカンドシート	標準車との相違点	
1人掛け キャプテンシート	シート構成	標準車：左右席 本車両：右席のみ
	アームレスト	標準車：左右 本車両：右のみ
	シートサイド テーブル	標準車：あり 本車両：なし
	横スライド	標準車：可能 本車両：不可能
	前後スライド 機構	本車両：標準車に対して後方スライド量規制

#### ▶ タイプ II（サードシート付〈FF車〉／サードシート無〈全車〉）

セカンドシート	標準車との相違点	
3人掛け チップアップシート	前後スライド 機構	本車両：標準車に対して後方スライド量規制
1人掛け キャプテンシート	シート構成	標準車：左右席 本車両：右席のみ

## ▶ タイプⅡ（サードシート付〈4WD車〉）

セカンドシート	標準車との相違点	
1人掛け キャプテンシート	前後スライド 機構	本車両：標準車に対して後方スライド量規制（スーパーリラックスモード不可能）

## サードシート

車両		サードシート	標準車との相違点	
タイプⅠ		3人掛け スペースアップ シート	床面ロック	フロア形状変更に合わせて、格納床面ロックを装備
タイプⅡ	サードシート 付			
	サードシート 無	なし※		

※：タイプⅡ“サードシート無”にサードシートは装備されませんが、格納床面ロックは装備されます。

上記に伴い、サードシートの格納方法が標準車と異なります。サードシートを格納するときは、「■サードシートの格納のしかた（→P.28）」の方法で格納してください。

### ■ サードシートの格納のしかた

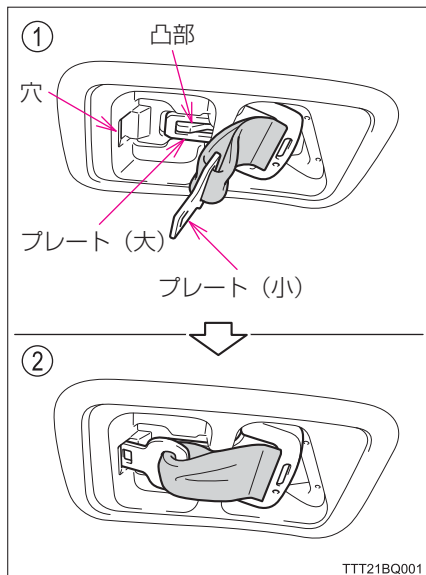
1 車を停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする

2 スロープを展開する（手動スロープ前倒れ時を除く→P.57, 62）

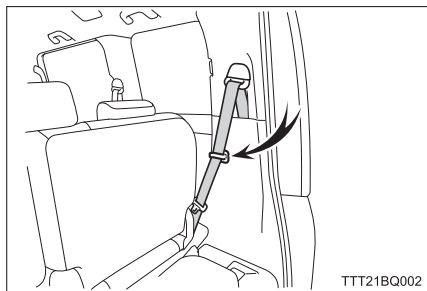
3 中央席のシートベルトを格納する

① プレート（大）の穴を格納箱の凸部にはめ込む

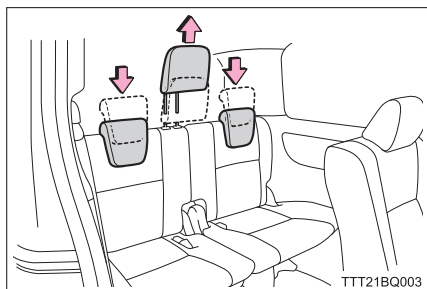
② プレート（小）を格納箱の穴に挿し込む



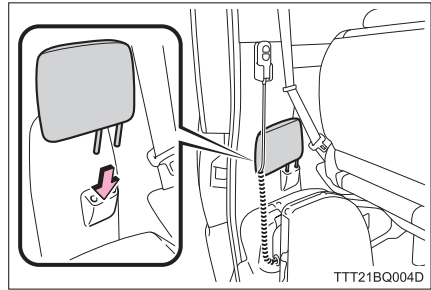
4 サードシート左右席のシートベルトをシートベルトクリップに挟む



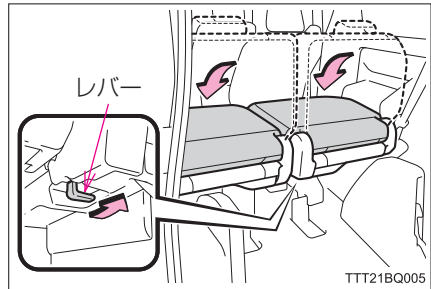
5 サードシート左右席のヘッドレストを下げ、中央席のヘッドレストを取りはずす



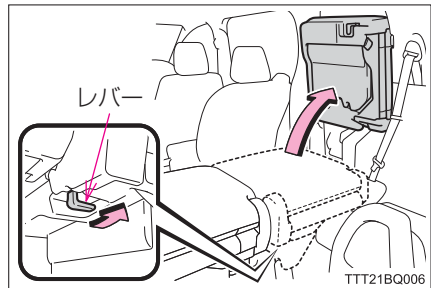
- 6 中央席のヘッドレストを車両左側後部に格納する



- 7 サードシート後下部のレバーを引き、背もたれを前方に倒す  
レバーは引き続けしないでください。(引き続けると、シートがはね上がります)

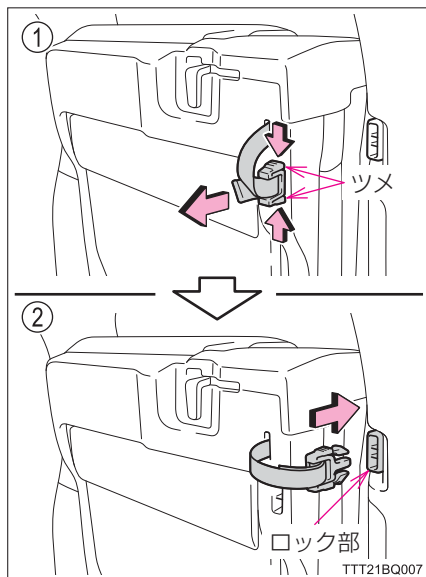


- 8 レバーをさらに引き、シートをはね上げる  
シートのはね上げと連動して、シート脚部が格納されます。

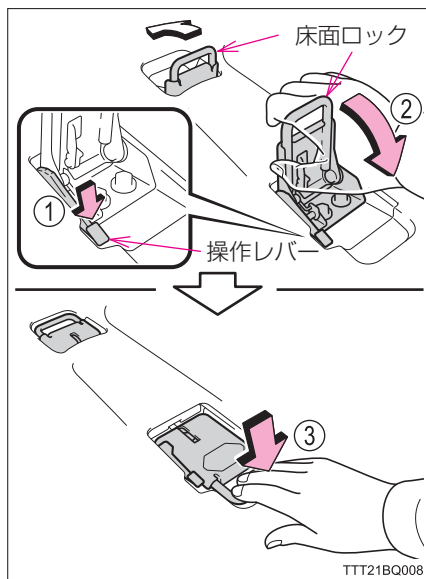


**9** シートを固定する

- ① シートクッション裏側にあるシート固定ベルトの上下のツメを押して取り出す
- ② シート固定ベルトをロック部に挿し込む

**10** シートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認する**11** 床面ロックを格納する

- ① 操作レバーを押してロックを解除する
- ② 後側床面ロックを持って格納する  
前側床面ロックも連動して格納されます。
- ③ 後側床面ロックを上から押さえ、完全に格納する  
いっぱいまで格納すると“カチッ”と音がしてロックされます。(操作レバーがロック位置にもどります)

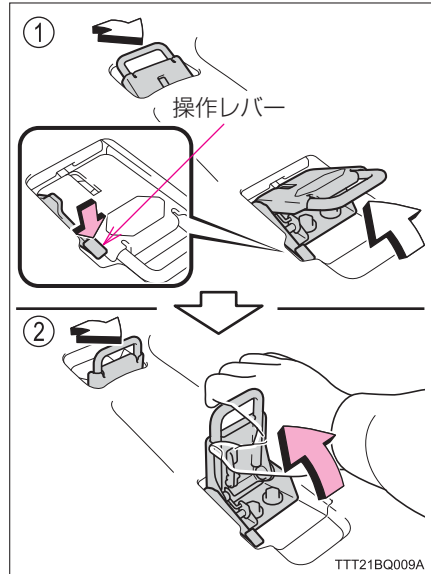
**12** スロープを格納する (→ P.58, 63)



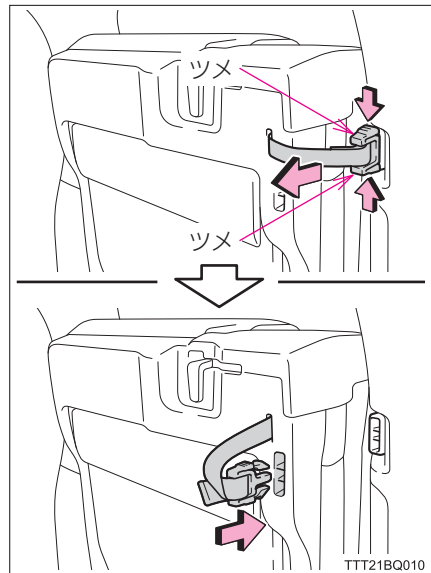
## ■ サードシートのもどし方

- 1 車を停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 スロープを展開する (→ P.57, 62)
- 3 床面ロックを取り出す

- ① 操作レバーを押すと、床面ロックが少し持ちあがります。
- ② 後側床面ロックをいっぱいまで起こすと、前側床面ロックも連動して起き上がります。いっぱいまで起こすと、床面ロックがロックされます。

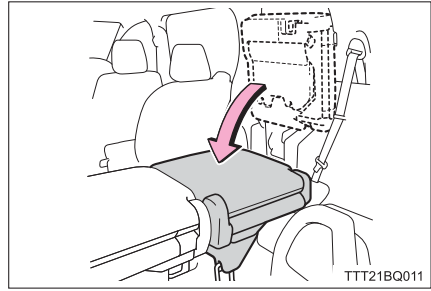


- 4 シート固定ベルトの上下のツメを押してはずし、シートクッション裏側に格納する  
シートを押し、ベルトをゆるめた状態でツメを押します。



**5** シートをおろし、シート脚部を床面ロックに確実に固定させる

- ・シートをおろす動きと連動して、シート脚部が出てきます。
- ・シートを上から押さえ、確実に固定させます。



**6** サードシートの背もたれを起こす

**7** スロープを格納する (→ P.58, 63)

**警告**

**■ サードシートの格納およびもどす操作をするときは**

- 走行中はサードシートの格納およびもどす操作をしないでください。
- サードシートを格納したときは、サードシートをシート固定ベルトで確実に固定してください。  
固定しなかったり、固定していても確実に固定されていないと、サードシートが倒れ、サード席の車いす乗車の方にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- サードシートを格納したときは、床面ロックを必ず格納してください。  
床面ロックが起きたままだと車内を移動するときにつまずいたり、車いすの車輪が引っかかって転倒するなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、床面ロックを破損するおそれもあります。
- 床面ロックの操作をするときは、可動部や結合部で手や足を挟まないよう、注意してください。
- サードシートをもどしたときは、シートを前後左右にゆすり、さらにシートクッションを持ち上げ、シート脚部が床面ロックで確実に固定されたことを確認してください。  
確実に固定されていないとシートが動き、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 **注意****■ サードシートの操作をするときは**

- スロープが格納された状態でサードシートの背もたれを後方に倒すときは、背もたれがスロープにあたらないことを確認してください。  
背もたれを倒しすぎるとスロープとあたり、損傷するおそれがあります。
- 床面ロックを格納状態から起こす前に、床面ロックの上に荷物などが載っていないことを確認してください。  
荷物の重みで床面ロックの作動がさまたげられ、故障の原因になります。
- サードシートをもどす前に、床面ロックがいちばん起きた位置で確実にロックしていることを確認してください。
  - ・ 床面ロックがいちばん起きた位置かつロックしていない状態でサードシートをもどすと、サードシート脚部および床面ロックを破損するおそれがあります。
  - ・ 手動スロープ装着車の場合、床面ロックを起こさない状態で手動スロープを前倒れにし、サードシートをもどすと、サードシートの脚部が前倒れにした手動スロープにあたり、手動スロープおよびサードシートの傷付き・変形の原因になります。

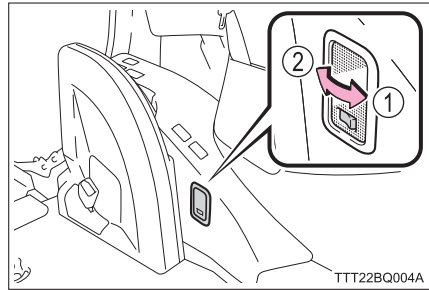
## 夜間照明灯

夜間の乗降時、足元を明るく照らします。

### 点灯のしかた

バックドアが開いているとき、スイッチを ON にする

- ① ON (点灯)
- ② OFF (消灯)



### 消灯のしかた

次のいずれかの状態にすると消灯します。

- バックドアを閉める  
スイッチの状態に関係なく消灯します。
- スイッチを OFF にする

### 知識

#### ■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンスイッチが“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、または OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の場合、夜間照明灯が点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

### 警告

#### ■ 点灯時および消灯直後は

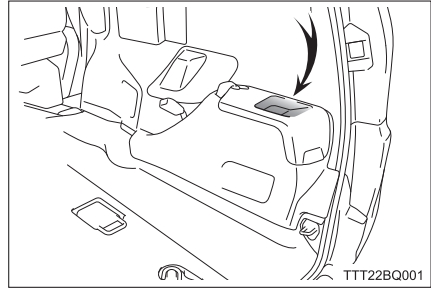
夜間照明灯のレンズにふれないでください。  
夜間照明灯のレンズは高温のため、やけどをするおそれがあります。

## 収納装備一覧

次の場所に小物入れが装備されます。

### ジャッキカバートレイ

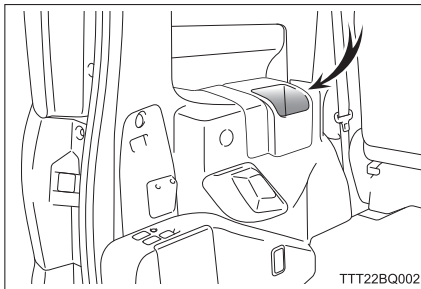
電動ウインチ用のワイヤレスリモコンなど、小物を置くことができます。



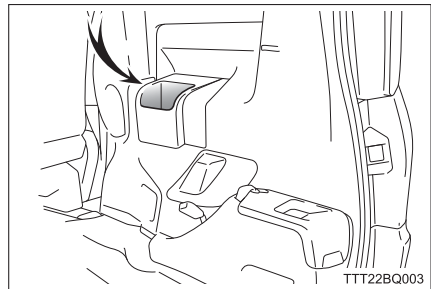
### デッキポケット (タイプⅡ “サードシート無”)

500mL のペットボトルが片側 2 本収納可能です。

▶ 車内左側



▶ 車内右側





## 車いすの車内外への 乗り降り

### 3

3-1. スロープを使用する前に ご使用前に確認して いただきたいこと .....	38
3-2. 車いすの車内外への 乗降・固定	
操作の流れ .....	43
作動条件の確認 .....	49
メインスイッチ .....	53
車高調整およびスロープの 展開・格納 .....	56
車いすの車内外への乗降 .....	74
車いすの車内での 固定・解除 .....	100
車いす用シートベルト .....	106
走行する前に .....	116

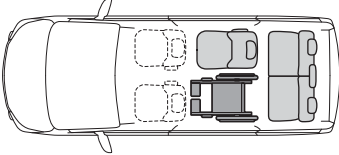
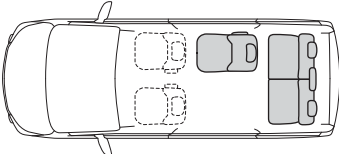
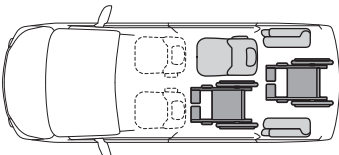
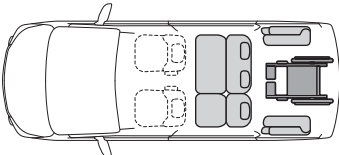
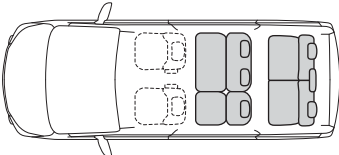
## ご使用前に確認していただきたいこと

車いすまたは人を乗せた車いすを、スロープ上を移動して車に乗り降りさせます。

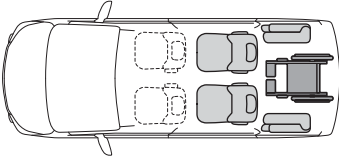
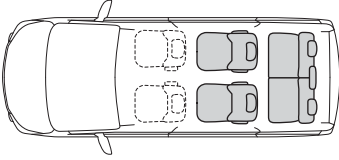
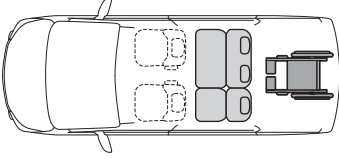
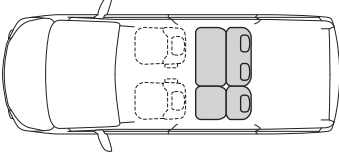
車高降下装置で車両後部の車高を低下させ、車いすの車内外への乗り降りを容易にします。

操作はすべて介助の方が行ってください。

### 室内レイアウト

車両タイプ		室内レイアウト	乗車人数
タイプ I	車いす 1脚仕様		車いすご利用時 乗車人数 7名 (6名+車いす 1名)
	車いす 2脚仕様		車いすを ご利用しないとき 乗車人数 6名
	車いす 2脚仕様		車いすご利用時 乗車人数 5名 (3名+車いす 2名)
タイプ II	サードシート 付 (FF車)		車いすご利用時 乗車人数 6名 (5名+車いす 1名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 8名



車両タイプ		室内レイアウト	乗車人数
タイプ II	サードシート 付 (4WD 車)		車いすご利用時 乗車人数 5 名 (4名+車いす 1名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 7 名
	サードシート 無 (全車)		車いすご利用時 乗車人数 6 名 (5名+車いす 1名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 5 名

### スマートエントリー&スタートシステムについて

スマートエントリー&スタートシステムでのバックドアの施錠・解錠ができません。

バックドアを開閉するときは、車両側のワイヤレスリモコン（→標準車取扱書の「ワイヤレスリモコン」）で全ドアを解錠してから、バックドアを開けてください。

### 路面について

スロープは水平で平坦な場所での使用が条件になります。  
また、車両周辺・下側に突起物などが無いことを確認してください。

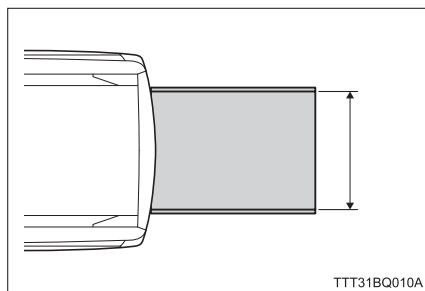
## 重量について

スロープの耐荷重は 200kg です。

- スロープ先端接地時、スロープに乗り入れる「車いす+車いす乗車の方+手荷物+介助の方」の合計重量が 200kg 以下であることを確認してください。
- 手動スロープ装着車で手動スロープを前倒れにしたときは、手動スロープの上に載せる荷物の重量が 200kg 以下であることを確認してください。

## スロープ内幅について

スロープ種類	内幅
手動スロープ★	750mm
電動スロープ★	740mm



TTT31BQ010A

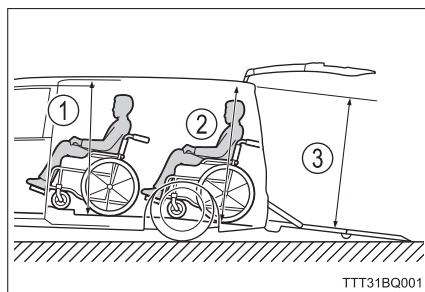
## 車いすのタイヤ空気圧について

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

## 車いす乗車の目安

- ① 有効室内高 1325mm
- ② 有効室内高 1390mm ※
- ③ 開口高 1380mm (車高降下時)

※：首が曲がらない方の場合、有効室内高ではなく、開口高(1380mm)を乗車の目安にしてください。



TTT31BQ001

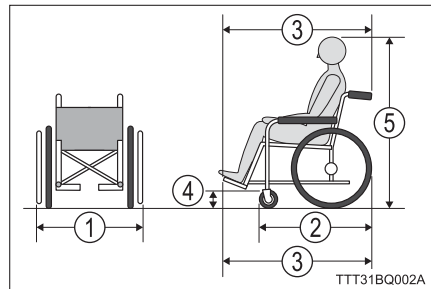
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 乗車可能な車いすについて

次の寸法を満たしていることを確認してください。

- 一部の電動車いすは乗車できないため、その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 車いすのフレーム形状によっては、車いす固定装置のフックが正しくかけられないときがあります（→P.100）。その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 車いすのアームレスト下側にカバーなどがある場合、シートベルトを正しく着用できないときがあります（→P.106～110）。その際はトヨタ販売店にご相談ください。

- ① 車いす全幅
- ② 車いす前輪の前端から後端までの距離
- ③ 車いすのフットレスト先端から後端までの距離
- ④ 地面からフットレストの最下端までの距離  
フットレスト自体よりフレームの方が低い場合は、フレーム下端まで
- ⑤ 乗車可能な座高と着座面の高さの合計



乗車位置 部位	セカンド席		サード席	
	車いす 1 脚 乗車時	車いす 2 脚 乗車時	手動スロープ 装着車	電動スロープ 装着車
①	670mm 以下	670mm 以下	825mm 以下	670mm 以下
②	830mm 以下	720mm 以下*	720mm 以下	720mm 以下
③	1150mm 以下	980mm 以下*	980mm 以下	980mm 以下
④	60mm 以上	60mm 以上	制限なし	制限なし
⑤	1315mm 以下	1315mm 以下	1370mm 以下	1370mm 以下

\*：助手席シートをいちばん前までスライドさせた場合

**警告****■ 走行するときは**

スロープを展開したまま車を移動させないでください。  
スロープが損傷したり、スロープおよびバックドアが車外の人やものにあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P.19)

**■ 車いすのタイヤ空気圧について**

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

**■ 車いすを車内に乗り入れたときは**

● タイプ I でセカンド席に車いすを乗り入れたときは、助手席シートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。  
助手席シートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすおそれがあります。車いす乗り入れ後、助手席シートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

● サード席に車いすを乗り入れたときは、セカンドシートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。  
セカンドシートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすおそれがあります。車いす乗り入れ後、セカンドシートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

● サード席に車いすを乗り入れたときは、サイドリフトアップチルトシートを動作させないでください。(サイドリフトアップチルトシート装着車)  
サイドリフトアップチルトシートの操作を行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすおそれがあり危険です。車いす乗り入れ後にサイドリフトアップチルトシートを調整する必要があるときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

**注意****■ 損傷を防ぐために**

スロープの耐荷重 200kg (→ P.40) をこえないようにしてください。  
スロープが損傷するおそれがあります。

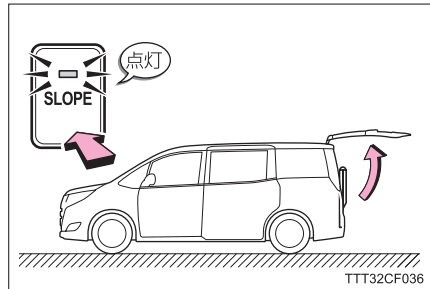
## 操作の流れ

スロープ・セーフティベルト★または電動ウインチ★および車いす固定装置を使用して車いすを車内外に乗降・固定するときは、次の手順で行います。

すべての操作は必ず介助の方が行ってください。

### 車いすを車内に乗り入れ・固定するときは

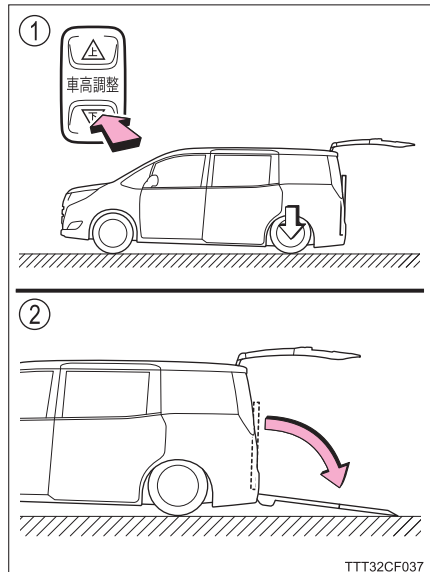
- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 メインスイッチをONにし、バックドアを開ける（→P.53）



- 3 車高降下およびスロープを展開する

#### ▶ 手動スロープ装着車

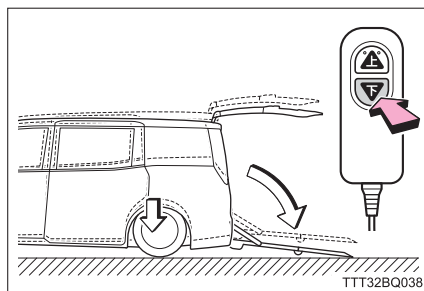
- ① 車高調整スイッチの「下」を押し、車高降下させる（→P.56）
- ② 手動スロープを展開する（→P.57）



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

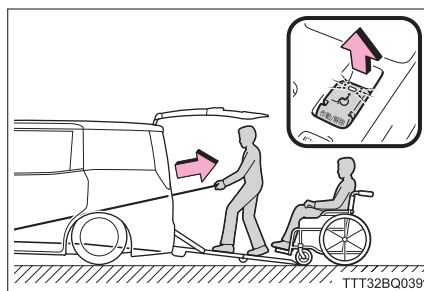
## ▶ 電動スロープ装着車

操作スイッチの「下」を押し続け、電動スロープを展開・車高降下させる (→ P.62)

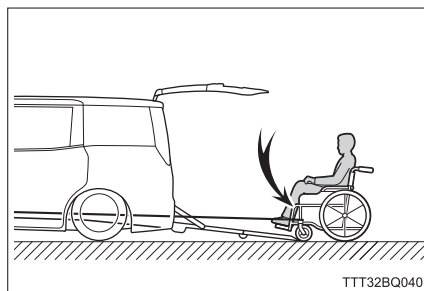


- 4 サードシートを格納する (タイプ I / タイプ II “サードシート付” → P.28)
- 5 助手席シートおよびセカンドシートの前後位置を調整する (→ P.74 および標準車取扱書の「フロントシート」「セカンドシート」)
- 6 車いすをスロープに近付けて止め、車いすのブレーキを両輪ともかける (セーフティベルト装着車 → P.75 / 電動ウインチ装着車 → P.82)

- 7 セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引き、フックを持ってベルトを引き出す (セーフティベルト装着車 → P.75 / 電動ウインチ装着車 → P.82)



- 8 車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける (セーフティベルト装着車 → P.76 / 電動ウインチ装着車 → P.83)

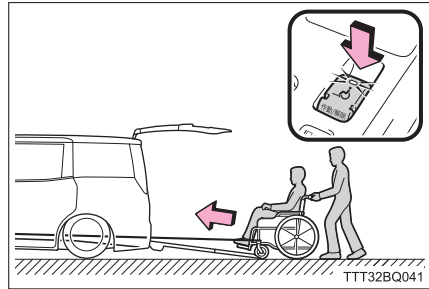


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**9** 車いすを車内に乗り入れる

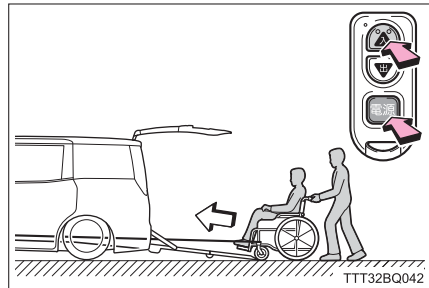
## ▶ セーフティベルト装着車

- ① セーフティベルトスイッチを押す (→ P.76)
- ② 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ③ 所定の位置まで乗り入れる (→ P.77 ~ 79)



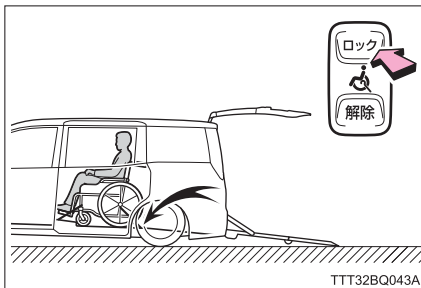
## ▶ 電動ウインチ装着車

- ① 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ② ワイヤレスリモコンを操作し、所定の位置まで乗り入れる (→ P.84, 85)

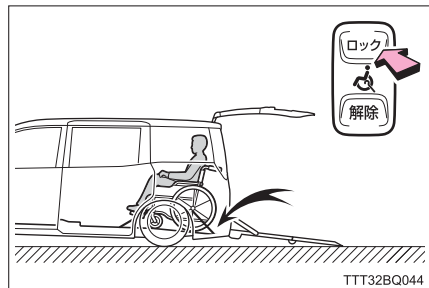
**10** 車いすを車内に固定する

- ① 車いす固定装置からベルトまたはワイヤーを引き出し、車いすの後部フレームにフックをかける (→ P.100)
- ② 固定装置スイッチの「ロック」側を押し続ける (→ P.101)

## ▶ セカンド席



## ▶ サード席

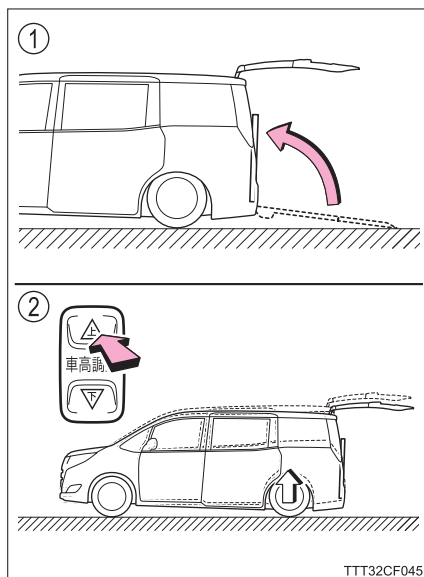
**11** 車いすのブレーキを両輪ともかける

12 車いす用シートベルトを着用する (→ P.106 ~ 110)

13 スロープを格納および車高復帰させる

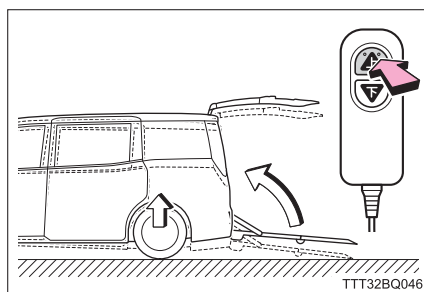
▶ 手動スロープ装着車

- ① 手動スロープを格納する (→ P.58)
- ② 車高調整スイッチの「上」を押し、車高復帰させる (→ P.58)



▶ 電動スロープ装着車

操作スイッチの「上」を押し続け、車高復帰・電動スロープを格納する (→ P.63)



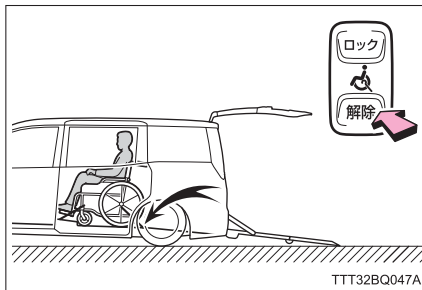
14 バックドアを閉め、メインスイッチを OFF にする (→ P.53)



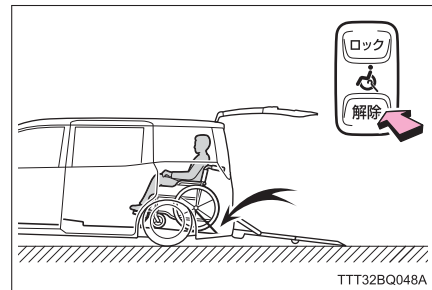
## 車いすを車外に降ろすときは

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 メインスイッチをONにし、バックドアを開ける（→P.53）
- 3 車高降下およびスロープを展開する（手動スロープ装着車→P.56, 57 / 電動スロープ装着車→P.62）
- 4 車いす用シートベルトをはずす（→P.112, 113）
- 5 車いすの固定を解除する（→P.102）
  - ① 固定装置スイッチの「解除」側を押し続け、ベルトまたはワイヤーをゆるめる
  - ② 車いすの後部フレームからフックを取りはずす

### ▶ セカンド席



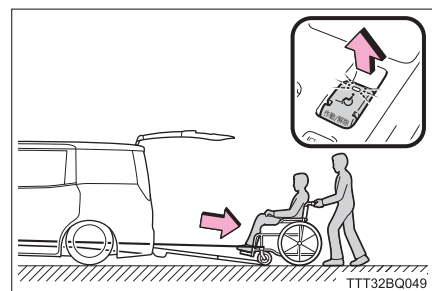
### ▶ サード席



- 6 車いすのブレーキを両輪とも解除し、セーフティベルトまたは電動ウインチを使用して、車いすを車外に降ろす

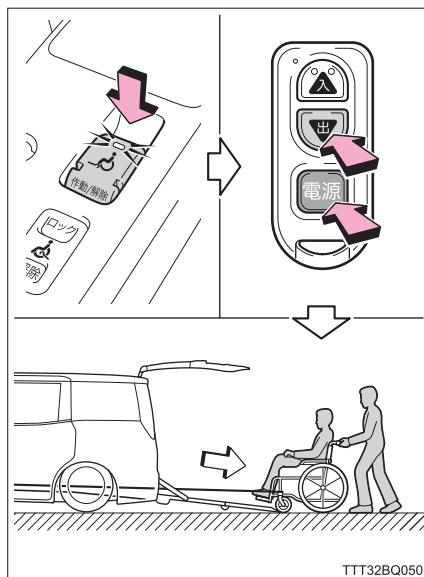
### ▶ セーフティベルト装着車

- ① セーフティベルトスイッチを引く（→P.80）
- ② 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ③ 車いすを車外に降ろす（→P.80）



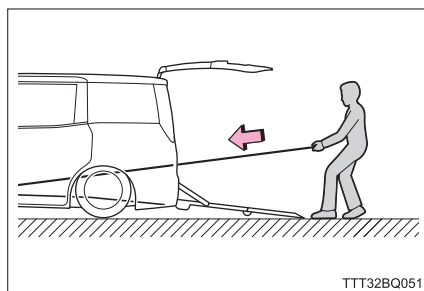
## ▶ 電動ウインチ装着車

- ① ウインチスイッチを押す  
(→ P.86)
- ② 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ③ ワイヤレスリモコンを操作し、車いすを車外に降ろす  
(→ P.86)



- 7 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 8 セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトのフックを車いすの前部フレームから取りはずし、ベルトがねじれないように巻き取る



- 9 スロープを格納および車高復帰させる (手動スロープ装着車→ P.58 / 電動スロープ装着車→ P.63)

- 10 バックドアを閉め、メインスイッチを OFF にする (→ P.53)

## 作動条件の確認

### 各装置の作動条件について

車高降下装置、電動スロープ★、セーフティベルト（セーフティベルトスイッチ）★、電動ウインチ（ウインチスイッチ）★、車いす固定装置の各装置は、次の作動条件をすべて満たす場合に作動します。

- 作動条件をすべて満たさない状態でスイッチを押すと、“ピー”とブザーが鳴ります。（→ P.51）
- 作動途中で作動条件を満たさなくなると、“ピー”とブザーが鳴り、装置の作動が停止します。（→ P.51）
- 複数の装置のスイッチを同時に操作すると、“ピー”とブザーが鳴り、装置の作動が停止します。（→ P.51）

装置	作動条件
車高降下装置 電動スロープ★	エンジン「かかっている」
	シフトレバー「Pの位置」
	メインスイッチ「ON」
	バックドア「開」 (車高降下時／電動スロープ★展開時のみ)
セーフティベルト★ 電動ウインチ★ 車いす固定装置	エンジンスイッチ [“ON” ★またはイグニッション ON モード★] ※
	シフトレバー「Pの位置」
	メインスイッチ「ON」

※：エンジン停止でも作動しますが、バッテリーあがり防止のため、エンジンをかけた状態で使用してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ ブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

## ▶ 全車

ブザー	動作・状況
ピーツ (0.4 秒間)	セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引き、ベルトフリーモードに移行したとき
ピツ…ピツ…※1	セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★のインジケーター点滅時 (ベルトフリーモード時)
ピッピッピッ	固定装置スイッチを押し続けて、車いす固定装置が作動するとき
ピー (2 秒間)	車両のバッテリー再接続時

※1：何も操作しない状態が3分以上続くと、ブザーが鳴りやみます。(インジケーターも消灯します)

## ▶ 手動スロープ装着車

ブザー	動作・状況
ピーツ…ピーツ…※2	車高降下装置が作動しているとき

※2：傾斜地や車両の前輪を輪止めに強くあてた状態でブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけている場合、まれに警告ブザー“ピー (2 秒間)” (→ P.51) が鳴ることがあります。

## ▶ 電動スロープ装着車

ブザー	動作・状況
ピーツ (0.3 秒間)	操作スイッチを押して電動スロープが作動するとき
ピーツ…ピーツ…	車高降下中
	電動スロープ格納中
ピピッ	電動スロープの展開および車高降下が完了したとき
	電動スロープが格納完了したとき

## ▶ 電動ウインチ装着車

ブザー	動作・状況
ピッ	ワイヤレスリモコンを操作して、電動ウインチが作動するとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ 警告時のブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

## ▶ 全車

ブザー		動作・状況
警告時	ピー…	バックドアを開けた状態で、シフトレバーをP以外の位置に動かしたとき
	ピー…※1	作動条件をすべて満たさない状態で各装置のスイッチを操作したとき 複数の装置のスイッチを同時に操作したとき（作動停止）
	ピー（2秒間）	各装置の作動中、作動条件を1つでも満たさなくなったとき（各装置の作動停止）
		車高降下装置の保護により、車高降下装置の作動が停止したとき※2,3
	ピー（5秒間）	車高降下装置が作動を開始してから95秒以上経過しても、作動完了しないとき※4
	ピー…※5	固定装置スイッチを1秒以上（“ピッピッピッ”音が鳴るまで）押し続けなかったとき

※1：スイッチを押しているあいだ、鳴り続けます。

※2：エンジンスイッチ“ON”★またはイグニッションONモード★の状態でも10分以上待機してから、車高調整スイッチ★または操作スイッチ★を押します。（→P.64）

※3：傾斜地や車両の前輪を輪止めに強くあてた状態でブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけている場合も、まれに鳴ることがありますが、異常ではありません。

※4：ブレーキペダルを踏んで作動を中断させた場合、中断させている時間も作動時間を含みます。

※5：固定装置スイッチを1秒以上押し続けるまで鳴り続けます。

ブザーが鳴っているときにエンジンスイッチを“ON”★以外またはイグニッションONモード★以外にすると一時的にブザーが鳴りやみますが、エンジンスイッチを“ON”★またはイグニッションONモード★にすると、再度ブザーが鳴ります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ▶ 電動スロープ装着車

ブザー		動作・状況
警告時	ピー…	電動スロープ作動途中で操作スイッチから指を離れたとき※ 6, 7
		電動スロープ格納中、車高降下装置の保護により車高復帰が同時に作動しないとき※ 8, 9

※6：操作スイッチを押すまで鳴り続けます。

※7：電動スロープが作動途中で操作スイッチから指を離し、ブザーが鳴っている状態で、車いす固定装置を使用し、固定装置スイッチの操作を1秒未満で止めた場合、両方のブザーが同時に鳴り続けます。この場合、先に固定装置スイッチを1秒以上押し続け、車いす固定装置の作動を完了させてから、電動スロープを格納してください。

※8：エンジンスイッチ“ON”★またはイグニッションONモード★の状態でも10分以上待機してから操作スイッチを押します。(→P.64)

※9：傾斜地や車両の前輪を輪止めに強くあてた状態でブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけている場合も、まれに鳴ることがありますが、異常ではありません。

## ▶ 電動ウインチ装着車

ブザー		動作・状況
警告時	ピーツ (0.7秒間)	電動ウインチ作動時、車いす乗車の方が車内のシートなどにあたって負荷を受けたとき
		電動ウインチ上昇作動時の停止位置で負荷が増大したとき

## ■ バックドアについて

バックドアが完全に閉まっていないときにシフトレバーをP以外の位置に動かすとブザーが鳴ります(→P.51)。ブザーが鳴ったときはバックドアとボデーのあいだに異物がかみ込んでいないことを確認し、バックドアを確実に閉めてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

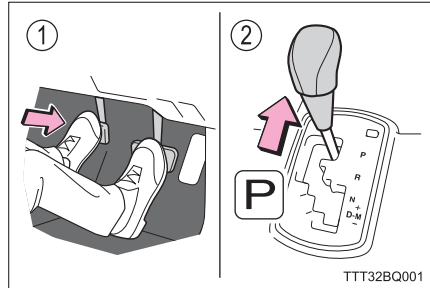
## メインスイッチ

### メインスイッチ ON のしかた

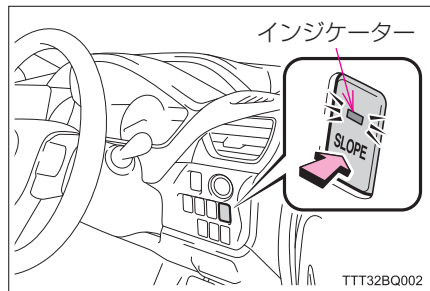
車いすの乗降・固定に係るすべての操作をする前に、メインスイッチを押し、インジケーターを点灯させます。

- 1 車両が安全で、平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車する

- ① パーキングブレーキをかける
- ② シフトレバーをPの位置にする



- 2 メインスイッチを押す  
インジケーターが点灯します。

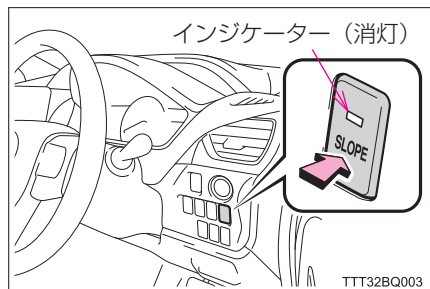


- 3 車両周辺・下側および後輪付近に人や突起物がないことを確認する

- 4 バックドアを全開にする

### メインスイッチ OFF のしかた

メインスイッチを押す  
インジケーターが消灯します。



 **警告****■車両の駐車場所について**

- 安全で平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。(→ P.13)  
交通量の多い道路や狭いところ、不整地や傾斜地でスロープを使用すると、思わぬ事故や車両の損傷につながるおそれがあります。
- エンジンをかけた状態で使用してください。
  - ・エンジン停止状態ではバッテリーあがりの原因になったり、十分な性能を引き出せないおそれがあります。
  - ・エンジン停止状態では車高降下装置は作動しません。
- 乗降するときはヘッドランプを点灯および非常点滅灯を点滅させ、周囲へ注意をうながしてください。
- 階段や段差を利用して車いすの乗り入れをしないでください。(→ P.13)  
段差を利用すると車いすがスロープから転落したり、スロープが段差からはずれて破損するなど、重大な事故につながるおそれがあります。
- 可燃物付近に駐車しないでください。(→ P.14)  
車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると火災になるおそれがあります。  
スロープ使用時、車高降下により排気管の位置が大きく下がりますので、特に注意してください。

**■スロープを使用しないときは**

必ずメインスイッチを OFF にしてください。

メインスイッチを ON にしていると、誤って次の操作をされた場合、装置の不意な作動により、重大な事故につながるおそれがあります。

- 車高調整スイッチが押された場合、車高降下装置が作動します。(手動スロープ装着車)
- 操作スイッチが押された場合、電動スロープおよび車高降下装置が作動します。(電動スロープ装着車)
- セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引くと、前側の車いす固定が解除されます。
- 固定装置スイッチの「解除」側が押された場合、車いすの固定が解除されます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



 **注意****■ 破損を防ぐために**

バックドアを閉めるときは、スロープが確実に格納されていることを確認してください。

バックドアおよびスロープが破損するおそれがあります。

## 車高調整およびスロープの展開・格納

車高降下装置はエアサスペンションにより車両後部の車高を低下させ、車いすの車内外への乗り降りを容易にします。

装着されているスロープの種類により、操作方法が異なります。お乗りのお車に該当する項目を参照してください。

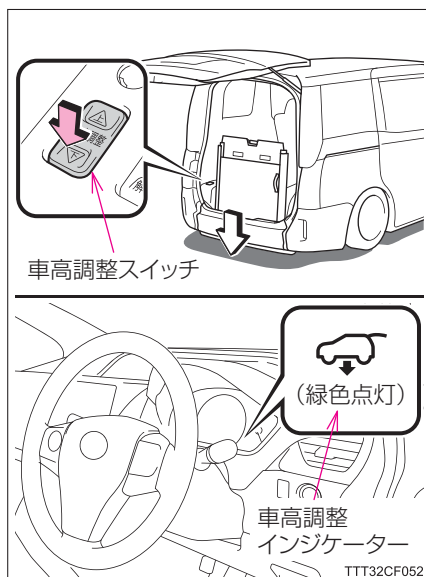
### 操作前の確認事項

- 車高降下装置および電動スロープ（電動スロープ装着車）の作動条件を確認してください。（→ P.49）
- パーキングブレーキを確実にかけ、ブレーキペダルを踏まずに操作してください。  
ブレーキペダルを踏んだまま操作すると、車高降下・復帰完了しません。

### 車高降下および手動スロープの展開のしかた（手動スロープ装着車）

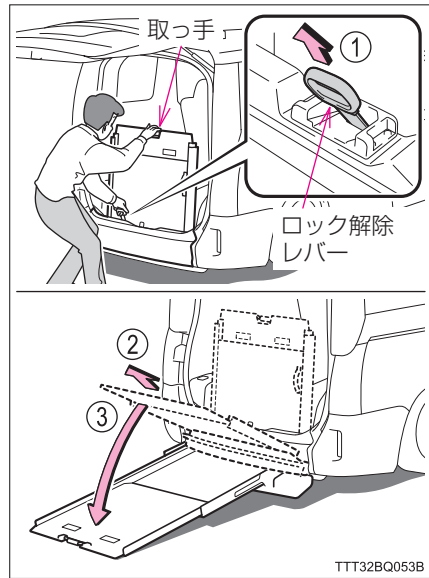
- 1 車高調整スイッチの「下」を押し、車高降下させる

- ・ 車高降下が始まり“ピーッ…ピーッ…”とブザーが鳴り始めたら、スイッチから指を離します。（メーター内の車高調整インジケータ―緑色点灯）
- ・ 車高が下がりきると自動的に停止し、ブザーが鳴りやみます。



**2** 手動スロープを展開する

- ① 手動スロープ先端の取っ手を片方の手で持ち、もう片方の手でロック解除レバーを引き、スロープのロックを解除する
- ② 手動スロープ先端の取っ手をしっかり持って、手動スロープを車外へゆっくり引き出す
- ③ 手動スロープをできるだけいっぱいまで引き出したら、静かに接地させる

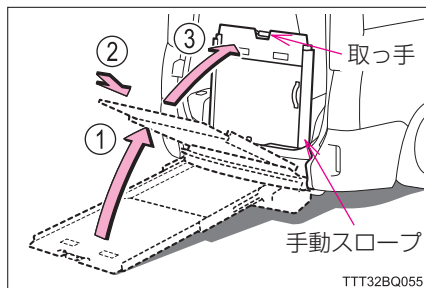
**■ 車高降下を途中でやめるときは**

不測の事態により、車高降下を途中でやめたいときは、作動途中で車高調整スイッチの「上」「下」どちらかを押し、車高降下が停止します。再度車高調整スイッチの「上」「下」どちらかを押し、押した方向に車高が変化します。

## 手動スロープの格納および車高復帰のしかた（手動スロープ装着車）

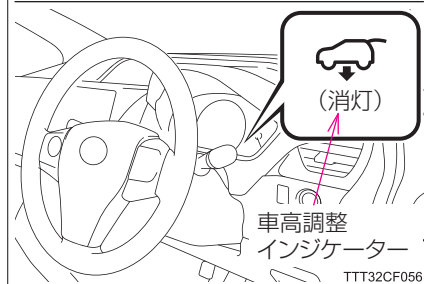
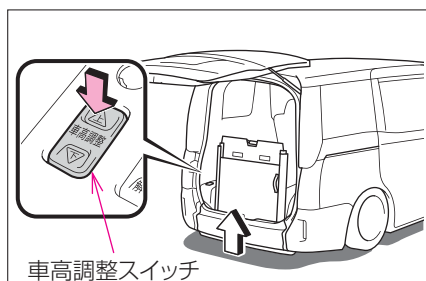
### 1 手動スロープを格納する

- ① 手動スロープ先端の取っ手をしっかり持って、手動スロープを少し持ち上げる
- ② 手動スロープをいっぱいまで静かに押し込む
- ③ 手動スロープをゆっくり立てて、静かに格納する
  - ・ いっぱいまで格納すると“カチ・カチ”と音がしてロックされます。
  - ・ 手動スロープ先端の取っ手を持って前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認します。



### 2 車高調整スイッチの「上」を押し、車高復帰させる

- ・ 車高復帰が始まり“ピーッ…ピーッ…”とブザーが鳴り始めたら、スイッチから指を離します。
- ・ 車高がもどりきると自動的に停止し、ブザーが鳴りやみます。（メーター内の車高調整インジケーター消灯）



## 手動スロープ前倒れ機構（手動スロープ装着車）

手動スロープを使用しないときは、手動スロープを前倒れにすることができます。

手動スロープ前倒れ後、サードシートを着座状態にすることもできます。“サードシート付”

### ■手動スロープの前倒れ・もどす操作をする前に

1 車両が安全で、平坦な場所に駐車し、エンジンを停止する

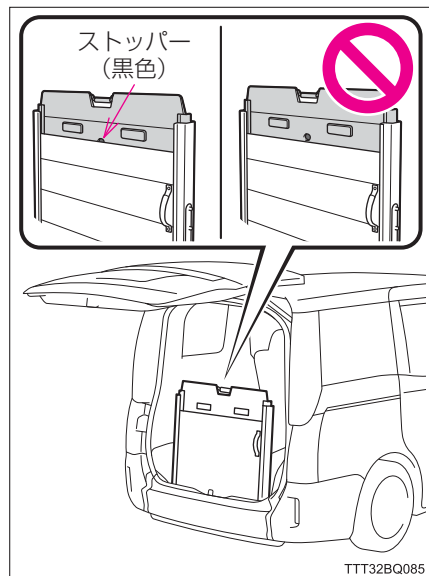
2 サードシートを格納する“サードシート付”（→ P.28）

手動スロープ前倒れ後にサードシートを着座状態にもどすときは、床面ロックは起こしたままにしておきます。

3 手動スロープを格納する（→ P.58）

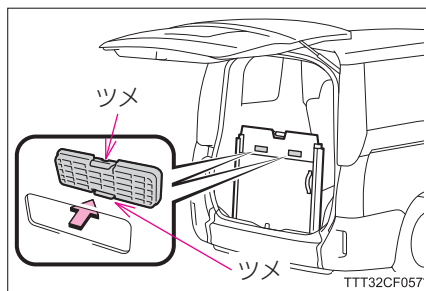
格納後、次のことを確認します。

- ・手動スロープ先端の取っ手を持って前後左右にゆすり、起立位置で確実にロックしていること
- ・手動スロープがいっぱいまで押し込まれ、ストッパー（黒色）が半分くらい隠れた状態になっていること



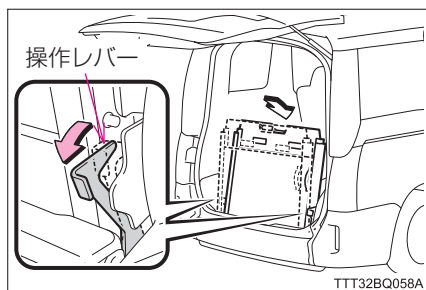
### ■ 手動スロープの前倒れのしかた

- 1 手動スロープ左右のカバー（黒色）のツメを押したまま、カバーを車両前方に引き抜く（床面ロック起立時のみ）



- 2 手動スロープ左右の操作レバーを同時に引き、ロックを解除する

手動スロープが前方に傾きます。



- 3 手動スロープ中央付近を押し、前方に倒す

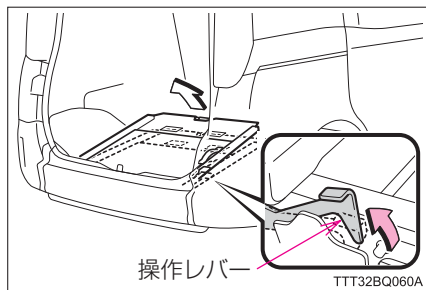
“カチッ”と音がするまで倒し、確実にロックさせます。



## ■ 手動スロープの起こし方

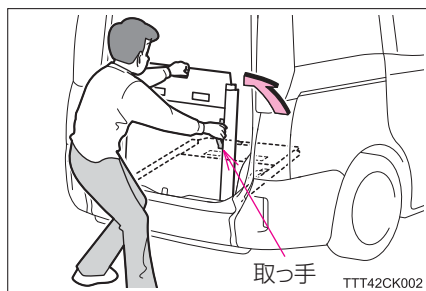
- 1 左手で手動スロープ中央付近を押さえながら、右手で手動スロープ右側の操作レバーを引き、ロックを解除する

- ・ 左側の操作レバーは操作しないでください。
- ・ ロック解除後、手動スロープから左手を離すと手動スロープが起き上がりますので、顔や体を手動スロープに近付けないでください。

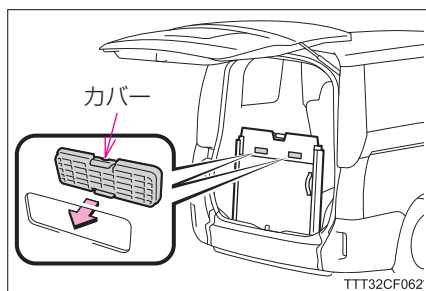


- 2 手動スロープ先端の取っ手と、右側の取っ手を持ち、手前に起こす

- ・ “カチッ” と音がするまで起こし、確実にロックさせます。
- ・ 取っ手を持って前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認します。

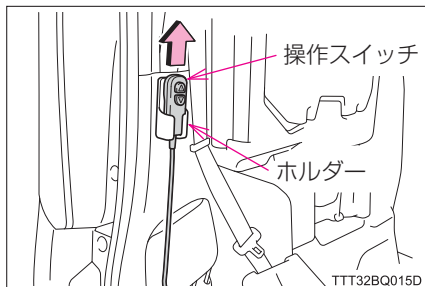


- 3 手動スロープ左右のカバー（黒色）を車両前方からはめる



## 電動スロープの展開および車高降下のしかた（電動スロープ装着車）

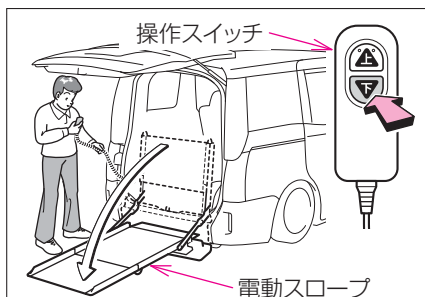
- 1 操作スイッチをホルダーから取り出す



- 2 電動スロープ作動範囲周辺の安全を確認後、操作スイッチの「下」を押し続け、電動スロープを展開および車高降下させる

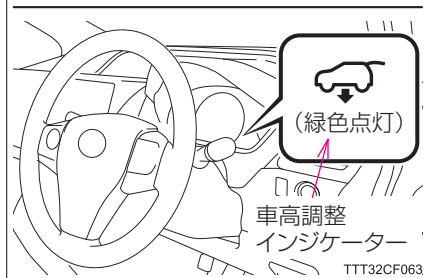
- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、電動スロープの展開・車高降下が同時に開始します。

- ・ 車高が下がり始めると、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点灯します。
- ・ 車高降下が完了するまで“ピーッ…ピーッ…” とブザーが鳴り続けます。



- ② 電動スロープが完全に展開したら、操作スイッチから指を離します。

- ・ 操作スイッチから指を離しても車高降下は継続し、車高降下が完了すると“ピピッ”とブザーが鳴ります。
- ・ 電動スロープが完全に展開する前にスイッチから指を離すと、電動スロープの展開・車高降下を停止し、“ピー…”とブザーが鳴り続けます。（→ P.52）



- 3 操作後、操作スイッチをホルダーにもどす



### ■ 電動スロープ展開完了後の車高降下を途中でやめるときは

不測の事態により、車高降下を途中でやめたいときは、作動途中で操作スイッチの「上」「下」どちらかを押すと、車高降下が停止します。再度操作スイッチの「上」「下」どちらかを押すと、押した方向に作動します。

### 車高復帰および電動スロープの格納のしかた（電動スロープ装着車）

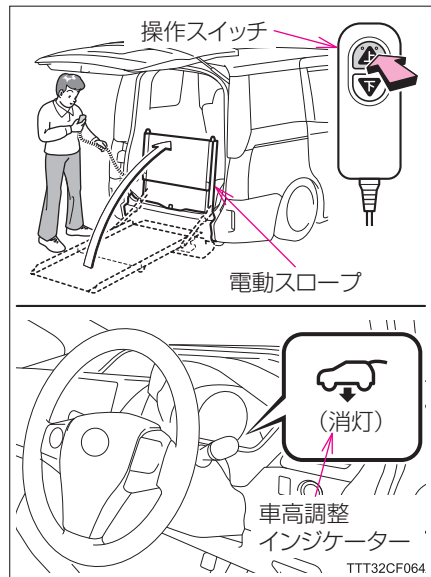
- 1 操作スイッチをホルダーから取り出す（→ P.62）
- 2 電動スロープ作動範囲周辺の安全を確認後、操作スイッチの「上」を押し続け、車高復帰および電動スロープを格納する

- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、電動スロープの格納・車高復帰が同時に開始します。

電動スロープが格納完了するまで“ピーッ…ピーッ…”とブザーが鳴り続けます。

- ② 電動スロープが完全に格納し“ピピッ”とブザーが鳴ったら、操作スイッチから指を離します。

- ・ 操作スイッチから指を離しても車高復帰が継続します。
- ・ “ピピッ”とブザーが鳴る前にスイッチから指を離すと、“ピー…”とブザーが鳴り続けます。（→ P.52）
- ・ 車高がもどりきると自動的に停止します。（メーター内の車高調整インジケーター消灯）



- 3 操作後、操作スイッチをホルダーにもどす

### ■ 電動スロープ格納完了後の車高復帰を途中でやめるときは

作動途中で操作スイッチの「下」を押すと、車高復帰が停止します。再度操作スイッチの「上」「下」どちらかを押すと、押した方向に作動します。

 知識**■ 車高復帰忘れ防止機能について**

万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーをP以外の位置に操作すると、車高が自動復帰します。

**■ 車高降下装置について**

- ブレーキペダルを踏んだまま車高調整スイッチ★または操作スイッチ★を押すと、車高降下時は10秒間作動後・車高復帰時は15秒間作動後に作動を中断します。(電動スロープ装着車の場合、操作スイッチを押し続けければ、電動スロープの作動は継続します)
- 車高復帰中にブレーキペダルを踏むと、車高復帰を中断します。ブレーキペダルを踏んでいる時間が95秒未満であれば、ブレーキペダルから足を離すと、車高復帰を再開します。
- 車高降下装置の作動を95秒以上中断させると“ピー”とブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったときは、ブレーキペダルから足を離し、車高調整スイッチ★または操作スイッチ★の「上」を押すと、車高復帰を再開します。
- 傾斜地や車両の前輪を輪止めに強くあてた状態でブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけた場合、通常の“ピーッ…ピーッ…”ではなく、まれに“ピー(2秒間)”というブザーが鳴ることがありますが、異常ではありません。
- 車高降下・復帰操作を短時間にくり返し(目安として4分間に3回以上)行うと、エアサスペンションのコンプレッサの過熱防止(保護)のため、しばらく作動しなくなることがあります。
  - ・ エンジンスイッチ“ON”★またはイグニッションONモード★の状態では10分以上待機してから車高調整スイッチ★または操作スイッチ★を押すと、再度車高降下装置が作動します。
  - ・ 再度車高降下装置が作動しなくなった場合は、エンジンスイッチ“ON”★またはイグニッションONモード★の状態では70分以上待機してから車高調整スイッチ★または操作スイッチ★を押すと、再度車高降下装置が作動します。
- 氷・雪または石などがボデーに接触していると、車高降下を行っても車高降下速度が遅くなったり、車高降下が完了しないことがあります。この場合、エンジンを停止してから障害物を取り除いてください。
- エンジンを停止すると、気温の変化により多少車高がかわることがあります。その場合、エンジンを始動するとともにもどります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 知識

### ■ 車高降下装置の作動音について

次のようなときに、エアサスペンションが作動し、車両左側後方からコンプレッサまたはバルブの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

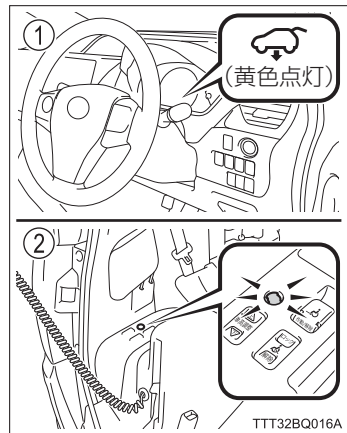
- スイッチ操作による車高調整時  
車高調整スイッチ★または操作スイッチ★により、車高をかえたとき
- オートレベリング機能※による車高調整時
  - ・ 乗員や荷物など積載条件の変化により車高がかわり、車高調整が作動したとき
  - ・ エアサスペンションの温度変化により車高がかわり、車高調整が作動したとき
  - ・ 縁石に乗ったり降りたりして、車高調整が作動したとき
 車高が変化しても、一定時間経過しないと車高降下装置は作動しません。  
(作動までの時間は条件によって異なります)
  - ※：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

### ■ 車高降下装置のシステムに異常が発生したときは

車高降下・復帰を中断し、次のように異常が発生したことをお知らせします。

- ① メーター内の車高調整インジケーター：  
黄色点灯
- ② 左リヤデッキサイド部の車高降下装置  
異常ランプ：黄色点灯

上記の場合は、すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。



### ■ 車高調整インジケーターおよび車高降下装置異常ランプについて

作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”★またはイグニッション ON モード★にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯しますが、この場合は車高降下装置の異常ではありません。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識**■ 手動スロープについて（手動スロープ装着車）**

手動スロープ引き出し部のレールをときどき点検し、石などの異物がつまっていないことを確認してください。異物がつまると、手動スロープの引き出し・格納ができなくなります。手動スロープの引き出し・格納がしづらくなったときは、手動スロープの清掃をしてください。（→ P.118）

**■ 手動スロープが起立状態以外でロック解除レバーを操作したときは（手動スロープ装着車）**

手動スロープ前倒れまたは前倒れ途中および起こす途中でロック解除レバーを引いてしまった場合、手動スロープの展開方向のロックが半がかり状態になります。次の操作をし、手動スロープをロックさせてください。

- ① バンパー部分を前後左右にゆすり、手動スロープの展開方向のロックが半がかり状態であることを確認する
- ② 手動スロープ先端の取っ手と、右側の取っ手を持って手前に起こし、ロックさせる（→ P.61）
- ③ 手動スロープ先端の取っ手を持ち、通常の展開・格納操作をする（→ P.57）

**■ ヘッドランプ光軸切りかえ機能（LED ヘッドランプ装着車）**

ヘッドランプ点灯時、通行人や対向車がまぶしくないように、車高降下中、ヘッドランプの光軸を自動で切りかえます。

 **警告****■エアサスペンションについて**

次の状況ではエンジンを停止してください。  
エンジンがかかった状態だと、オートレベリング機能※により車高が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 縁石などに乗り上げて駐車するとき
- 脱輪したとき
- ジャッキアップするとき
- タイヤチェーンを装着するとき
- レッカー車などで車を持ち上げてけん引するとき

※：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

 **警告****■ 車高調整およびスロープを使用するときは**

- 車両周辺・バックドア下側に人がいないこと、車両下側や後輪付近に突起物などが無いことを十分確認してください。  
車高降下時、車両後端が大きく下がるため、手足を挟むなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、車両を損傷するおそれもあります。  
バックドアも車高に合わせて動くため、バックドア端部などで顔や頭を打たないように注意してください。
- 操作前にパーキングブレーキを確実にかけ、車高降下装置作動中はブレーキペダルを踏まないでください。  
ブレーキペダルから足を離したとき、車高が急にかわり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車高降下中、シフトレバーをP以外の位置にしないでください。  
P以外の位置にすると車高が自動復帰し、転倒するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
バックドアが開いていることを知らせるため、“ピー”とブザーが鳴ります。  
(→ P.51)
- 手動スロープ展開後（手動スロープ装着車）、または電動スロープ・車高降下装置の作動完了後（電動スロープ装着車）、スロープ先端が完全に接地していることを確認してください。  
段差やスロープ下部にものがあたるなどにより、スロープ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スロープが破損するおそれもあります。
- スロープを展開したまま車を移動させないでください。  
そのまま移動するとスロープが損傷したり、スロープおよびバックドアが車外の人やものにあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車高調整およびサイドリフトアップチルトシートを同時に作動させないでください。（サイドリフトアップチルトシート装着車）  
車両後部の車高が下がるため、サイドリフトアップチルトシートからの転落やシートが地面と接触するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **警告****■ 車高調整および手動スロープを操作するときは（手動スロープ装着車）**

- 必ず車高を下げて手動スロープを使用してください。  
車高を下げずに人が乗ったりすると、手動スロープが損傷したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 手動スロープのロックを解除するときは、必ず片方の手で手動スロープ先端の取っ手を持ってください。  
手動スロープ先端の取っ手を持たずに手動スロープのロックを解除すると、手動スロープが不意に倒れ、けがをするおそれがあります。
- 手動スロープの引き出し・格納をするときは、必ず手動スロープ先端の取っ手を持って操作してください。  
手動スロープ先端の取っ手以外の場所を持って操作すると、格納部やレール部で手を挟むなど、けがをするおそれがあります。
- 手動スロープの引き出し・格納途中で絶対に手動スロープ先端の取っ手から手を離さないでください。  
手動スロープが落下し、足にあたってけがをしたり、手動スロープが損傷するおそれがあります。
- 手動スロープの引き出し・格納をするときは、足元に注意しながら行ってください。  
手動スロープと地面のあいだで足を挟んだり、足が手動スロープにあたってけがをするおそれがあります。また、つまずいて転倒するおそれがあります。
- 手動スロープを引き出すときは、できるだけいっぱいまで引き出してください。  
いっぱいまで引き出さずに使用すると、手動スロープが急角度になって乗降が困難になったり、路面によっては乗降時スライド部分が動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 手動スロープに車いすをのせたときは、車高調整スイッチを押さないでください。  
手動スロープの角度が変わり、手動スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

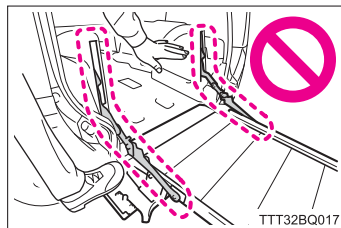
## 警告

### ■ 手動スロープの前倒れ・起こす操作をするときは

- 手動スロープを前倒れにするときは、手動スロープを倒す方向に人がいないことを確認してください。  
手動スロープ前倒れ時、手動スロープが人にあたり、けがをするおそれがあります。
- 手動スロープを前倒れにするときは、手動スロープ中央付近を押してください。  
手動スロープ両端のレール部などを持つと、手や指を挟むなど、けがをするおそれがあります。
- 手動スロープ前倒れ状態で右側の操作レバーを操作するときは、手動スロープに顔や体を近付けないでください。  
操作レバーを操作してロックが解除されると手動スロープが起き上がり、顔や体にあたり、けがをするおそれがあります。
- 手動スロープを起こすときは、必ず手動スロープ先端の取っ手と、右側の取っ手を持って操作してください。  
取っ手以外の場所を持って操作すると、ロック部や可動部で手や指を挟むなど、けがをするおそれがあります。
- 手動スロープの左右のカバー（黒色）を取りはずしたときは、手動スロープを使用する前に、必ずカバーを取り付けてください。  
カバーを取りはずしたまま手動スロープを使用すると、車内外への乗降時、つまずいてけがをするおそれがあります。

### ■ 車高調整および電動スロープを使用するときは（電動スロープ装着車）

- 電動スロープの作動範囲内に人がいないことを確認し、作動範囲内で操作しないでください。
  - ・ 作動範囲内にいると電動スロープが手足にあたり、手足を巻き込まれるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 電動スロープは車両から少し離れた斜め後方で操作してください。電動スロープが手足にあたるなど、けがをするおそれがあり危険です。
- 電動スロープ展開・格納時、電動スロープおよび支持プレート付近にふれないでください。  
手足を電動スロープに巻き込まれるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



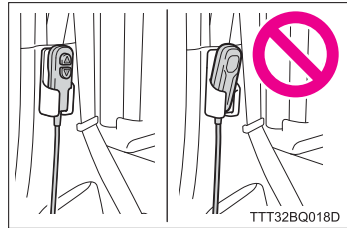
TTT32BQ017



## 警告

### ■ 操作スイッチを収納するときは（電動スロープ装着車）

操作スイッチを使用しないときは、ホルダーに正しい方向で収納してください。ホルダー以外の場所に収納したり正しい方向で収納しないと、車高が変化したり、電動スロープが思わぬ動きをして重大な事故につながるおそれがあり危険です。



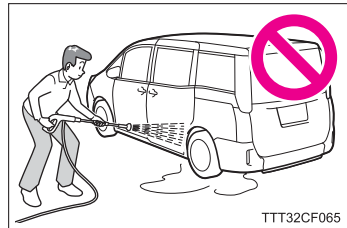
TTT32BQ018D

## 注意

### ■ 故障・損傷・破損を防ぐために

- 砂利道など凹凸面のある路面では車高降下時、スロープの変形およびバンパー表面を傷付けるおそれがありますのでご注意ください。
- ドアを開けた状態で車高降下させるときは、ドア下部にドアと接触するおそれがあるようなものがないことを確認してください。
- 長期間にわたって駐車する場合、車高が自然に低下することがあります。（エンジンを始動すると、もとにもどります）  
長期間にわたって車両を駐車するとき、車高が下がった場合に、ボデーと接触するおそれがあるようなものがないことを確認してください。

- 高圧洗浄機を使用するときは、エアサスペンション部およびコンプレッサ部に直接水があたらないようにしてください。  
水圧が高いため、直接水があたりエアサスペンション部の部品が破損するおそれがあります。



TTT32CF065

- スロープ格納時、サード席で固定した車いすとスロープがあたらないことを確認してください。（タイプⅠ“車いす 2 脚仕様” / タイプⅡ）  
スロープを完全に格納することができないため、そのままバックドアを閉めると、スロープとバックドアが傷付くおそれがあります。
- スロープ格納時、サードシートの背もたれが後方に倒れていないことを確認してください。（タイプⅠ / タイプⅡ “サードシート付”）  
サードシートの背もたれが損傷するおそれがあります。

 注意

## ■ 故障・破損・損傷を防ぐために（手動スロープ装着車）

- 車高を下げる前に、手動スロープが格納されていることを確認してください。手動スロープが傷付くおそれがあります。
- 手動スロープを格納したときは、取っ手を持って前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認してください。確実にロックしていないと、走行中異音が発生したり、バックドアにあたり損傷するおそれがあります。
- 手動スロープを前倒れにする前に、手動スロープがいっぱいまで押し込まれていることを確認してください。（→ P.59）いっぱいまで押し込まれていない状態で手動スロープを前倒れにすると、床面ロックにあたり、損傷するおそれがあります。
- 手動スロープを前倒れにする前に、サードシートが格納されていること、および倒す方向にものが置かれていないことを確認してください。そのまま手動スロープを前倒れにすると、手動スロープがサードシートやものにあたり、損傷するおそれがあります。
- 手動スロープを前倒れにする前に、床面ロックが格納またはいちばん起きた位置で確実にロックしていることを確認してください。床面ロックが格納またはいちばん起きた位置かつロックされていない状態で手動スロープを前倒れにすると、手動スロープが床面ロックにあたり、手動スロープおよび床面ロックが傷付き・変形するおそれがあります。
- 床面ロックが起きた状態で手動スロープを前倒れにするときは、必ず左右のカバー（黒色）を取りはずしてください。カバーが取り付けられたまま手動スロープを前倒れにすると、カバーと床面ロックがあたり、カバーおよび床面ロックが傷付き・破損するおそれがあります。また、手動スロープが完全に前倒れにできず、ロックがかかりません。
- 手動スロープを展開した状態で、操作レバーを操作しないでください。スロープの変形や、地面との接触によるバンパー傷付きの原因になります。

 注意

## ■ 故障・損傷を防ぐために（電動スロープ装着車）

- 電動スロープを手動で開閉しないでください。  
電動スロープの故障の原因になります。
- 電動スロープの上および周辺に、何も無い状態で操作してください。  
電動スロープの故障の原因になります。
- 操作スイッチはコードを持って引っ張ったり、からませないでください。  
コードが断線するおそれがあります。
- 操作スイッチの切り替え操作をするときは、1秒以上たってから行ってください。  
瞬時に「上」「下」の切り替えを行うと車高降下装置・電動スロープが故障するおそれがあります。
- 操作スイッチを断続的に押さないでください。  
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- 操作スイッチは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
  - ・ 分解しない
  - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
  - ・ 飲料水などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない  
(防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください)
- 操作スイッチの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。  
表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。
- 操作スイッチを使用しないときは、ホルダーに正しい方向で収納してください。  
使用時に引っかかったり、コードがねじれて断線につながるおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、操作スイッチやコードをバックドアに挟み込まないように注意してください。  
操作スイッチが破損したり、コードが断線するおそれがあります。

## 車いすの車内外への乗降

セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用して、車いすを車内外に乗降します。

装備により操作方法が異なります。お乗りのお車に該当する項目を参照してください。

### 操作前の確認事項

セーフティベルト（セーフティベルト装着車）または電動ウインチ（電動ウインチ装着車）の作動条件を確認してください。（→ P.49）

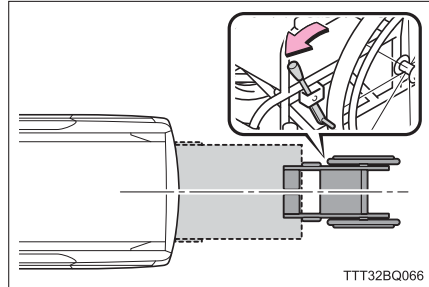
### 車いすを車内に乗り入れる前に

- 1 サードシートが着座状態になっているときは、サードシートを格納する（タイプⅠ／タイプⅡ “サードシート付” → P.28）
- 2 車いすの乗り入れ状態に応じて、助手席シートおよびセカンドシートを次のように調整する
  - ▶ タイプⅠの助手席シート  
助手席シートを前方にスライドさせる  
助手席シートに乗車の方の足元が窮屈になります。
  - ▶ セカンドシート  
セカンドシートを前方にスライドさせる  
セカンドシートに乗車の方の足元が窮屈になります。

## セーフティベルトを使用して車いすを車内に乗り入れるときは (セーフティベルト装着車)

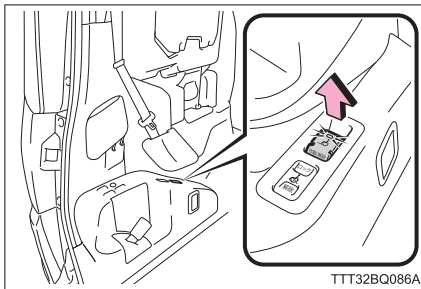
- 1 車いすをスロープの手前で停止し、車いすのブレーキを両輪ともかける

車いすの中央付近とスロープの中央付近を合わせます。

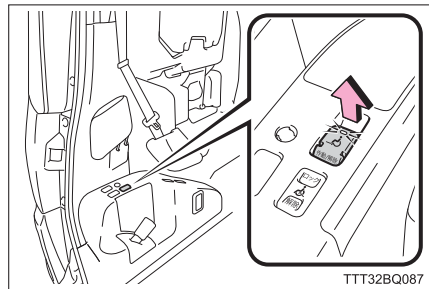


- 2 車いすを乗り入れる側のセーフティベルトスイッチを“ピーツ”とブザーが鳴るまで引き、セーフティベルトをベルトフリーモードにする  
インジケーターが点滅し、“ピツ…ピツ…”とブザーが鳴り続けます。

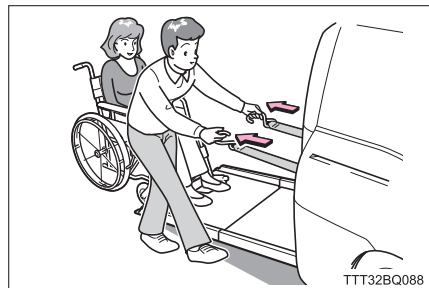
### ▶ セカンド席



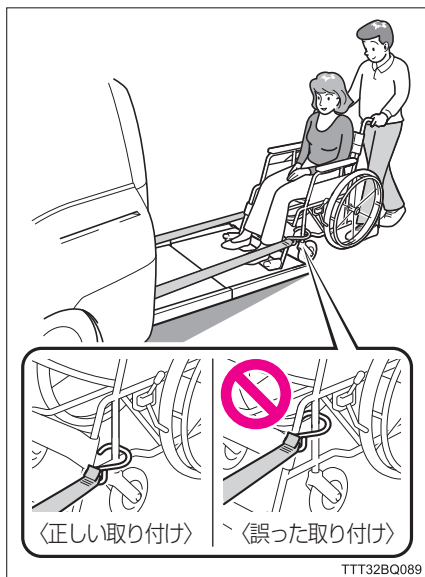
### ▶ サード席



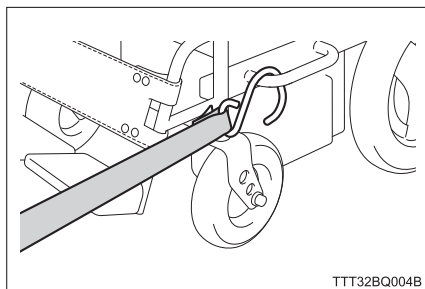
- 3 セーフティベルトのフックを持ち、手動でベルトを引き出ししながら、車いすに近づく  
ベルトがねじれないように引き出します。



- 4 ベルトにねじれがない状態で、車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける

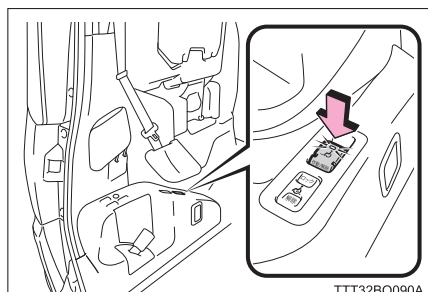


▶ 電動車いす（参考例）

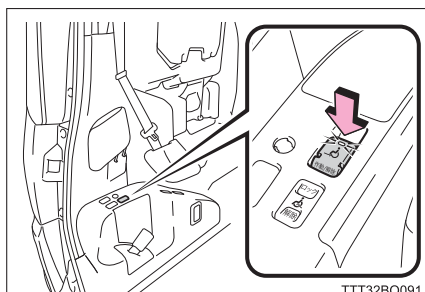


- 5 車いすを乗り入れる側のセーフティベルトスイッチを押し、セーフティベルトを後退防止作動させる  
インジケーターが0.5秒点灯後に消灯し、ブザーが鳴りやみます。

▶ セカンド席



▶ サード席

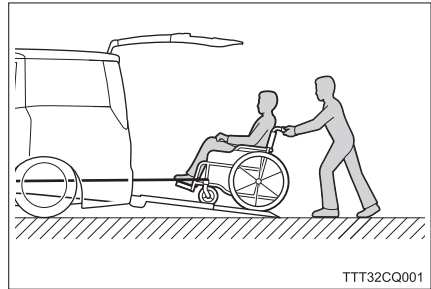


- 6 スロープが確実に接地していることを確認し、車いすのブレーキを両輪とも解除する
- 7 車いすを車内に乗り入れる
- ・ 車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れます。(中央付近を合わせた位置に乗り入れないと、セーフティベルトが車いす乗車の方の足やフットレストに引っかかる場合があります)
  - ・ 車いす乗車の方の足や車いすが他のシートにあたらないよう、注意しながら行います。
  - ・ セーフティベルトは車いすを車内に乗り入れると、自動的に巻き取られます。

▶ セカンド席

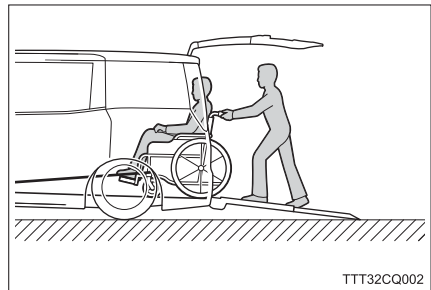
- ① 車いすの後輪がスロープに乗り入れたとき、一時停止し、セーフティベルトにたるみがないことを確認する

車いすを停止することで、セーフティベルトのたるみを取ります。



- ② 車いすが車内に乗り入れたとき、一時停止し、セーフティベルトにたるみがないことを確認する

車いすを停止することで、セーフティベルトのたるみを取ります。

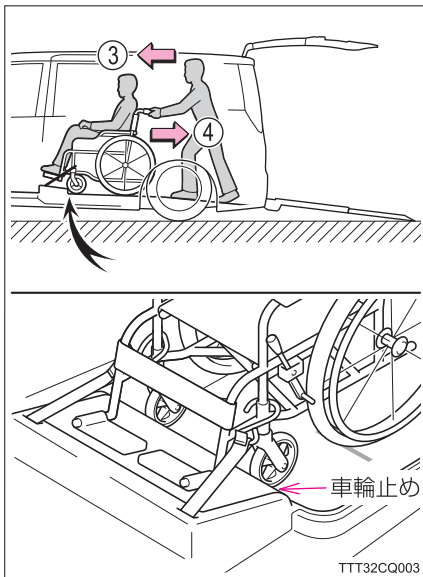


- ③ 車いすの前輪が車輪止めにあたる位置までゆっくり乗り入れる  
(車いすを2脚乗り入れる場合→P.88)

車いすの前輪をいきおいよく車輪止めにあてると、車いすを車外に降ろすときにセーフティベルトが引き出せなくなることがあります。

- ④ 車いすを車両うしろ側に引きセーフティベルトにたるみがない状態で、車いすの前輪が車輪止めにあたっていることを確認する

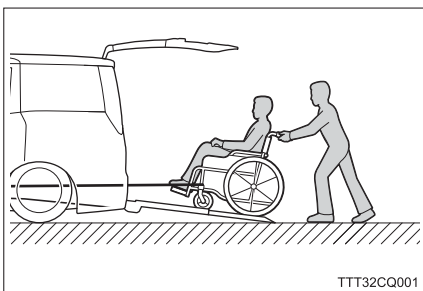
車輪止めにあたっていない場合は、車輪止めにあたるようにゆっくり押し込みます。



#### ▶ サード席

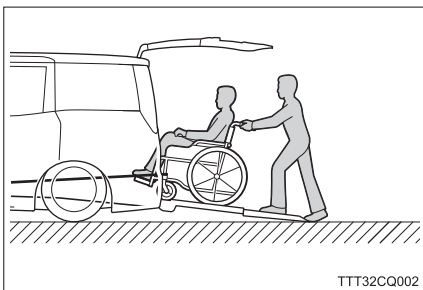
- ① 車いすの後輪がスロープに乗り入れたとき、一時停止し、セーフティベルトにたるみがないことを確認する

車いすを停止することで、セーフティベルトのたるみを取ります。



- ② 車いすが車内に乗り入れる直前に、一時停止し、セーフティベルトにたるみがないことを確認する

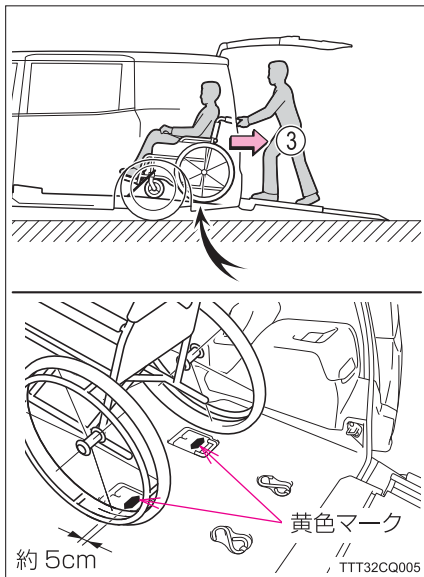
車いすを停止することで、セーフティベルトのたるみを取ります。





- ③ 車内に乗り入れ、車いすを車両うしろ側に引きセーフティベルトにたるみがない状態で車いすの後輪中央が床面ロックの黄色マークの約5cmほど車両前側にあることを確認する

黄色マークよりうしろ側になった場合は、黄色マークより前側になるように乗り入れます。



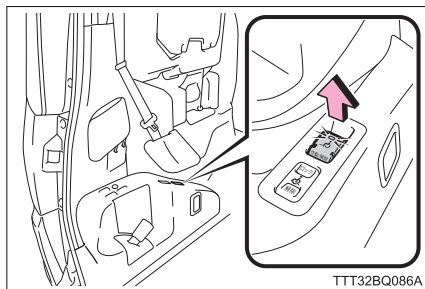
以上で車いすの車内への乗り入れは完了です。次に車いすを車内に固定します。(→ P.100)

### セーフティベルトを使用して車いすを車外に降ろすときは (セーフティベルト装着車)

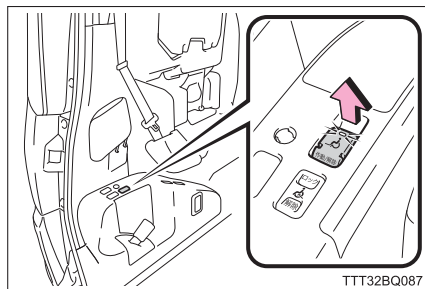
- 1 操作前に、次の状態を確認する
- ・ 車いす用シートベルトがはずされていること (→ P.112)
  - ・ 車いすの固定が解除されていること (→ P.102)
  - ・ サードシートが格納されていること (セカンド席からの降車時：タイプ I → P.28)

- 2 車いすを車外に降ろす側のセーフティベルトスイッチを“ピーツ”とブザーが鳴るまで引き、セーフティベルトをベルトフリーモードにする  
インジケーターが点滅し、“ピツ…ピツ…”とブザーが鳴り続けます。

## ▶ セカンド席



## ▶ サード席



- 3 車いすのブレーキを両輪とも解除する

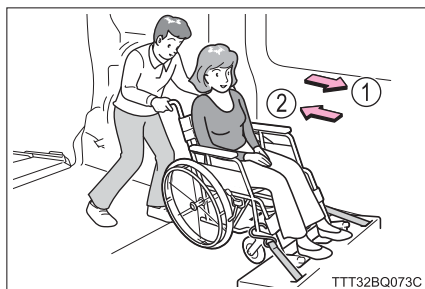
- 4 車いすを車外に降ろす

① 車いすを少し前に押す

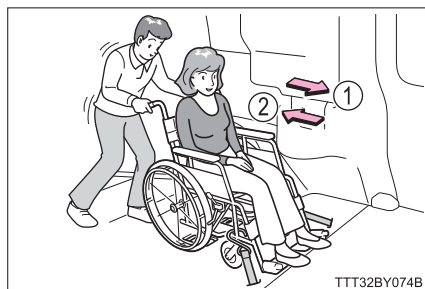
② 車いすを後退させる

- ・ セーフティベルトのフックを付けたまま車外に降ろします。
- ・ 後退防止作動を解除しているため、介助の方は車いすのハンドルをしっかり和您ってください。

## ▶ セカンド席



## ▶ サード席



- 5 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 6 セーフティベルトのフックを手にとって車いすの前部フレームから取りはずす

フックは片方ずつ取りはずします。

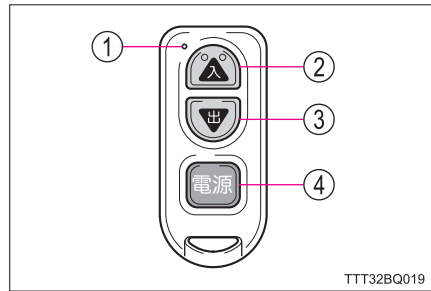
- 7 セーフティベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る  
セカンド席のセーフティベルトは、仮置きボックスに一時的に入れておくこともできます。(タイプ I のみ→P.89)

## ワイヤレスリモコン（電動ウインチ装着車）

ワイヤレスリモコンで電動ウインチのベルトの引き出し・巻き上げ操作ができます。

### ■ 各部の名称

- ① 動作表示 LED
- ② 入スイッチ
- ③ 出スイッチ
- ④ 電源スイッチ



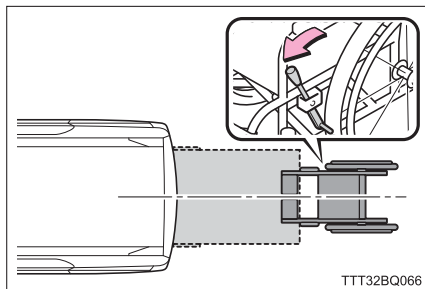
### ■ 使い方

ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、6秒以内（動作表示LED赤色点灯時）に入スイッチまたは出スイッチを押し続ける（動作表示LED緑色点滅）

### 電動ウインチを使用して車いすを車内に乗り入れるときは (電動ウインチ装着車)

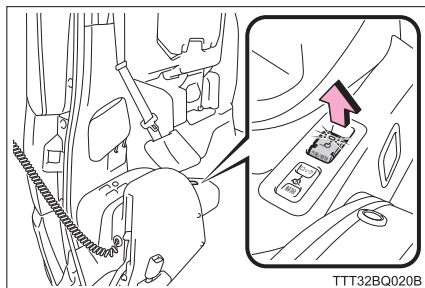
- 1 車いすをスロープの手前で停止し、車いすのブレーキを両輪ともかける

車いすの中央付近とスロープの中央付近を合わせます。

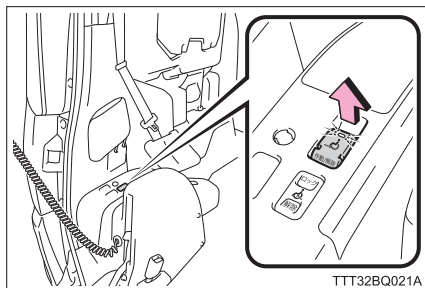


- 2 車いすを乗り入れる側のウインチスイッチを“ピーツ”とブザーが鳴るまで引き、電動ウインチをベルトフリーモードにする  
インジケーターが点滅し、“ピツ…ピツ…”とブザーが鳴り続けます。

▶ セカンド席

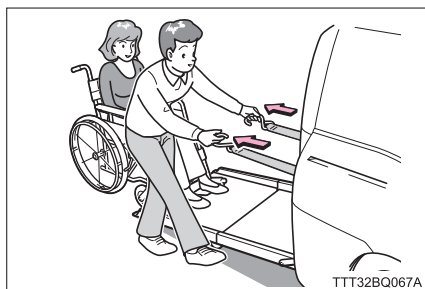


▶ サード席

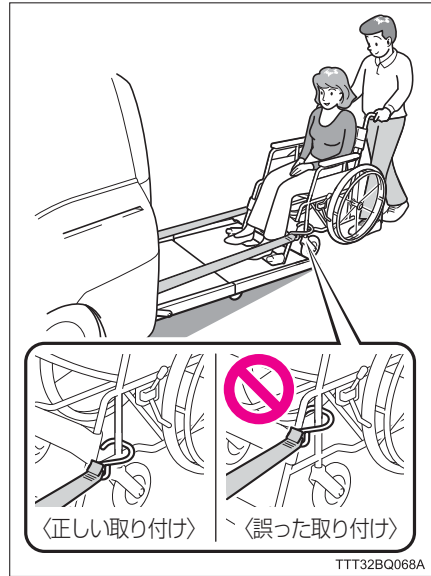


- 3 電動ウインチのフックを持ち、手でベルトを引き出しながら、車いすに近付く

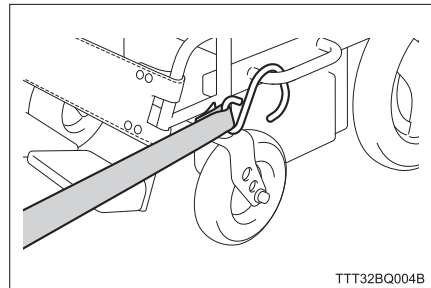
ベルトがねじれないように引き出します。



- 4 ベルトにねじれがない状態で、車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける



▶ 電動車いす（参考例）



- 5 スロープが確実に接地していることを確認し、車いすのブレーキを両輪とも解除する

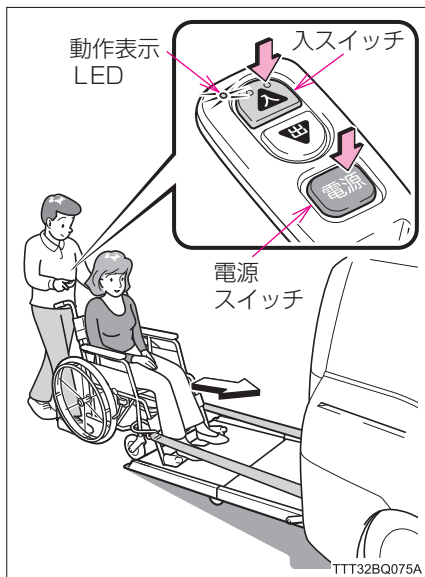
## 6 電動ウインチのベルトを巻き取りながら、車いすを車内に乗り入れる

- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（6秒以内）に入スイッチを押し続ける

“ピッ”とブザーが鳴り（動作表示LED 緑色点滅）、電動ウインチのベルトが巻き取られます。

- ② 車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れる

中央付近を合わせた位置に乗り入れないと、電動ウインチのベルトが車いす乗車の方の足やフットレストに引っかかる場合があります。



## 7 車いすを次の位置まで乗り入れる

### ▶ セカンド席

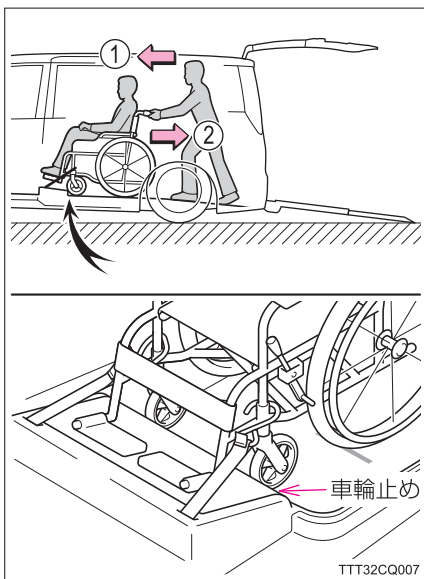
- ① 車いすの前輪が車輪止めにあたる位置までゆっくり乗り入れる

（車いすを2脚乗り入れる場合→P.88）

車いすの前輪をいきおいよく車輪止めにあてると、車いすを車外に降ろすときに電動ウインチのベルトが引き出せなくなることがあります。

- ② 車いすを車両うしろ側に引き電動ウインチのベルトにたるみがない状態で、車いすの前輪が車輪止めにあまっていることを確認する

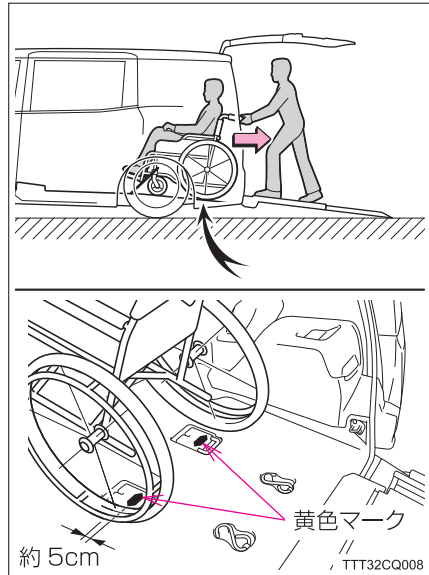
車輪止めにあっていない場合は、車輪止めにあたるようにゆっくり乗り入れます。



## ▶ サード席

車内に乗り入れ、車いすを車両うしろ側に引き電動ウインチのベルトにたるみがない状態で車いすの後輪中央が床面ロックの黄色マークの約5cmほど車両前側にあることを確認する

黄色マークよりうしろ側になった場合は、黄色マークより前側になるように乗り入れます。



以上で車いすの車内への乗り入れは完了です。次に車いすを車内に固定します。(→ P.100)

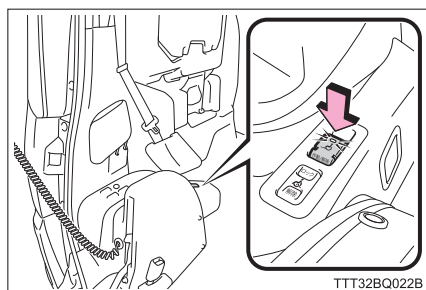
## 電動ウインチを使用して車いすを車外に降ろすときは (電動ウインチ装着車)

### 1 操作前に、次の状態を確認する

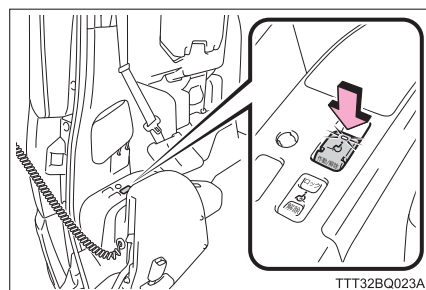
- ・ 車いす用シートベルトがはずされていること (→ P.112)
- ・ 車いすの固定が解除されていること (→ P.102)
- ・ サードシートが格納されていること (セカンド席からの降車時: タイプ I → P.28)

### 2 車いすを車外に降ろす側のウインチスイッチを押し、ウインチ作動モード (インジケーター点灯) にする

#### ▶ セカンド席



#### ▶ サード席



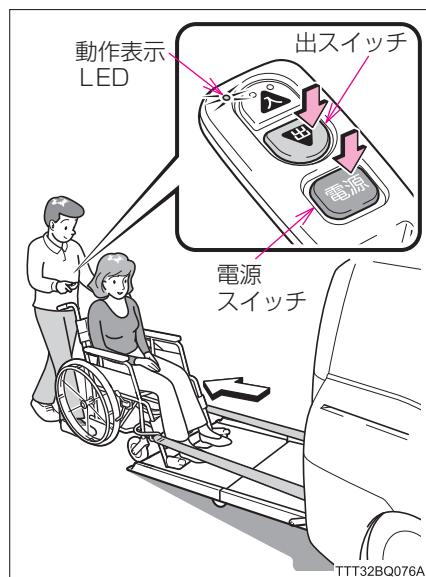
### 3 車いすのブレーキを両輪とも解除する

### 4 電動ウインチのベルトを引き出し ながら、車いすを車外に降ろす

#### ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) に 出スイッチを押し続ける

- ・ “ピッ” とブザーが鳴り (動作表示 LED 緑色点滅)、電動ウインチのベルトが引き出されます。
- ・ 電動ウインチのベルトが引き出せないときは、P.93 の知識「**■** 電動ウインチのベルトが引き出せないときは」を参照してください。

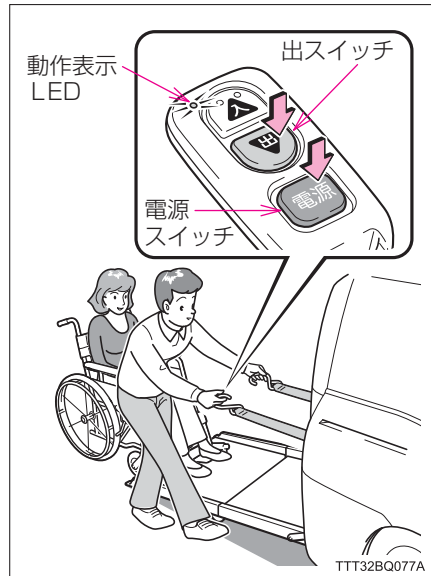
#### ② 車いすのハンドルをしっかりと持ち、車いすをスロープ外まで降ろしたら、スイッチから指を離す





- 5 車いすのブレーキを両輪ともかける
- 6 ベルトのフックを手にとって車いすの前部フレームから取りはずす

- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（6秒以内）に出スイッチを押し続け、ベルトをゆるめる
- ② フックを片方ずつ、車いすの前部フレームから取りはずす



- 7 ベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る  
セカンド席の電動ウインチのベルトは、仮置きボックスに一時的に入れておくこともできます。（タイプ I のみ→ P.89）

## タイプ I “車いす 2 脚仕様” で車いすを 2 脚乗り入れる場合

車いすを 2 脚乗り入れる場合、セカンド席への車いすの乗り入れは次の状態で行います。

サード席は通常の乗り入れ・固定方法で行いますが、サード席に固定する車いす乗車の方の足元が窮屈になります。

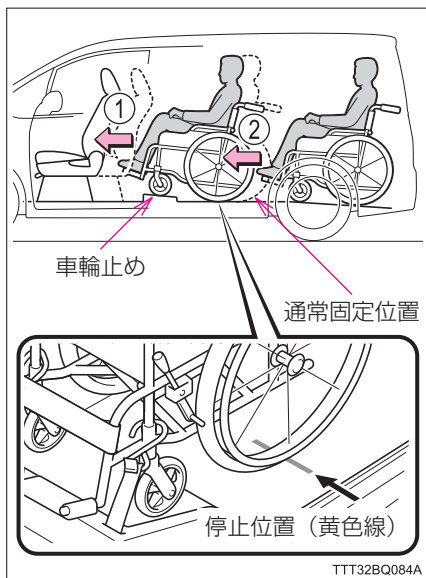
### ① 助手席シートを前方にスライドさせる

助手席シートに乗車の方、およびセカンド席に乗り入れる車いす乗車の方の足元が窮屈になります。

### ② セカンド席に固定する車いすの前輪を持ち上げて車輪止めをこえ、後輪中央が床面の黄色線に合う位置を目安に停止する

通常は車輪止めに車いすの前輪があたる位置で停止します。

### ③ セーフティベルト装着車にお乗りの方は、セーフティベルトのたるみを取る (→ P.77)



## 知識

### ■ タイプ I “車いす 2 脚仕様” で車いすを 2 脚乗り入れる場合の助手席シート位置について

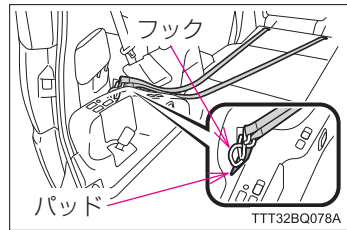
助手席シートをいちばん前までスライドさせると、セカンド席に乗り入れる車いす乗車の方の足元は広がりますが、助手席シートに着座できません。

## 知識

### ■セカンド席のベルト・フックについて（タイプ I）

セカンド席のセーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを取りはずしたあと、仮置きボックスに入れておくと、次に車いすを車内に乗り入れるとき、車内に入らずにベルト・フックを取り出すことができます。

使用するときには、左右のフック同士を引っかけた状態で、ボックスの中のパッド部にフックが接触するように入れます。



### ■セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★について

セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を操作後、何も操作しない状態が3分以上続くと、スイッチ OFF 状態（インジケータ消灯・ブザー停止）に切りかわります。

### ■ベルトフリーモードについて

ベルトフリーモード（セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★のインジケータ点滅）では、車高降下装置および電動スロープ★は作動しません。セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を一度押し、後退防止作動に切りかえると、車高降下装置および電動スロープ★が使用可能になります。

### ■ベルトについて

- セーフティベルト★または電動ウインチ★がねじれていないことを確認してください。ベルトがねじれていると巻き取り不良になり、車いすを完全に車内に入れることができません。
- セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用する前にベルトの点検をし、ベルトにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ベルトが汚れるとベルトのもどりが悪くなることがあります。ベルトのもどりが悪くなったときは、ベルトの清掃をしてください。（→ P.122）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 知識

### ■ 後退防止作動について（セーフティベルト装着車）

セーフティベルトはベルトフリーモード以外のとき、常に後退防止状態を保持します。

作動条件	セーフティベルトスイッチ インジケータ	作動モード
すべて満たす	点滅	ベルトフリー
	消灯	後退防止作動
1 つでも満たさない		

### ■ 車いすの上手な乗車・降車方法のポイント（セーフティベルト装着車）

お使いになっている車いすのタイプによっては、車いす乗車後、車いすとサードシート乗車の方やスロープ（スロープを格納した状態）などがあたる場合があります。このような場合は、次の確認および操作をしてください。

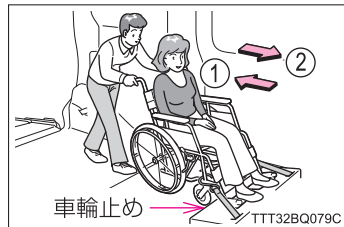
#### 車いすとサードシート乗車の方やスロープなどがあたる

- 車いすが左右傾いて固定されていませんか？
- 乗車時に乗り入れ位置（→ P.77 ～ 79）まで車いすを乗り込ませましたか？
- セーフティベルトがたるんでいませんか？（→ P.77 ～ 79）

#### ■ 車内でセーフティベルトのたるみを取るポイント

##### ▶ セカンド席に乗り入れる場合（タイプ I）

- ① 車いすの前輪が車輪止めにあたる位置まで車いすを乗り入れたら、いったん車いすをしっかりとうしろに引く
- ② 再度、車いすの前輪が車輪止めにあたる位置まで車いすを押し込む



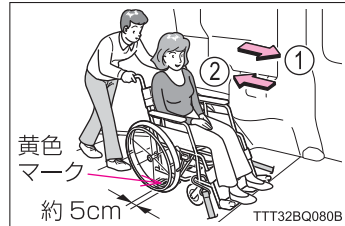
- ①、②の操作をくり返すことで、徐々にセーフティベルトのたるみが取れます。

 知識

## 車いすとサードシート乗車の方やスロープなどがあたる

▶ サード席に乗り入れる場合（タイプⅠ “車いす 2 脚仕様” / タイプⅡ）

- ① 足があたらぬ程度に車いすを車両前方に押し込む
- ② 車いすをしっかりとうしろに引く
- ③ うしろに引いた状態で車いすの後輪中央が床面ロックの黄色マークの約 5cm ほど前側になるまで①、②の操作を数回くり返す



①、②の操作をくり返すことで、徐々にセーフティベルトのたるみが取れます。

## 車いすがうしろに下がってしまう

- セーフティベルトスイッチのインジケータは消灯していますか？
  - 車いすのブレーキは両輪ともかかっていますか？
- 降車時にセーフティベルトの後退防止作動が解除できないときは、いったん車いすを車両前方に少し押しします。

## 知識

### ■ 電動ウインチの作動モードについて（電動ウインチ装着車）

- 電動ウインチはベルトフリーモード以外のおとき、常に後退防止状態を保持します。
- ウインチスイッチのインジケーター点滅（ベルトフリーモード）時であっても、ワイヤレスリモコンを操作すると、ウインチスイッチインジケーターが自動的に点灯（ウインチ作動モード）に切りかわります。

作動条件	ウインチスイッチ インジケーター	作動モード
すべて満たす	点灯	ウインチ作動
	点滅	ベルトフリー
1 つでも満たさない	消灯	後退防止作動

### ■ ワイヤレスリモコンの作動条件について（電動ウインチ装着車）

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲がかわることがあります。
- 周囲の電波状態により、出スイッチまたは入スイッチを押しても電動ウインチが作動しなくなることがあります。そのときはワイヤレスリモコンでの操作位置をかえて操作してください。その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま操作位置をかえても電動ウインチは作動しません。

### ■ ワイヤレスリモコンについて（電動ウインチ装着車）

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内（動作表示 LED が赤色点灯中）に出スイッチまたは入スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます。（動作表示 LED 消灯）
- 出スイッチまたは入スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離した時点より 6 秒延長します。
- 電動ウインチ作動中に出スイッチまたは入スイッチから指を離すと、電動ウインチの作動は停止します。
- 電動ウインチは出スイッチまたは入スイッチを押し、“ピッ”とブザーが鳴ってから作動します。断続的にスイッチを押しても電動ウインチは作動しません。
- 複数のスイッチを同時に押すと、電動ウインチは作動しません。
- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
  - ・ 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
  - ・ 必ず日本国内でご使用ください。

## 知識

- ワイヤレスリモコンの送信機または受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録はトヨタ販売店にお申し付けください。

### ■ ワイヤレスリモコンの電池について（電動ウインチ装着車）

- 電池寿命は約 1 年間です（1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合）。ただし、電池寿命は実際の使用状況によって変わります。
- ワイヤレスリモコンを操作しても電動ウインチが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示 LED が点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。（→ P.140）

### ■ 航空機に乗るときは（電動ウインチ装着車）

航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

### ■ 参考：電動ウインチ性能について（セカンド席用：電動ウインチ装着車）

諸元：スロープ角 9.5° / ベルト長さ 3970mm

作動時間	条件
45 秒	負荷荷重 1.2kN {120kgf}
30 秒	負荷荷重 0.8kN {80kgf}

### ■ 電動ウインチのベルトが引き出せないときは（電動ウインチ装着車）

- 電動ウインチのベルトを手動で引き出す際、ウインチスイッチを引き、ベルトフリーモードにしても、まれにベルトが引き出せないことがあります。このときはベルトに力が加わっていない状態で再度ウインチスイッチを引き、ベルトフリーモードにするとベルトが引き出せます。再度操作をしてもベルトが引き出せないときはトヨタ販売店に連絡してください。
- 車いすを車内に乗り入れた際、車いすの前輪をいきおいよく車輪止めにあてる、または車いすの後輪を持ち上げるなどにより、電動ウインチのベルトが過剰に巻き取られた場合、車いすを車外に降ろすときにベルトが引き出せなくなることがあります。このときは車いすを少し前に出す、または車いすの後輪を少し持ち上げるなど、ベルトを少しゆるめた状態でワイヤレスリモコンの電源スイッチを押してから出すスイッチを押すと、ベルトが引き出せます。

 **警告**
**■ ウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプ I・II）の操作をするときは**

- 操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。
  - ・ 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあり危険です。（車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください）
  - ・ 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。
- 風の強い場所や風雨の強い日、また降雨時や降雪時など悪天候のときはスロープがすべりやすいので注意してください。
- スロープ表面がぬれている状態で車いすをスロープに乗り入れないでください。  
スロープ表面がぬれているとすべりやすくなります。スロープ表面の水分をふき取ってから使用してください。  
雨天時など、完全に水分をふき取れない場合は、足元に十分注意してください。
- 介助の方は、車いすに乗車されている方の手や足が車いすの内側にあることを確認してください。  
車内の部品やシートで手や足を挟み、けがをするおそれがあります。
- 介助の方が車いすから離れるとき（ベルトのフックの脱着時やセーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★操作時など）は、車いすのブレーキを両輪とも確実にかけてください。  
車いすのブレーキを両輪ともかけずに車いすから離れると、車いすが自重で後退するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは**

- スロープに乗降するときは足元に注意し、スロープ中央を通ってください。  
中央以外を通ると足を踏みはずし、スロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。  
傾斜したスロープは車いすがバランスをくずしやすく、脱輪や転倒のおそれがあります。車いすの動きに注意し、ゆっくり乗降してください。



## 警告

- 手動スロープ展開後（手動スロープ装着車）、または電動スロープ・車高降下装置の作動完了後（電動スロープ装着車）、スロープ先端が完全に接地していることを確認してください。

段差やスロープ下部にものがあたるなどにより、スロープ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スロープが破損するおそれもあります。

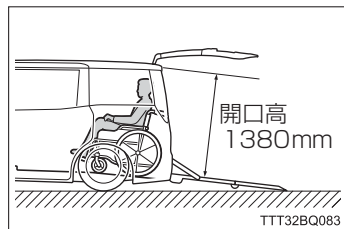
- スロープに車いすのをせたときは、不要なスイッチ類を押したり、シフトレバーをP以外の位置にしないでください。

装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ・ 手動スロープ装着車の場合、車高調整スイッチの「上」側を押すと、スロープの角度が変わり、車いすから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ・ 電動スロープ装着車の場合、操作スイッチの「上」を押すと、電動スロープ・車高降下装置が作動し、車いすから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ・ セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引き、インジケーターが点滅（ベルトフリーモードに移行）すると、後退防止作動が解除され、車いすがスロープから滑り落ちるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ・ シフトレバーをP以外の位置にすると、車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わり、車いすが転落するおそれがあり危険です。（バックドアが開いていることを知らせるブザーが鳴ります）

- 車内外に乗降するときは、バックドア・ドア開口部および天井に頭をぶつけないように注意してください。

スロープに車いすを乗り入れるときや乗り入れ後に車外へ出る（もどる）とき、頭上の注意がおるそかになりやすいので、バックドア端部やバックドア開口部に注意してください。



- 車いすをいきおいよく押し込まないでください。

車いす乗車の方がシートや車内の部品にあたり、けがををするおそれがあります。

 **警告**

- セカンド席のカバー（車輪止め）に乗らないでください。（タイプ I “車いす 2 脚仕様” で車いすを 2 脚乗り入れる場合を除く→ P.88）足場が悪いため、転倒するおそれがあります。
- 車いすを車内に乗り入れるときは、必ず車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れてください。中央付近に乗り入れないと、セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトが車いす乗車の方の足や車いすのフットレストに引っかかる場合があります。そのまま車いすを固定すると、車いす乗車の方がけがをしたり、車いすの固定が不十分になり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 車いすは必ず所定の位置まで乗り入れてください。（セーフティベルト装着車→ P.77～79 / 電動ウインチ装着車→ P.84, 85 / 車いす 2 脚乗車時→ P.88）車いすが所定の位置まで乗り入れていないと、正しく固定できない場合があります。
  - ・ セカンド席への乗り入れ位置がうしろすぎると、サードシート乗車の方やサード席の車いす乗車の方に車いすがあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  - ・ サード席への乗り入れ位置が前すぎると、車いす乗車の方の足がセカンドシートやセカンド席に乗り入れた車いすにあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  - ・ サード席への乗り入れ位置がうしろすぎると、車いす後輪がスロープにあたり、スロープを完全に格納することができません。そのままバックドアを閉めると、スロープとバックドアが傷付くおそれがあります。
- 車いすを車内に乗り入れたときは、セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすの前部フレームから取りはずさないでください。セーフティベルト★または電動ウインチ★は車いす前側の固定装置として使用します。セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすの前部フレームから取りはずした状態では車いすが固定されず、走行中に車いすが動き出し、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 車いすを車外に降ろすときは、車いすのブレーキは介助の方が解除し、車いすが不意に動き出さないよう、介助の方がしっかり支えてください。しっかり支えていないと、車いすのブレーキが解除されたらたん、車いすが動き出し、スロープからすべり落ちるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすから取りはずすときは、手に持ってゆっくりと行ってください。フックから急に手を離すと、ベルトがいきおいよく巻き取られ、けがをするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 警告

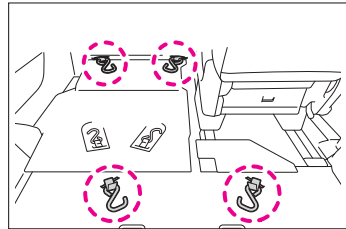
### ■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは（セーフティベルト装着車）

- 車いすを車内に乗り入れたときは、セーフティベルトがたるんでいないことを確認してください。（→ P.77～79）  
セーフティベルトが巻き締まらずたるんでいると、走行中にセーフティベルトがゆるんで車いすが動き、重大な事故につながるおそれがあり危険です。セーフティベルトが確実に巻き締まらない場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。
- 車いすを車外に降ろすときは、セーフティベルトスイッチを引く前に車いすのブレーキを解除しないでください。  
先に車いすのブレーキを解除すると、セーフティベルトスイッチを引き、ベルトフリーにされたらたん、車いすが動いて重大な事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ 電動ウインチを使用するときは（電動ウインチ装着車）

- 電動ウインチは車いすの車内外への乗り降り専用です。電動ウインチを使用して人やものを引き上げないでください。  
電動ウインチの故障やベルトの損傷につながったり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 電動ウインチ作動時、ベルトやベルト巻き取り部にふれないでください  
ベルトの巻き取り不良やベルト巻き取り部に手などを巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

○：ベルト巻き取り部



 **警告****■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは（電動ウインチ装着車）**

- 電動ウインチを使用して車いすを車内外に乗降するときは、介助の方は必ず車いすのうしろで操作し、車いすのハンドルをしっかり支えながら乗り入れてください。

車いすを車内に乗り入れるとき、車いすのハンドルをしっかり支えていないと、車いすの前輪が停止後、前のめりになることがあります。お子さまや体重の軽い方が車いすに乗車されているときは、特に注意してください。（電動ウインチは車いすの乗降を補助するためのものであり、自動で乗降するための装置ではありません）

- 車いすを車内に乗り入れたときは、電動ウインチのベルトがたるんでいないことを確認してください。（→ P.84, 85）

ベルトが巻き締まらずたるんでいると、走行中に車いすが動き、重大な事故につながるおそれがあり危険です。ベルトが確実に巻き締まらない場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。

**■ 電波がおよぼす影響について（電動ウインチ装着車）**

医療用電気機器（以下を除く）を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
- 植込み型除細動器

 注意

## ■ 故障・破損を防ぐために

ベルトがねじれていないことを確認してください。

ベルトがねじれていると巻き取り不良になり、車いすを完全に車内に入れることができません。

## ■ 故障・破損を防ぐために（電動ウインチ装着車）

- 断続的にワイヤレスリモコンの出スイッチまたは入スイッチを押さないでください。

故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。（断続的にスイッチを押しても電動ウインチは作動しません）

- 電動ウインチのベルトの巻き取りができない状態（ベルトが車内のものに引っかかって動かない、ベルトがねじれて巻き取れない場合など）のときは、ワイヤレスリモコンの入スイッチを押し続けしないでください。

故障の原因になります。ベルトの巻き取りができないときは、ワイヤレスリモコンの出スイッチを押し続けて少しベルトをゆるめてから、障害物やベルトのねじれなどを取り除き、再度ワイヤレスリモコンの電源を入れ、入スイッチを押し続けてください。

- ワイヤレスリモコンは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
  - ・ ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かない
  - ・ 分解しない
  - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
  - ・ 飲料水などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください）
- ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。

表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

## 車いすの車内での固定・解除

ここでは P.41 の「乗車可能な車いす」のサイズを満たす車いすの固定方法を記載しています。

リクライニング車いすや電動車いすなどを固定するときは、専用の固定ベルトを使用してください。(専用の固定ベルトはトヨタ販売店で購入することができます)

### 操作前の確認事項

車いす固定装置の作動条件を確認してください。(→ P.49)

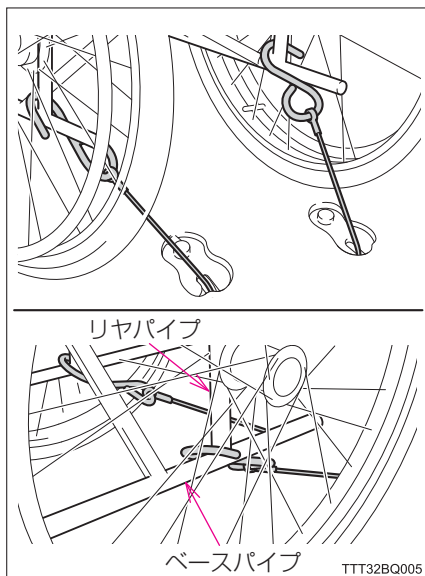
### 車いすを固定するときは

#### 1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 車いすが所定の位置まで乗り入れていること  
(セーフティベルト装着車→P.77 ~ 79 / 電動ウインチ装着車→P.84, 85)
- ・ セーフティベルトがたるんでいないこと  
(セーフティベルト装着車→P.77 ~ 79)
- ・ 電動ウインチのベルトがたるんでいないこと  
(電動ウインチ装着車→P.84, 85)

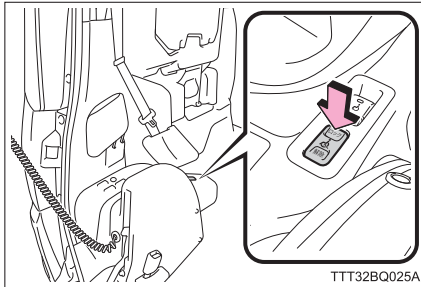
#### 2 車いす固定装置のフックを収納部から取りはずして引き出し、フックを車いすの後部フレームに引っかける

- ・ リヤパイプとベースパイプ接合部にフックを引っかけます。
- ・ 車いす固定装置のフックが引き出せないときは、「ピッピッピッ」とブザーが鳴るまで固定装置スイッチの「解除」側を押し続けてからフックを引き出します。  
(→ P.102)

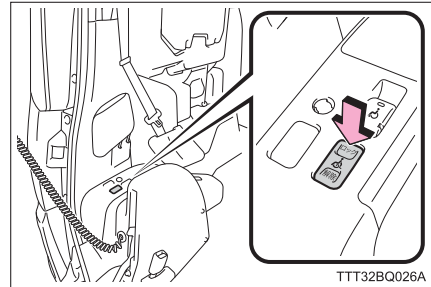


- 3 車いすが十分に引き込まれる（“ピッピッピッ” とブザーが鳴る）まで固定装置スイッチの「ロック」側を押し続け、車いす後部を固定する
- ・「ロック」側を押すと、車いすが少しうしろに下がります。
  - ・スイッチを押してからすぐに指を離すと“ピー…”とブザーが鳴り続けます（→P.51）。必ず“ピッピッピッ”とブザーが鳴るまでスイッチを押し続けてください。

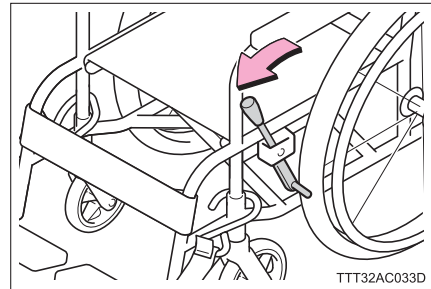
## ▶ セカンド席



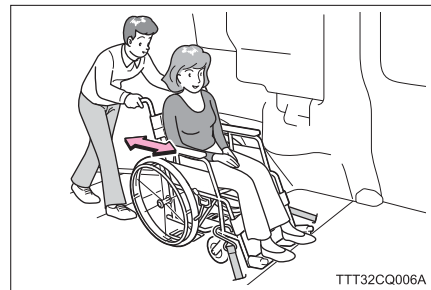
## ▶ サード席



- 4 車いすのブレーキを両輪ともかける



- 5 車いすを前後にゆすり、ベルトまたはワイヤーにたるみがなく、車いすが確実に固定されていることを確認する（イラストはサード席での固定）



以上で車いすの固定は完了です。次に車いす用シートベルトを着用します。（セカンド席→P.107 / サード席→P.109）

### ■ “ピッピッピッ” とブザーが鳴りやんだとき、車いすが所定の位置よりうしろに下がりすぎたときは

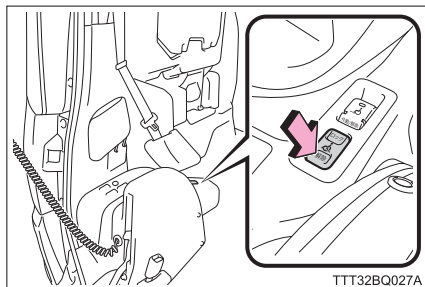
車いすの後輪やハンドルがサードシート乗車の方やスロープにあたる場合は、次の手順で固定をやり直してください。

- 1 固定装置スイッチの「解除」側を押し、車いすの固定を解除する
- 2 フックを車いすの後部フレームから取りはずす
- 3 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- 4 車いすを所定の位置まで動かす（セーフティベルト装着車→P.77～79 / 電動ウインチ装着車→P.84, 85）
- 5 P.100の2からの操作を行い、車いすのブレーキを両輪ともかける

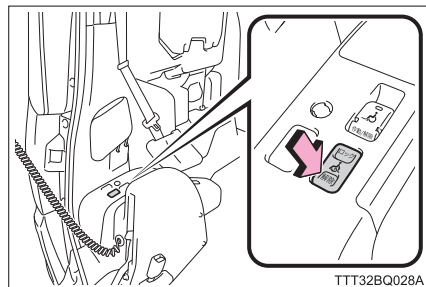
### 車いすの固定を解除するときは

- 1 操作前に、車いす用シートベルトがはずしてあることを確認する（→P.112）
- 2 ベルトまたはワイヤーが完全にゆるむ（“ピッピッピッ” とブザーが鳴る）まで固定装置スイッチの「解除」側を押し続け、車いす後部の固定を解除する  
スイッチを押してからすぐに指を離すと“ピー…” とブザーが鳴り続けます。必ず“ピッピッピッ” とブザーが鳴るまでスイッチを押し続けてください。

#### ▶ セカンド席

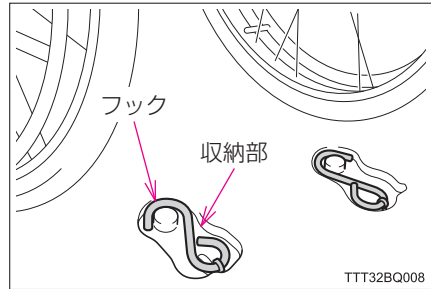


#### ▶ サード席





- 3 車いす固定装置のフックを車いすの後部フレームから取りはずす
- 4 サード席のフックは収納部に挿し込む（タイプⅠ“車いす2脚仕様”／タイプⅡ）



## 知識

### ■ 車いす固定装置について

車いす固定装置は、P.49の作動条件をすべて満たす場合に作動します。作動条件を1つでも満たさない場合は、固定装置スイッチを押しても車いす固定装置は作動しません。

作動条件	固定装置スイッチ	車いす固定装置
すべて満たす	ロック	巻き締め
	解除	ゆるむ
1つでも満たさない	ロック	作動条件をすべて満たしていたときの状態を保持
	解除	

### ■ ベルトについて（セカンド席）

- 車いす乗り入れ前にベルトの点検をし、ベルトにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ベルトが汚れるとベルトの巻き取りがしづらくなることがあります。ベルトの巻き取りがしづらくなったときは、ベルトの清掃をしてください。（→P.122）

### ■ ワイヤーについて（サード席）

- 車いす乗り入れ前にワイヤーの点検をし、ワイヤーにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ワイヤーが汚れるとワイヤーのもどりが悪くなることがあります。ワイヤーのもどりが悪くなったときは、ワイヤーの清掃をしてください。（→P.123）

 **警告**
**■ 車いすを固定するとき**

- 車いすを固定する前に、セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトが車いす乗車の方の足や車いすのフットレストに引っかかかっていないことを確認してください。  
そのまま車いすを固定すると、車いす乗車の方がけがをしたり、車いすの固定が不十分になり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- フックを扱うときは、フックをしっかりと持ってください。  
車いす固定装置のベルトおよびワイヤーは自動巻き取り式のため、しっかり持たないとフックやベルトおよびワイヤーが手などにあたり、けがをするおそれがあります。
- 車いす固定装置のフックを車いすのフレームに脱着するときは、フックとフレームとのあいだで指などを挟まないよう注意してください。
- 車いすを固定したときは、車いすを前後にゆすり、ベルトおよびワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。  
固定がはずれると走行中に車いすが動きだし、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ・ 固定を確認しているときに、車いすとフックとのあいだで手を挟まないように注意してください。
  - ・ ベルトおよびワイヤーにねじれがないことを確認してください。ベルトおよびワイヤーがねじれていると十分に固定できない場合があります。
  - ・ 車いすの固定が不十分なときは、車いすの固定位置およびフックを引っかける位置を確認後、固定装置スイッチの「解除」側を押し、操作をやり直してください。
  - ・ 車いすが所定の位置よりうしろに下がったときは、固定装置スイッチの「解除」側を押し、操作をやり直してください。(→ P.102)
  - ・ 固定装置スイッチの「ロック」側を押しても車いす固定装置が作動しないときは、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- サード席の車いす固定装置のフックを取りはずしたときは、必ずフックを収納部にもどしてください。  
フックを放置したままだと車いすを車外に降ろすとき、車いすにフックが引っかかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車いす固定装置使用中、ベルトおよびワイヤーが傷付いたりほつれたりした場合は、すぐにトヨタ販売店でベルトおよびワイヤーの交換を行ってください。  
そのまま使い続けると、走行中に車いすの固定がはずれ、車いす乗車の方が転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意****■ 故障・損傷などを防ぐために（タイプⅠ／タイプⅡ）**

車いす固定装置のフックを車いすに引っかけるときは、フックのベルトおよびワイヤーが車いすのフレームの縁などにあたっていないことを確認してください。

ベルトおよびワイヤーが損傷するおそれがあります。

**■ 故障・損傷などを防ぐために（タイプⅠ “車いす 2 脚仕様” ／タイプⅡ）**

サード席の車いす固定装置のフックを収納部に収納したまま、固定装置スイッチの「ロック」側を押さないでください。

車いす固定装置が故障するおそれがあります。

## 車いす用シートベルト

3点式のシートベルトです。

体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前へ倒れそうなきには、ベルトが自動的にロックされ体を固定します。

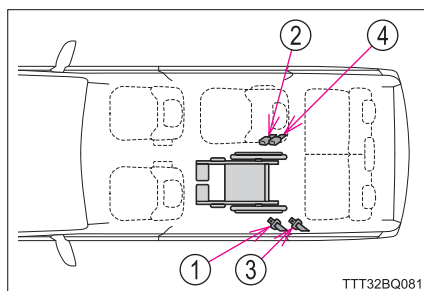
シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の方法に従って走行前に必ず着用してください。

シートベルトの着用は介助の方が行ってください。

### シートベルトの構成

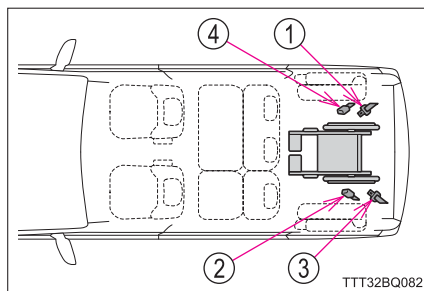
#### ◆ セカンド席（タイプ I）

- ① 腰部ベルト用プレート
- ② 腰部ベルト用バックル
- ③ 肩部ベルト用プレート
- ④ 肩部ベルト用バックル



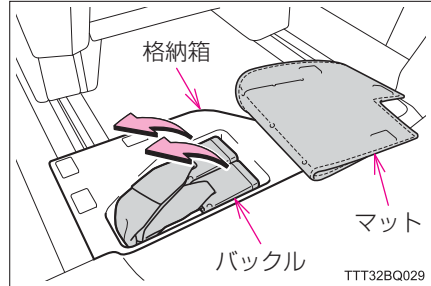
#### ◆ サード席（タイプ I “車いす 2 脚仕様” / タイプ II）

- ① 腰部ベルト用プレート
- ② 腰部ベルト用バックル
- ③ 肩部ベルト用プレート
- ④ 肩部ベルト用バックル



## セカンド席での着用のしかた（タイプ I）

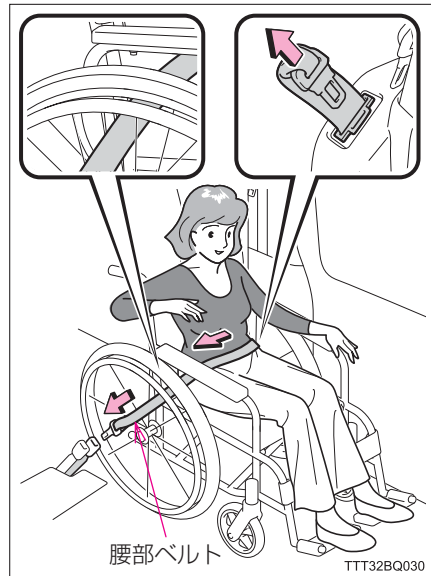
- 1 マット全体をめくり、バックルを格納箱から取り出す  
バックル取り出し後、マットをもどします。



- 2 腰部ベルトを持って引き出す  
ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

- 3 腰部ベルトを車いすの左右の  
アームレストの下側および車い  
すのスポークのあいだを通し、  
腰部ベルトを装着する

- ・ “カチッ” と音がするまでプレート  
をバックルに挿し込みます。
- ・ バックルは車いすに近い側のもの  
を使用してください。

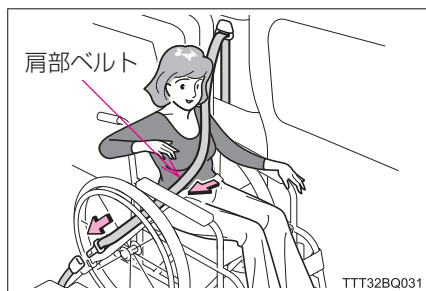


**4** 肩部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

**5** 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、肩部ベルトを装着する

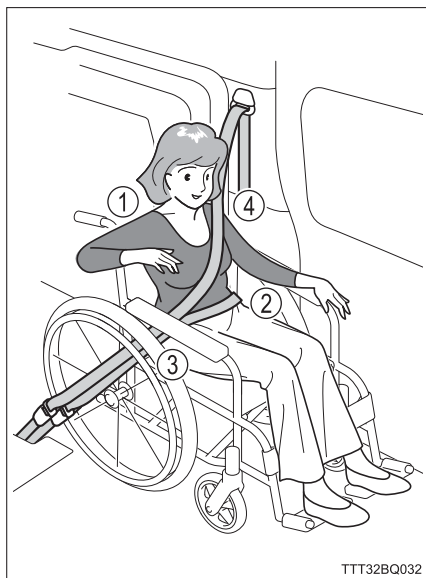
“カチッ”と音がするまでプレートバックルに挿し込みます。



**正しく着用するには**

シートベルトを調整し、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおり正しく着用する

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルトを車いすの左右のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- ③ 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通す
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。



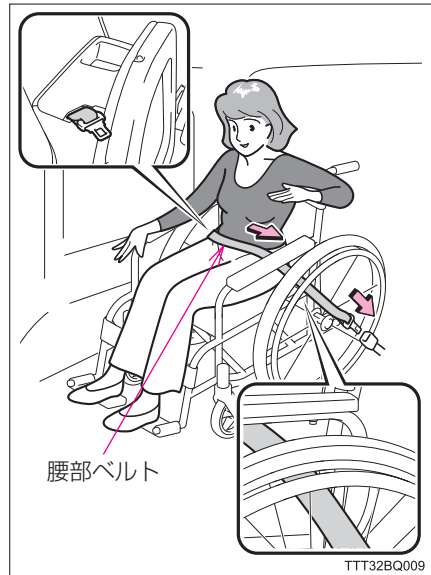
## サード席での着用のしかた（タイプⅠ “車いす 2 脚仕様” / タイプⅡ）

### 1 腰部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

### 2 腰部ベルトを車いすの左右の アームレストの下側および車い すのスポークのあいだを通し、 腰部ベルトを装着する

“カチッ”と音がするまでプレート  
をバックルに押し込みます。

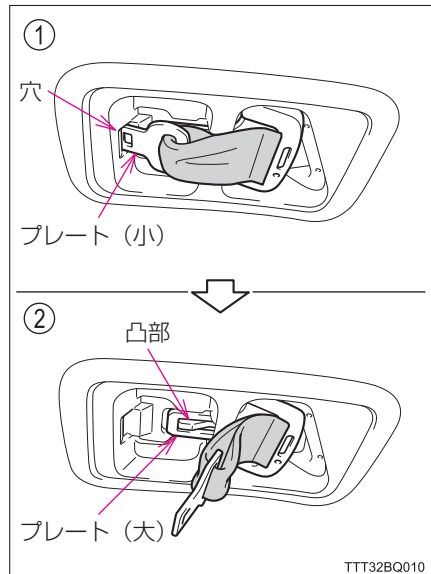


### 3 肩部ベルト※のプレートを格納 箱から取り出す

① プレート（小）を格納箱の穴  
から引き抜きます。

② プレート（大）を格納箱の凸  
部からはずします。

※：サード席の車いす用シートベ  
ルトの肩部ベルトは、サード  
シート中央席のシートベルト  
と共用しています。

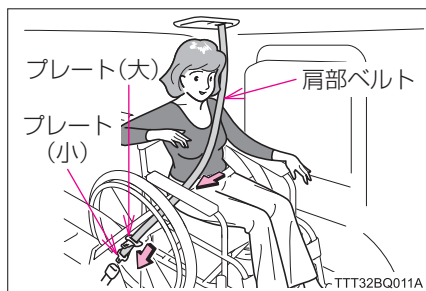


**4** 肩部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

**5** 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、肩部ベルトを装着する

- ・ “カチッ” と音がするまでプレート（小）をバックルに挿し込みます。
- ・ プレート（大）は下側にたらししておきます。

**正しく着用するには**

シートベルトを調整し、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおり正しく着用する

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルトを車いすの左右のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- ③ 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通す
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。

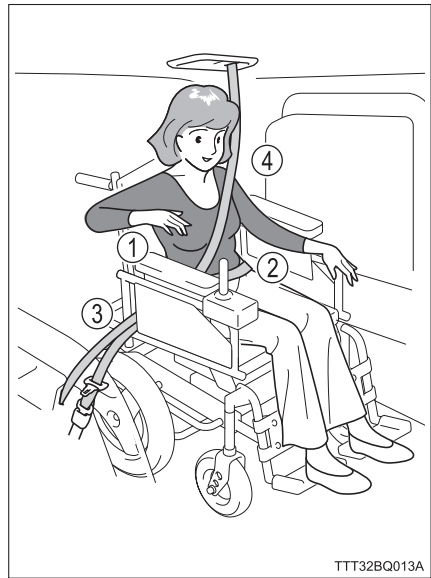




**電動車いすでのシートベルトの着用（参考例）**

電動車いすでシートベルトを着用するときは、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおりに正しく着用してください。

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルトを車いすの左右の  
アームレストの下側および車  
いすのスカートガードのあい  
だを通し、腰部ベルトを必ず  
腰骨のできるだけ低い位置に  
密着させる
- ③ 肩部ベルトを車いす右側の  
アームレストの下側および車  
いすのスカートガードのあい  
だを通す
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける  
首にかかったり、肩からはずれな  
いようにしてください。



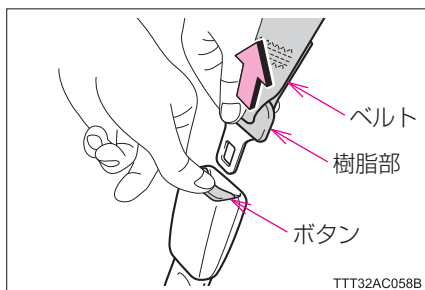
TTT32BQ013A

## はずし方

## 1 バックルのボタンを押してプレートをはずす

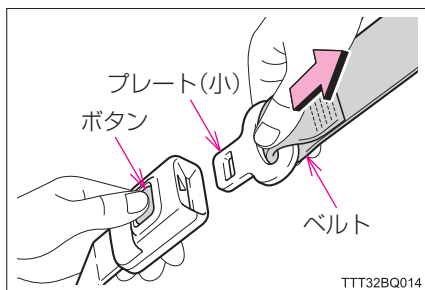
## ▶ サード席の肩部ベルト用バックル以外

- ① プレートの樹脂部とベルトを持つ
- ② バックルのボタンを押す
- ③ プレートの樹脂部とベルトを持ったまま、ベルトを巻き取らせる



## ▶ サード席の肩部ベルト用バックル (タイプ I “車いす 2 脚仕様” / タイプ II)

- ① プレート (小) とベルトを持つ
- ② バックルのボタンを押す
- ③ プレート (小) とベルトを持ったまま、ベルトを巻き取らせる

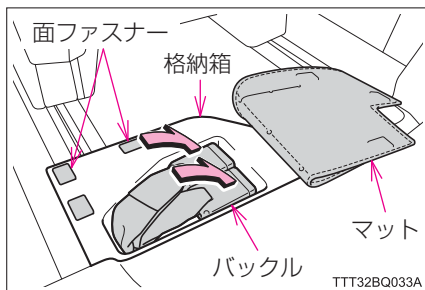


## 2 着用した位置の車いす用シートベルトのバックルおよびプレートを格納する

## ▶ セカンド席のバックル (タイプ I)

マット全体をめくり、バックルを格納箱に格納する

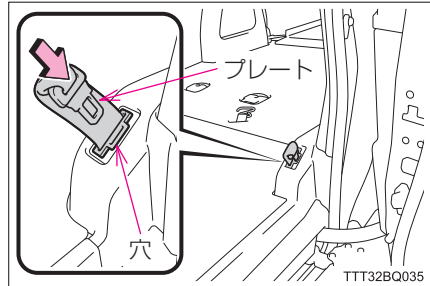
バックル格納後、マットをもどし、面ファスナーを貼り合わせます。



## ▶ セカンド席の腰部ベルト (タイプ I)

プレートに穴を挿し込み収納する

ベルトにねじれがなく、確実に挿し込まれたことを確認してください。

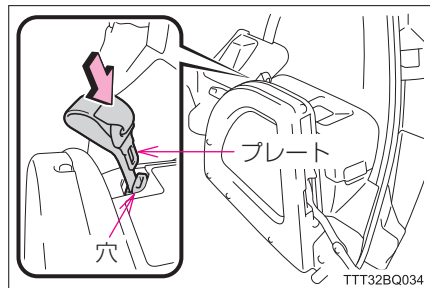


## ▶ サード席の腰部ベルト (タイプ I

プレートに穴を挿し込み収納する

ベルトにねじれがなく、確実に挿し込まれたことを確認してください。

“車いす 2 脚仕様” / タイプ II)

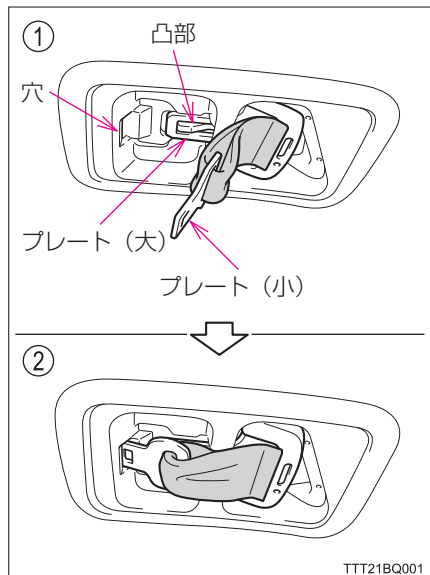


## ▶ サード席の肩部ベルト (タイプ I

① プレート (大) の穴を、格納箱の凸部にはめ込む

② プレート (小) を格納箱の穴に挿し込む

“車いす 2 脚仕様” / タイプ II)



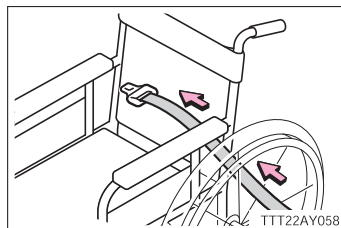
## 知識

### ■シートベルトがロックしたまま引き出せないときは

一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

### ■車いすの側板後部にスペースがある車いすをご使用の場合

右図のように腰部ベルトを通すと、腰骨のより低い位置に腰部ベルトがかけられます。



## 警告

### ■シートベルトを着用するときは

- シートベルトの着用は必ず介助の方が行い、正しく着用されていることを確認してください。  
シートベルトは正しく着用しないと、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 3点式シートベルトは必ず肩部ベルトと腰部ベルトの両方を着用してください。
- シートベルトを着用するときは、必ず車いすが固定されていることを確認してください。  
車いすの固定が悪いと車いすが動き出し、車いす乗車の方のシートベルトが正しく着用できなくなり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトは必ずアームレストの下側およびスポークまたはスカートガードのあいだを通してください。  
シートベルトがアームレストにかかった状態で着用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- サード席の肩部ベルトは、必ずプレート（大）も取り出してください。  
プレート（大）をルーフ部の格納箱に残したままにしておくと、プレート（大）がはずれたとき、車いす乗車の方の顔や頭にあたり、けがをするおそれがあります。

 **警告****■ シートベルトをはずすときは**

プレートバックルからはずすときは、必ずプレートの樹脂部を手で持ってからバックルのボタンを押してください。

プレートの樹脂部を持ってはずさないで、プレートがいきおいよくもどり、顔などにあたり、けがをするおそれがあります。

**■ シートベルトを着用しないときは**

● セカンド席の車いす用シートベルトを着用しないときは、必ずバックルを格納箱に格納し、マットをもどしてください。

バックルが床面に放置されていたりマットがもどされていないと、車いす乗降時および車内での移動時、つまずいて転倒したり、バックルを破損するおそれがあります。

● サード席の車いす用シートベルトを着用しないときは、必ず肩部ベルトを格納箱に格納してください。

肩部ベルトが確実に格納されていないと、車いす乗降時、肩部ベルトが頭にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 走行する前に

車いす用シートベルト着用後、車両を次の状態にします。

- 1 スロープを格納および車高をもどす（手動スロープ装着車→P.58 / 電動スロープ装着車→P.63）
- 2 バックドアを閉める  
バックドアが車いすにあたらないことを確認しながらゆっくりと閉めます。
- 3 メインスイッチを OFF にする（→P.53）
- 4 シートを次のように調整する
  - ▶ タイプ I の助手席シート  
車いす乗車の方にあたらないことを確認しながら、前後位置・背もたれ角度を調整する
  - ▶ セカンドシート  
車いす乗車の方にあたらないことを確認しながら、前後位置・背もたれ角度を調整する
  - ▶ タイプ I（車いす 1 脚乗車時）のサードシート  
サードシートに乗車するときは、サードシートを着座状態にする（→P.31）

### 警告

#### ■ 車いすを車内に乗り入れたときは

- タイプ I でセカンド席に車いすを乗り入れたときは、助手席シートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。  
助手席シートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすることがあります。車いす乗り入れ後、助手席シートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。
- サード席に車いすを乗り入れたときは、セカンドシートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。  
セカンドシートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすることがあります。車いす乗り入れ後、セカンドシートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

## お手入れのしかた

# 4

### 4-1. お手入れのしかた

手動スロープの清掃 (手動スロープ装着車) .....	118
電動スロープの清掃 (電動スロープ装着車) .....	120
ベルトの清掃 .....	122
車いす固定装置の清掃 .....	123
フロアマットの清掃 (タイプ I) .....	124

### 4-2. 簡単な点検・部品交換

ガレージジャッキ .....	126
----------------	-----

## 手動スロープの清掃（手動スロープ装着車）

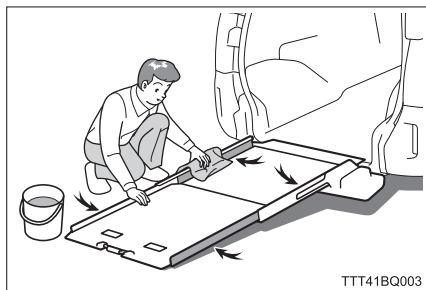
手動スロープの引き出しレール部に泥や小石、砂などの異物がつまると、手動スロープの引き出し・格納操作ができなくなります。手動スロープの清掃は、次のように行ってください。

### 手動スロープの清掃のしかた

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 バックドアを全開にする
- 3 手動スロープを展開する（→ P.57）  
車高を降下させる必要はありません。
- 4 手動スロープを清掃する

#### ▶ 引き出しレール部

- ① 泥や小石、砂などの異物があつたらブラシなどを使用して取り除く
- ② 水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る

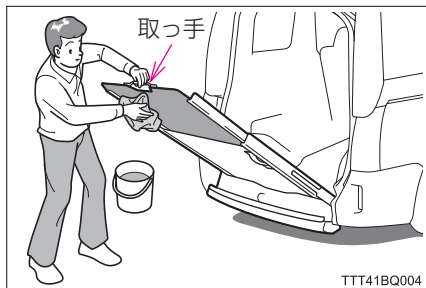


TTT41BQ003

#### ▶ 手動スロープ全体

水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る

手動スロープを持ち上げた状態で手動スロープ裏面などを清掃するときは、片方の手で手動スロープ先端の取っ手を持って手動スロープを持ち上げ、もう片方の手で清掃します。



TTT41BQ004



 **警告****■手動スロープを清掃するときは**

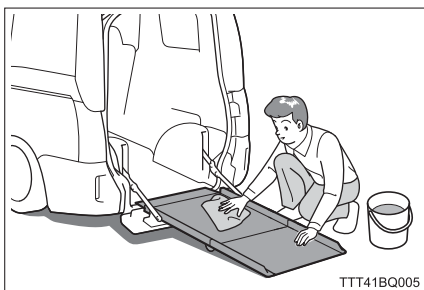
- 必ずエンジンを停止してください。  
誤って車高調整スイッチが押された場合、不意に車高が変化し、手足を挟まれ重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 手動スロープの可動部や端部、突起部などを清掃するときは、手や指を挟まないよう、十分注意してください。
- 手動スロープを持ち上げた状態で手動スロープ裏面などを清掃するときは、必ず片方の手で手動スロープ先端の取っ手を持って手動スロープを持ち上げてください。  
手動スロープ先端の取っ手以外の部分を持つと、手を挟まれけがをするおそれがあります。

## 電動スロープの清掃（電動スロープ装着車）

電動スロープの清掃は、次のように行ってください。

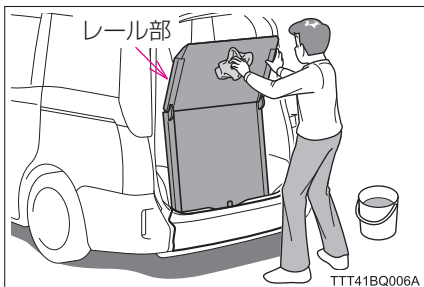
### 電動スロープ表面の清掃のしかた

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 メインスイッチをONにする（→P.53）
- 3 バックドアを全開にする
- 4 電動スロープを展開・車高降下させる（→P.62）
- 5 メインスイッチをOFFにする（→P.53）
- 6 エンジンを停止する
- 7 電動スロープ表面を水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る



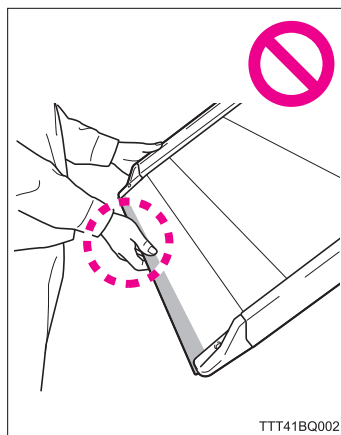
### 電動スロープ裏面の清掃のしかた

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 バックドアを全開にする
- 3 電動スロープのレール部を持ち、電動スロープ裏面を水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る



**警告****■ 電動スロープを清掃するときは**

- 必ずメインスイッチを OFF にし、エンジンを停止してください。  
誤って操作スイッチが押された場合、不意に電動スロープが作動したり車高が変化するなどして、手足を挟まれ重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 電動スロープの可動部や端部、突起部などを清掃するときは、手や指を挟まないよう、十分注意してください。
- 電動スロープを持ち上げた状態で電動スロープ裏面を清掃するときは、必ず片方の手で電動スロープのレール部をしっかりと持ってください。
  - ・ 電動スロープの接地面は絶対に持たないでください。接地面に地面との干渉による傷などができている場合、ふれたときにけがをするおそれがあります。
  - ・ 電動スロープを持ち上げて清掃するときは、手をすべらせて電動スロープを急に降ろさないよう、十分注意して清掃してください。電動スロープに手を挟まれ、けがをするおそれがあります。



## ベルトの清掃

セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルト、セカンド席の車いす固定装置のベルト（タイプ I のみ）および車いす用シートベルトが汚れたときは、次のように清掃を行ってください。

### 清掃のしかた

中性洗剤かぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る

乾くまで使用しないでください。

### 警告

#### ■ベルトを清掃するときは

- ベルトの清掃にベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤を使用しないでください。  
有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤を使用すると、ベルトの性能が低下し、十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。清掃するときは、中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでベルトを使用しないでください。
- ベルトを清掃するときは、フックまたはプレートをしっかり持ち、ベルトの状態を確認しながら行ってください。  
ベルトが不意に巻き取られ、けがをするおそれがあります。

## 車いす固定装置の清掃

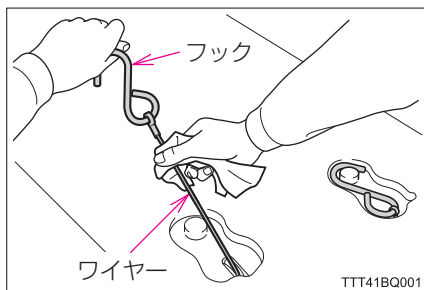
サード席の車いす固定装置（タイプⅠ“車いす2脚仕様”／タイプⅡ）のワイヤーが汚れると、ワイヤーのもどりが悪くなることがあります。次の方法でワイヤーを清掃してください。

セカンド席の車いす固定装置（タイプⅠ）はベルト式になります。清掃方法はP.122の「ベルトの清掃」を参照してください。

### 清掃のしかた

フックを持ってワイヤーを引き出し、清掃します。

- ① ワイヤーに砂やほこりなどの汚れが付着していたら、ワイヤーの状態を確認しながら、ゆっくりとやわらかい布などで汚れをふき取る
- ② 潤滑剤を湿らせた布で再度ワイヤーをふく



### 警告

#### ■ 車いす固定装置を清掃するときは

車いす固定装置に水をかけないでください。

電気部品に水がかかって故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

#### ■ ワイヤーを清掃するときは

- フックをしっかり持ち、ワイヤーの状態を確認しながら行ってください。フックから急に手を離すとワイヤーが不意に巻き取られ、けがをするおそれがあります。
- ワイヤーに直接ふれないでください。ワイヤーに傷やほつれがあった場合、けがをするおそれがあります。
  - ・ ワイヤーがほつれている場合は、ワイヤーの交換が必要です。車いす固定装置をそのまま使用せず、トヨタ販売店にご相談ください。

## フロアマットの清掃（タイプ I）

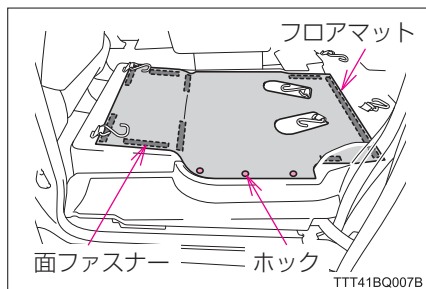
セカンド席のフロアマットが汚れたときは、取りはずして水洗いすることができます。

### 清掃のしかた

- 1 面ファスナー 9 か所およびホック 3 か所をはずし、フロアマットを取りはずす

■ 面ファスナー

● ホック



- 2 掃除機などで大まかな汚れを取り、水洗いをする
- 3 乾いたやわらかい布で水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させる
- 4 フロアマットをセカンド席床面に取り付け

### ⚠ 警告

#### ■ フロアマットを取り付けたときは

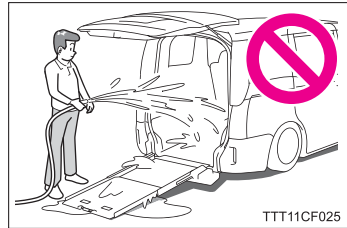
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、フロアマットがずれて車いすの固定が不十分になるなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- ホックおよび面ファスナーを床面に貼り付け、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを裏返して使用しない
- 車いすを車内に乗り入れる前に、フロアマットがすべてのホックおよび面ファスナーでしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に清掃後は必ず確認を行う

**警告****■ 清掃するときは**

車内を水洗いしないでください。  
電気部品に水がかかると、故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。  
万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。



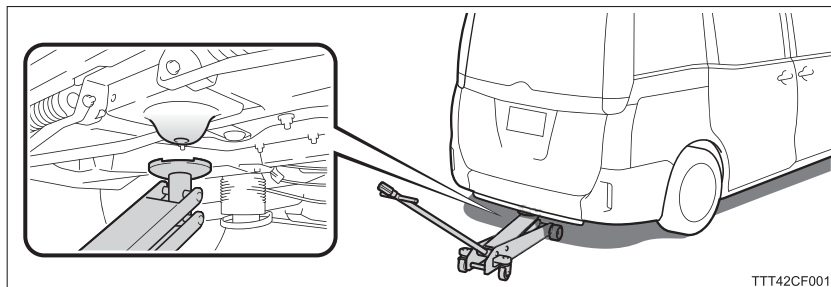
## ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

フロント側のセット位置およびお守りいただきたいことは標準車と同様ですので、標準車取扱書の「ガレージジャッキ」を併せて参照してください。

### リヤ側のガレージジャッキのセット位置



#### ⚠ 警告

##### ■ 車両を持ち上げるときは

必ずエンジンを停止してください。

エンジンがかかった状態だと、オートレベリング機能※により車高が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

※：乗員の数や荷物などの積載条件が変わっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能



## 万一の場合には

# 5

### 5-1.パンクしたときは

工具・ジャッキの取り出し... 128

### 5-2.故障かな？と

#### お考えになる前に

ヒューズの交換 ..... 133

車高降下装置が

作動しないときは ..... 138

電動スロープが

作動しないときは

(電動スロープ装着車) ..... 139

ワイヤレスリモコンの電池交換

(電動ウインチ装着車) ..... 140

### 5-3.緊急時の対処法

電動スロープが

格納できないときは

(電動スロープ装着車) ..... 142

セーフティベルトが引き出せ

ない・後退防止作動しない

ときは(セーフティベルト

装着車) ..... 146

電動ウインチが作動しないときは

(電動ウインチ装着車) ..... 148

車いす固定装置が

作動しないときは ..... 151

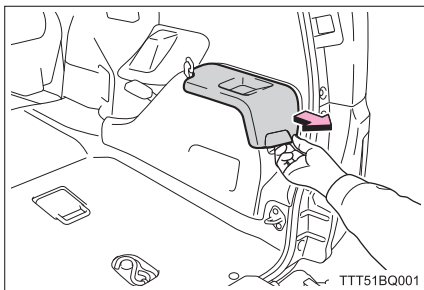
## 工具・ジャッキの取り出し

車内右側後部に装備されます。

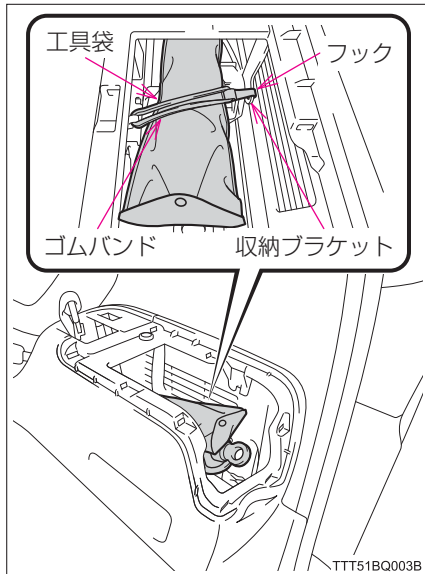
工具・ジャッキの取り扱いについては、標準車取扱書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

### 工具袋・ジャッキの取り出し

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 ジャッキカバーの取っ手部分を持って車両後方に引き、ジャッキカバーを取りはずす



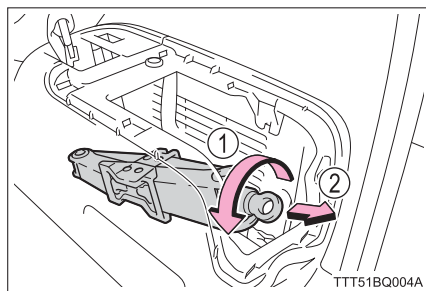
- 3 ゴムバンドのフックを収納ブラケットからはずす



- 4 工具袋を格納部から引き抜いて取り出す

**5** ジャッキを取り出す

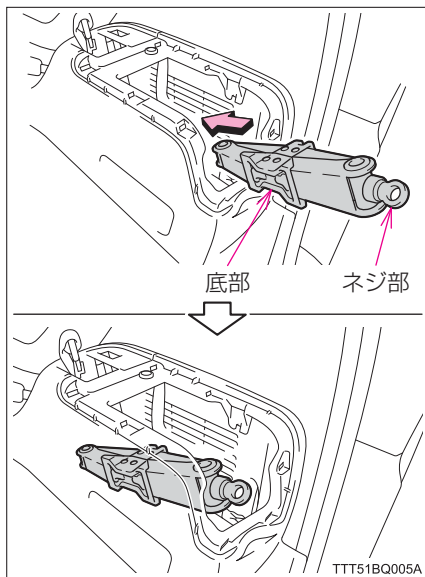
- ① ジャッキのネジ部を左にまわし、ジャッキを縮める
- ② 格納部から引き抜く



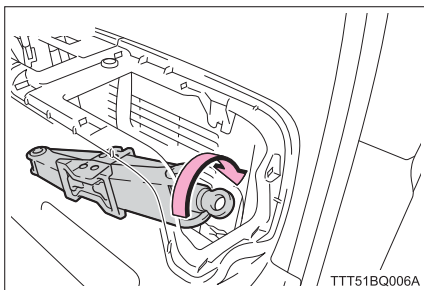
## 工具袋・ジャッキの格納

- 1 ジャッキの底部を車両内側・ネジ部を車両後方に向け、格納部に挿し込む

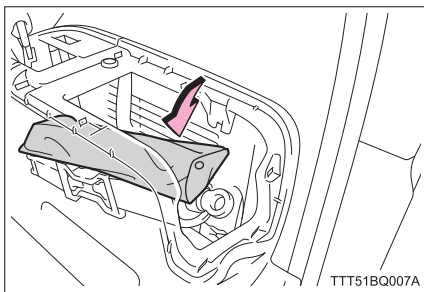
格納部に沿わせ、奥まで収納してください。(正しい向きで奥まで挿し込まないと、ジャッキカバーが閉められません)



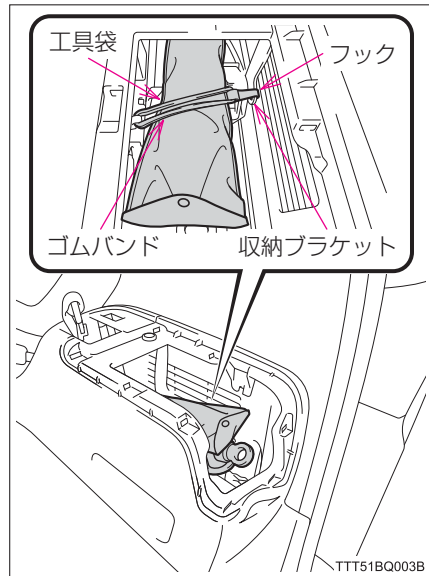
- 2 ジャッキのネジ部を右にまわしてジャッキを広げ、ジャッキが動かないようにする



- 3 工具袋をジャッキの上に置く



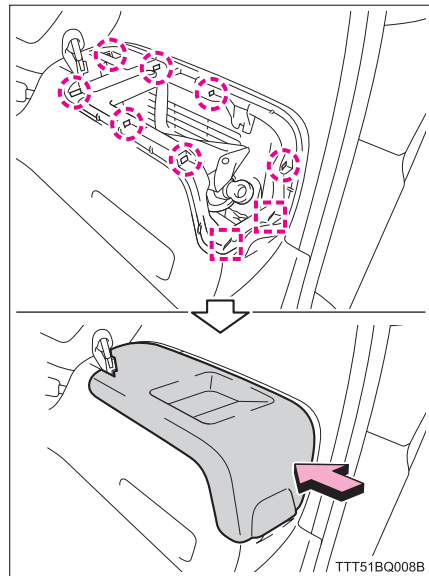
- 4 ゴムバンドのフックを収納ブラケットにかける



- 5 ジャッキカバーを元にもどす

ジャッキカバーをトリム部の穴に挿し込み、ツメ (2 か所) を確実にはめ込みます。

- : トリム部穴  
□ : ツメ挿し込み部



 知識■ **タイヤパンク応急修理キットについて**

この車両には応急用タイヤが搭載されていません。  
タイヤがパンクしたときにタイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。タイヤパンク応急修理キットの使用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

 **警告**■ **工具・ジャッキの取り出し・格納をするときは**

ゴムバンドの取り付け・取りはずし時、指などを挟まないように注意してください。

■ **工具・ジャッキを使用したあとは**

所定の場所に確実に保管してください。  
車室内などに放置すると、乗降時につまずいたり、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 **注意**■ **破損を防ぐために**

ジャッキカバーを取りはずすときは、ツメに無理な力が加わらないようにしてください。  
ツメが破損するおそれがあります。

## ヒューズの交換

ヒューズを点検する前に、各装置ごとの作動条件（→P.49）をすべて満たしていることを確認してください。

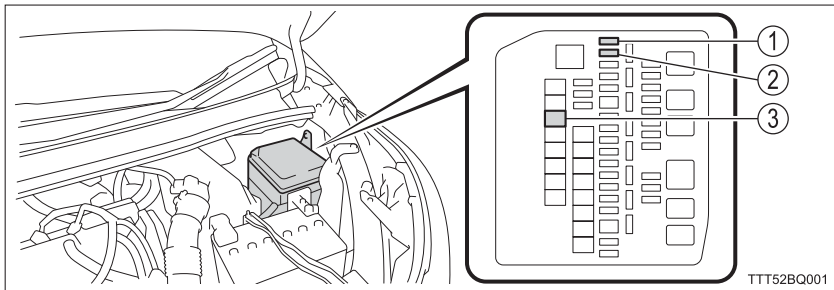
作動条件を確認したにもかかわらず、装置が正常に作動しないときは、ヒューズの点検を行ってください。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

### ヒューズ位置

#### ■ エンジンルーム左側ヒューズボックス

エンジンルーム左側ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



	ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
①	WELCAB NO.3	20A	ウェルキャブ ECU パワー系電源
②	WELCAB NO.2	30A	電動スロープ
③	AIR SUS	50A	車高降下装置

## ■ 左側リヤカバー内

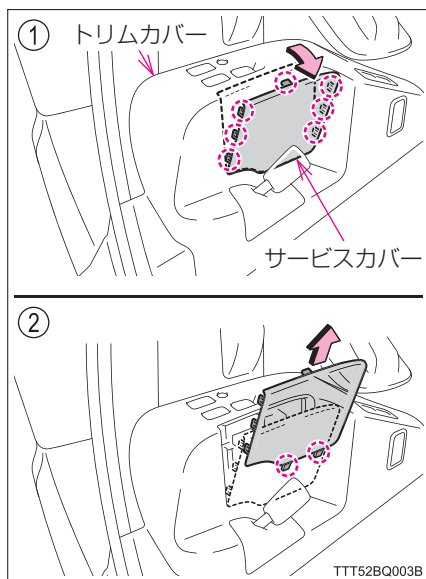
### ▶ 手動スロープ装着車

- 1 サービスカバーをトリムカバーから取りはずす

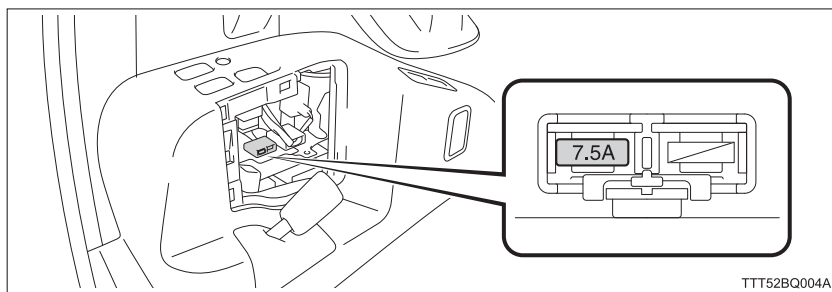
- ① サービスカバーの上側を手前に引き、サービスカバー内側のツメ7か所をはずす

○ : ツメ

- ② サービスカバーを少し上に引き上げて下側のツメ2か所をはずし、サービスカバーを取りはずす



- 2 ヒューズを点検する



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
WELCAB_No.4	7.5A	ワイヤレスリモコン、ウェルキャブ ECU システム系電源

- 3 ヒューズ点検後、サービスカバーのツメをはめ込み、もとにもどす  
先にサービスカバー下側のツメ2か所をトリムカバーに挿し込んでから、サービスカバー内側のツメ7か所をトリムカバーに挿し込みます。

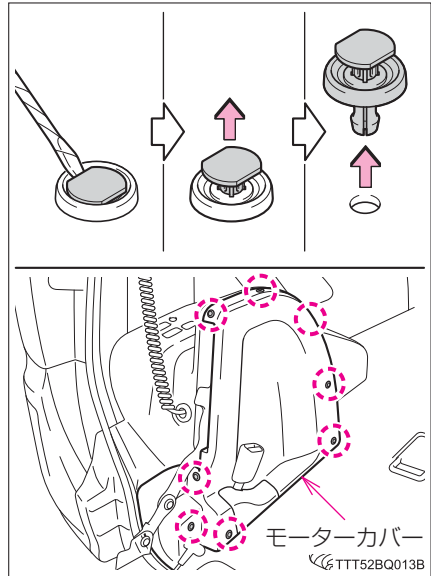


## ▶ 電動スロープ装着車

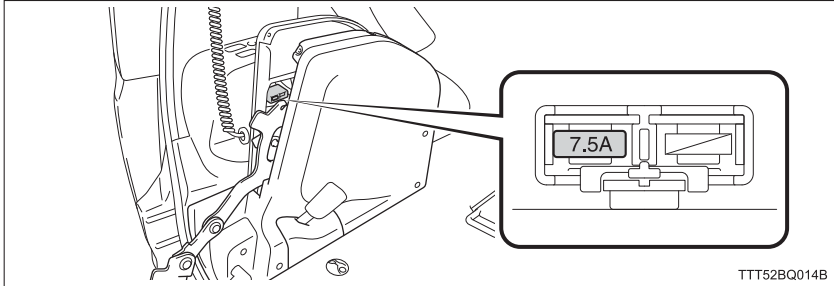
- 1 マイナスドライバーなどを使って、モーターカバーのクリップ 8 個を取りはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーなどの先端に布などを巻いて保護してください。

○ : クリップ



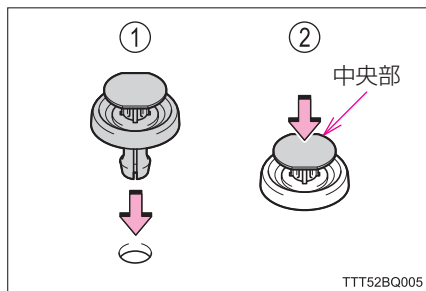
- 2 モーターカバーをずらし、ヒューズを点検する



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
WELCAB_No.4	7.5A	ワイヤレスリモコン、ウェルキャブ ECU システム系電源

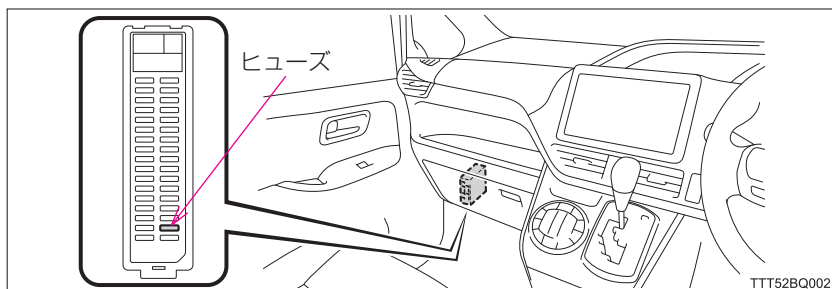
- 3 ヒューズ点検後、モーターカバーをもとにもどし、クリップを取り付ける

- ① クリップをモーターカバーに挿し込む
- ② クリップ中央部を押す



### ■ 助手席足元ヒューズボックス

助手席足元ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
DOME	10A	夜間照明灯

 知識

## ■ 車高降下装置について

- 車高降下・復帰操作をくり返し（目安として4分間に3回以上）行くと、エアサスペンションのコンプレッサの過熱防止（保護）のため、しばらく作動しなくなることがありますが、ヒューズ切れではありません。
- メーター内の車高調整インジケーターおよび左リヤデッキサイド部の車高降下装置異常ランプが黄色点灯した場合は、車高降下装置のシステムに何らかの異常が発生していますので、すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。（→ P.65）

## ■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても電気系統の装置が働かないとき

 警告

## ■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。  
お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

## 車高降下装置が作動しないときは

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.49)

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.133 ~ 135)

### 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対にスロープに車いすを乗せないでください。

#### ■ 走行可能な車高の場合

そのまま運転してトヨタ販売店で点検を受けてください。

#### ■ 走行できない車高の場合

次の方法で車高復帰（上昇）させ、そのまま運転してトヨタ販売店で点検を受けてください。

1 パーキングブレーキを確実にかける

2 エンジンを始動する

3 ブレーキペダルを踏んでシフトレバーをP以外の位置に動かし、周囲の安全を確認後、ブレーキペダルから足を離す

- ・ 車高復帰忘れ防止機能により、車高が上昇（復帰）します。(→ P.64)
- ・ ブレーキペダルを踏んだままだと車高復帰しません。シフトレバーを動かしただあと、必ずブレーキペダルから足を離してください。
- ・ 車高上昇が完了すると、メーター内の車高調整インジケーターが消灯します。(→ P.58, 63)
- ・ 車高が変化しなかった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

## 電動スロープが作動しないときは（電動スロープ装着車）

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。（→ P.49）

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。（→ P.133, 135）

### 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対に電動スロープに車いすを乗せないでください。

#### ■ 電動スロープが格納されている場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

万一、車いす乗車の方が車内にいる状態で電動スロープが展開せず、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

#### 1 スライドドアを全開にする

- ・ タイプ I のセカンド席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
- ・ サード席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。

#### 2 車いす乗車の方を降ろす

#### ■ 電動スロープが展開または格納途中の場合

トヨタ販売店または専門業者に P.142 「電動スロープが格納できないときは（電動スロープ装着車）」の操作をご依頼ください。

## ワイレスリモコンの電池交換（電動ウインチ装着車）

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

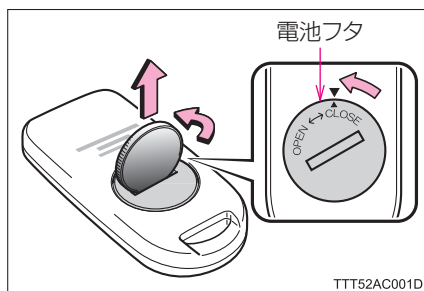
### 用意するもの

- コインなど、電池フタの溝に挿し込めるもの
- リチウム電池 CR2032

### 電池交換のしかた

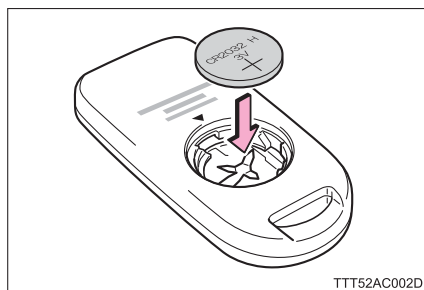
#### 1 電池フタをはずす

コインなどを電池フタの溝に挿し込み、▲マークが合う位置まで OPEN 側にまわし、電池フタをはずします。



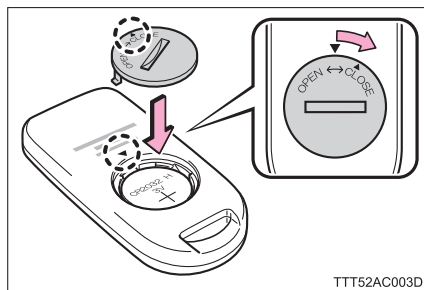
#### 2 電池を交換する

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。



#### 3 電池フタをはめる

- ・ 電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ・ コインなどを電池フタの溝に挿し込み、CLOSE 側にまわし、電池フタを締め込みます。



**4** 作動確認をする

電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中（6 秒以内）に出スイッチまたは入スイッチを押して、動作表示 LED が緑色点滅することを確認します。

 **知識****■ リチウム電池 CR2032 の入手**

電池はトヨタ販売店、時計店、カメラ店などで購入できます。

 **警告****■ 取りはずした部品や電池について**

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 交換後、正常に機能させるために**

次のことをお守りください。

- 電池交換時に部品を紛失しない
- 電池フタを曲げたりしない
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしない
- 電池の+極と-極は必ず正しい向きにして挿入する
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させない

## 電動スロープが格納できないときは（電動スロープ装着車）

万一、電動スロープが展開または格納途中で動かなくなってしまったときは、車を走行させることができません。

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換（→ P.133, 135）しても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に下記の操作をご依頼ください。

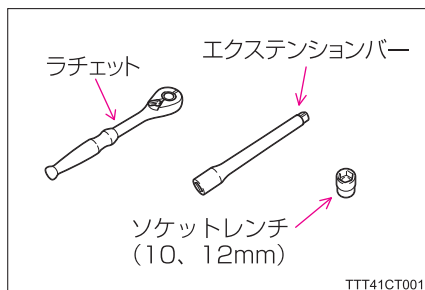
下記の操作は、緊急時の対処法です。

操作を行ったあとは、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

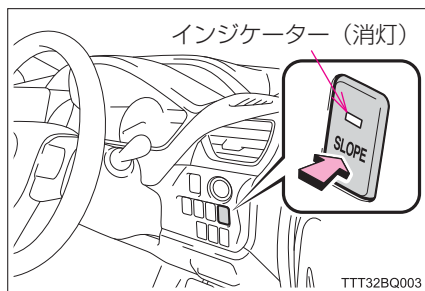
### 手動での電動スロープの格納のしかた

#### ■ 使用工具について

電動スロープを手動で格納するときは、次の工具を使用します。



- 1 メインスイッチを OFF にする  
インジケーターが消灯します。

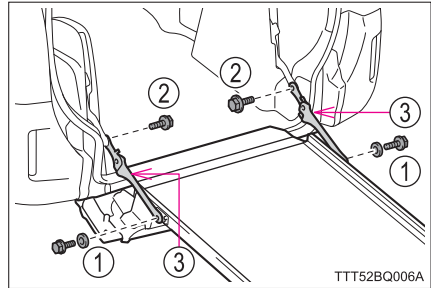




**2** エンジンを停止する

**3** 支持プレートのボルト（10、12mm）・ワッシャーをソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して取りはずす

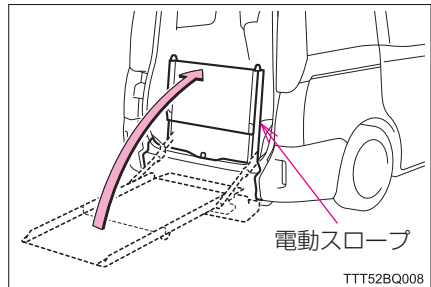
- ① 10mm ボルト・ワッシャー
- ② 12mm ボルト
- ③ 支持プレート



**4** 支持プレートを取りはずす（左右とも）

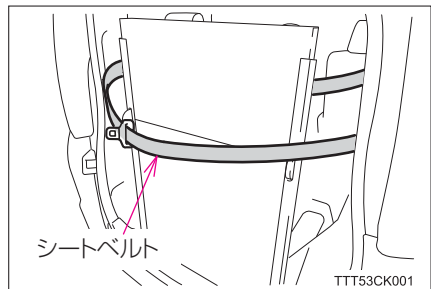
**5** 電動スロープを手動で格納する

- ・ 電動スロープが後方に倒れないように確実に保持しながら格納します。
- ・ 車いす乗車の方が車内にいるときは、電動スロープをいっぱいまで展開し、先に車いすを降ろしてから格納します。



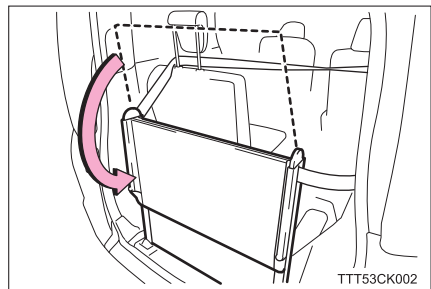
**6** 車内に入り、助手席側サイドシートを着座状態にする

**7** 運転席側サイドシートのシートベルトを引き出し、電動スロープを通す



**8** 電動スロープを折りたたみ、あいだにシートベルトを挟む

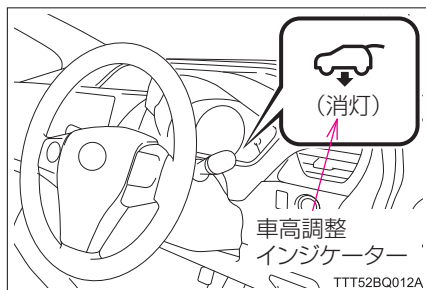
- 必要に応じてヘッドレストを引き上げ、シートベルトがかかるようにします。



- 9 シートベルトのプレートをバックルにはめこむ
- 10 パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認する
- 11 エンジンを始動する

- 12 ブレーキペダルを踏んでシフトレバーをP以外の位置に動かし、周囲の安全を確認後、ブレーキペダルから足を離す

- ・ 車高復帰忘れ防止機能により、車高が上昇（復帰）します。（→ P.64）
- ・ ブレーキペダルを踏んだままだと車高復帰しません。シフトレバーを動かしたあと、必ずブレーキペダルから足を離してください。
- ・ 車高復帰が完了すると、メーター内の車高調整インジケーターが消灯します。



- 13 ブレーキペダルを踏み、シフトレバーをPの位置にする
- 14 エンジンを停止する
- 15 バックドアを完全に閉める

バックドアが完全に閉まったら、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 **警告****■ 電動スロープを手動格納するときは**

- 電動スロープの手動格納時、メインスイッチを OFF にしてください。  
万一、操作スイッチを押して正常作動した場合、電動スロープに巻き込まれるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 電動スロープはレール部を持って格納してください。
  - ・ 電動スロープの接地面は絶対に持たないでください。接地面に地面との干渉による傷などができている場合、ふれたときにけがをするおそれがあります。
  - ・ 電動スロープの可動部は絶対に持たないでください。可動部を持つと手を挟み、けがをするおそれがあります。
- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。  
車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 損傷を防ぐために**

バックドアは勢いよく閉めないでください。  
電動ウインチのベルトのフックがバックドアストライカーに引っかかっていた場合、フック・ストライカーの破損および電動スロープを損傷するおそれがあります。

## セーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しないときは（セーフティベルト装着車）

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。（→ P.49）

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても後退防止作動をしない場合は、ヒューズを点検・交換してください。（→ P.133, 134）

## 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしてもセーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

### ■ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

万一、セーフティベルトが引き出せず、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

#### 1 スライドドアを全開にする

- ・ タイプ I のセカンド席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
- ・ サード席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。

#### 2 車いす乗車の方を降ろす

### ■ セーフティベルトが巻き取れないときは

セーフティベルトに雪や雨などが付着したり、寒冷時においてセーフティベルトが凍結した場合、セーフティベルトの巻き取りができなくなることがあります。

セーフティベルトの巻き取りができないときは、セーフティベルトに付着した雨や雪などをふき取ってから、セーフティベルトを巻き取ります。

## 電動ウインチが作動しないときは（電動ウインチ装着車）

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。（→ P.49）

### ワイヤレスリモコンの確認

電池が消耗すると、次の症状が現れます。（電池寿命は約 1 年間です）

- 著しく作動可能距離が短くなる
- 動作表示 LED が点灯しなくなる
- 動作表示 LED が点滅しなくなる

いずれかにあてはまる場合は電池を交換してください。（→ P.140）

### ■ ワイヤレスリモコンの紛失・電池切れしたとき

ウインチスイッチを引くとベルトフリーモードになり（インジケーターが点滅し、“ピッ…ピッ…”とブザーが鳴り続けます）、手動でベルトが引き出せます。（→ P.82）

ウインチスイッチを押すとベルトフリーモードが解除されますので、車いすを車内に手動で乗り入れるときは車いすの後退を防止し、車内では車いす固定装置としてご利用いただけます。

なお、ワイヤレスリモコンの紛失・電池切れしたとき以外は、この操作は行わないでください。

### ■ 車いすが車内に乗り入れた状態でワイヤレスリモコンの紛失・電池切れしたときは

次の方法で車いすを車外に降ろします。

- 1 ウインチスイッチを引き、ベルトフリーモードにする
- 2 車いすのブレーキを両輪とも解除後、すぐに車いすのハンドルをしっかり持つ
- 3 車いすを一度、少し前に押してから車いすを引き、車いすを車外に降ろす  
このとき、後退防止作動が解除されていますので、ご注意ください。
- 4 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 5 ベルトのフックを手を持って、フックを片方ずつ、車いすの前部フレームから取りはずす
- 6 ベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る

### ヒューズの点検・交換

作動条件およびワイヤレスリモコンの電池を確認しても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.133 ~ 135)

### 作動条件・ワイヤレスリモコンの電池確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

#### ■ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

万一、電動ウインチが手動でも作動しなくなり、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

- 1 スライドドアを全開にする
  - ・ タイプ I のセカンド席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
  - ・ サード席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。
- 2 車いす乗車の方を降ろす

#### ■ 手動でベルトが巻き取れないときは

電動ウインチのベルトに雪や雨などが付着したり、寒冷時においてベルトが凍結した場合、手動でベルトの巻き取りができなくなることがあります。

手動でベルトの巻き取りができないときは、ベルトに付着した雨や雪などをふき取ってから、ベルトを巻き取ります。

 **警告****■ 車いすを車内に乗り入れた状態で、電動ウインチをベルトフリーモードにするときは**

車いすが急に下がらないよう十分注意してください。

ベルトフリーモードにするときは、車いすのブレーキが両輪ともかかっていることを確認し、車いすのブレーキを両輪とも解除後、車いすが急に下がらないよう、介助の方がしっかりと車いすを支えてください。



## 車いす固定装置が作動しないときは

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.49)

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.133 ~ 135)

### 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

#### ■ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

万一、車いす固定装置が作動しなくなり、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

#### 1 スライドドアを全開にする

- ・ タイプ I のセカンド席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
- ・ サード席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。

#### 2 車いす乗車の方を降ろす



## 点検・整備項目

# 6

### 6-1. 点検・整備項目

定期点検整備 ..... 154

## 定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。  
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目	点検時期		交換 時期 (年)	備考	
	日 常 点 検	自家用車			
		12 か 月 ごと			24 か 月 ごと
手 動 ス ロー プ	各部取り付け部				
	ゆるみ、損傷		○		取り付け部のゆるみ、スロープ本体の損傷、取っ手(スロープ先端・右側)・リヤバンパー部ロックの締め付け状態
	各部のガタ		○		格納(起立)時ロック・前倒れ・展開状態のガタ
電 動 ス ロー プ	各部の機能				
	作動状態	○			ロック解除レバー・操作レバーのもどり不良、スロープ引き出し・格納・前倒れ・展開操作の異音・荷重、バックドアの閉まり具合
	各部のガタ		○		格納(起立)状態・スロープ展開状態のガタ
電 動 ス ロー プ	各部取り付け部				
	ゆるみ、損傷		○		取り付け部・リンク部のゆるみ、スロープ本体の損傷、ワイヤーのほつれ・傷
	各部の機能		○		展開・格納作動時の異音、バックドアの閉まり具合

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

点検整備項目		点検時期		交換 時 期 (年)	備考	
		日	自家用車			
			12 か 月 ご と			24 か 月 ご と
リヤエアサスペンション	エアサスペンション					
	取り付け部のゆるみ		○		締め付けトルクが基準値内にあること	
	損傷		○		エアサスペンションに亀裂・傷など損傷がないこと	
	コンプレッサ					
	ゆるみ、ガタ		○		締め付けトルクが基準値内にあること	
	作動中の異音		○		異音がないこと	
配管・ジョイント部						
	損傷		○		損傷・エアもれがないか点検する	
セーフティベルト	ベルトの損傷（タイプI “車いす2脚仕様” は2脚とも同様に点検する）					
	汚れ、傷、ほつれ	○			ほつれが始まったら交換	
	機能（タイプI “車いす2脚仕様” は2脚とも同様に点検する）					
	引き出し、巻き取りの状態	○				
	ロック状態	○				
電動ウィンチ	ベルトの損傷（タイプI “車いす2脚仕様” は2脚とも同様に点検する）					
	汚れ、傷、ほつれ	○			ほつれが始まったら交換	
	機能（タイプI “車いす2脚仕様” は2脚とも同様に点検する）					
	引き出し、巻き取りの状態	○				
	ロック状態	○				

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

点検整備項目	点検時期				交換時期 (年)	備考
	日 常 点 検	自家用車				
		12 か 月 ご と	24 か 月 ご と			
車いす 固定装置	ベルト・ワイヤーの損傷（セカンド席用はベルトタイプ、サード席用はワイヤータイプ）					
		汚れ、傷、ほつれ	○			ほつれが始まったら交換
	機能（タイプI “車いす2脚仕様” は2脚とも同様に点検する）					
		引き出し、巻き取りの状態	○			
		ロック状態	○			
シートベルト 車いす用	ベルトの損傷					
		汚れ、傷、ほつれ	○			ほつれが始まったら交換

\*：空欄については点検および交換の必要はありません。

## リヤエアサスペンションの締め付けトルク基準値

単位：N・m {kgf・cm}

部品	締め付けトルク基準値
エアサスペンション下部取り付けボルト	16 {163}
コンプレッサ取り付けボルト	5.9 {60}
コンプレッサブラケット取り付けナット	33 {337}

## 消耗部品

次の部品は使用頻度・経年変化などにより、消耗・劣化する部品です。  
点検時に摩耗や損傷状態を見て早めに交換してください。

● 交換作業はトヨタ販売店にお申し付けください。

消耗部品
夜間照明灯の電球（12V/5W）

## さくいん

こんなときは (症状別さくいん) .....	158
車から音が鳴ったときは (音さくいん) .....	165
五十音順さくいん .....	168

## こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

### 車いすについて



#### 車いすがスロープおよび車内の正しい位置に乗り入れできない

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.41）
- スロープの耐荷重 200kg 以内で使用してください。（→ P.40）
- 車いすを車内に乗り入れる前に、シートを調整してください。（→ P.74）
- 正しい手順で乗り入れているか、確認してください。（セーフティベルト装着車→ P.75 / 電動ウインチ装着車→ P.82）



#### 車いす固定装置のフックが車いすにかからない

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.41）
- 車いすを所定の位置まで乗り入れていますか？（セーフティベルト装着車→ P.77 ~ 79, 88 / 電動ウインチ装着車→ P.84, 85, 88）
- 車いすのフレーム形状によっては、車いす固定装置のフックが正しくかけられないときがあります。



#### 車いす用シートベルトが正しく着用できない

- 車いすのアームレスト下側にカバーなどありませんか？（→ P.114）
- シートベルトの装着手順を確認してください。（セカンド席→ P.107 / サード席→ P.109）



**車高降下装置について****車高降下中、車高が自動復帰した**

- 車高降下中にシフトレバーを P 以外の位置にしませんでしたか？  
（→ P.64）

**車高調整スイッチ（手動スロープ装着車）または操作スイッチ（電動スロープ装着車）を押しても車高が変化しない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.49）
- 短時間にくり返し操作していませんか？（→ P.64）
- ブレーキペダルを踏んでいませんか？（→ P.64）

**車高降下速度が遅い、または車高降下が完了しない**

- 氷・雪または石などがボデーに接触していませんか？（→ P.64）

**車両左側後方から音が聞こえる**

- エアサスペンションの作動音です。故障ではありません。（→ P.65）

**スイッチを操作しなくても車高がかわった**

- オートレベルリング機能により車高調整が行われています。（→ P.65）

**車高調整インジケーターおよび車高降下装置異常ランプが黄色点灯し、車高降下・復帰が停止した**

- 車高降下装置のシステムに何らかの異常が発生しています。すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。（→ P.65）

**手動スロープについて（手動スロープ装着車）****手動スロープの引き出し・格納ができない**

- 手動スロープの引き出しレール部に異物がないか確認し、異物があるときは清掃してください。（→ P.118）

**手動スロープの前倒れ・起立ができない**

- 手動スロープを前倒れにするときは左右の操作レバーを操作してください。（→ P.60）
- 手動スロープの黒色カバーを取りはずしましたか？（床面ロックが起きた状態の場合のみ→ P.60）
- 手動スロープを起こすときは右の操作レバーだけを操作してください。（→ P.61）

**電動スロープについて（電動スロープ装着車）****電動スロープが作動しない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.49）

**ブザーが鳴りだした**

- 電動スロープが完全に展開・格納されていない（自動停止前）状態で操作スイッチから指を離しませんでしたか？（→ P.52）

車いすの車内への乗り入れについて  
（セーフティベルト★／電動ウインチ★／車いす固定装置）



**セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引いてもベルトが引き出せない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.49）



**車いす乗車の方の足や車いすの後輪が、他の乗員やスロープにあたる**

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.41）
- 車いすを所定の位置まで乗り込ませましたか？（セーフティベルト装着車→ P.77 ~ 79, 88 / 電動ウインチ装着車→ P.84, 85, 88）
- 車いすが左右傾いて固定されていませんか？



**車いすを車内に乗り入れたあと、車いすが下がってしまう**

- 車いすのブレーキは両輪ともかけられていますか？（→ P.101）
- 作動条件をすべて満たした状態でセーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★のインジケーターが点滅していませんか？（セーフティベルト装着車→ P.90 / 電動ウインチ装着車→ P.92）



**車いす固定装置が作動しない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.49）



**固定装置スイッチの「ロック」側を押しても車いすが固定されない・「解除」側を押しても車いすの固定が解除されない**

- “ピッピッピッ” とブザーが鳴るまで「ロック」側・「解除」側を押し続けましたか？（→ P.101, 102）

**セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトが巻き取れない**

- 車いすやベルトが車内のものに引っかかっていたり、ベルトがねじれていませんか？（→ P.99）
- ベルトに雪や雨などが付着したり、ベルトが凍結していませんか？（セーフティベルト装着車→ P.147 / 電動ウインチ装着車→ P.149）

**ワイヤレスリモコンを操作してもブザーが鳴らず、電動ウインチが作動しない（電動ウインチ装着車）**

- 周囲の電波状態により出スイッチまたは入スイッチを押しても電動ウインチが作動しなくなることがあります。（→ P.92）
- 電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中に出スイッチまたは入スイッチを押しましたか？（→ P.92）
- 出スイッチまたは入スイッチを断続的に押ししていませんか？（→ P.92）
- 電池が消耗していませんか？（→ P.148）

**故障かな？と思ったら****装置が作動しない**

- 各装置ごとの作動条件を確認してください。（→ P.49）

**夜間照明灯が点灯しない**

- スイッチが OFF になっていませんか？（→ P.34）
- バックドアは開いていますか（→ P.34）

**ブザーが鳴りだした**

- 「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（P.165）をご確認ください。

トラブルが発生した



**車高降下装置が作動しない**

- P.138 のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



**電動スロープが作動しない（電動スロープ装着車）**

- P.139 のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 電動スロープが展開または格納途中で動かなくなったときは、トヨタ販売店または専門業者に P.142 「電動スロープが格納できないときは（電動スロープ装着車）」の操作をご依頼ください。  
操作を行ったあとは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



**セーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しない  
（セーフティベルト装着車）**

- P.146 のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



**電動ウインチが作動しない（電動ウインチ装着車）**

- P.148 のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



### ワイヤレスリモコンを紛失した・電池が切れた （電動ウインチ装着車）

- 電池が切れたときは、P.140の方法で電池を交換してください。
- ワイヤレスリモコンを使わずに車いすを車内外に乗降・固定することができます。（→P.148）  
ワイヤレスリモコンを紛失したときは、トヨタ販売店にご相談ください。



### 車いす固定装置が作動しない

- P.151のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤作動などをお知らせするためにブザーが鳴ります。

### スイッチ操作時

状況	原因	詳細
各装置のスイッチを操作したとき	作動条件をすべて満たしていない	P.51
	複数のスイッチを操作している	
	装置の作動中、作動条件を1つでも満たさなくなった	

### 車高降下装置操作時（手動スロープ装着車）

状況	原因	詳細
車高調整スイッチを押したとき	車高降下装置作動中	P.56 P.58
	車高降下装置の保護による作動停止	P.51
	車高降下装置が作動を開始してから95秒以上経過しても、作動を完了しない	P.51

## 車高降下装置・電動スロープ操作時（電動スロープ装着車）

状況	原因	詳細
操作スイッチを押したとき	電動スロープ作動開始	P.62 P.63
	車高降下中	P.62
	電動スロープ展開および車高降下完了時	P.62
	電動スロープ格納中	P.63
	電動スロープ格納完了時	P.63
	車高降下装置の保護による作動停止	P.52
	車高降下装置が作動を開始してから 95 秒以上経過しても、作動を完了しない	P.51
	電動スロープ作動途中で操作スイッチから指を離れた	P.62 P.63

## セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★操作時

状況	原因	詳細
セーフティベルトスイッチ★またはウインチスイッチ★を引いたとき	ベルトフリーモードに移行	P.75 P.82
	ベルトフリーモード（インジケータ点滅）	

## ワイヤレスリモコン操作時（電動ウインチ装着車）

状況	原因	詳細
ワイヤレスリモコンの電源を入れてから入または出スイッチを押したとき	電動ウインチ作動開始	P.84
	電動ウインチ作動時、負荷がかかっている	P.52
	電動ウインチ上昇作動時の停止位置で負荷が増大	

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



### 車いす固定装置操作時

状況	原因	詳細
固定装置スイッチを押したとき	車いす固定装置正常作動時	P.101
	車いすの固定・解除が不十分	P.102

### その他の操作時

状況	原因	詳細
シフトレバーをP以外の位置に動かしたとき	バックドアが開いている	P.52
ブレーキペダルを踏み続けたとき	車高降下装置が作動を開始してから95秒以上経過しても、作動を完了しない	P.51
車両のバッテリー再接続時	システム電源 ON	P.50

## 五十音順さくいん

## あ

安全なドライブのために	
車いすの固定およびシート	
ベルトの着用について	20
車いすの車内外への	
乗降について	12
車両火災・故障・損傷を	
防ぐために	23

## う

ウインチスイッチ	
解除	82
作動	86
作動条件	49

## え

エアサスペンション	67
オートレベリング機能	65
手動スロープ装着車	56
電動スロープ装着車	62

## お

お手入れのしかた	
車いす固定装置の清掃	123
手動スロープの清掃	118
電動スロープの清掃	120
フロアマットの清掃	124
ベルトの清掃	122

## か

ガレージジャッキ	126
----------	-----

## き

緊急時の対処法	
セーフティベルトが引き出せない・	
後退防止作動しないとき	146
電動ウインチが	
作動しないとき	148
電動スロープが	
格納できないとき	142

## く

車いす	
車いす乗車の目安 .....	40
車いすのタイヤ空気圧 .....	40
重量 .....	40
乗車可能な車いす .....	41
車いす固定装置	
解除 .....	102
固定 .....	100, 101
作動しないとき .....	151
作動条件 .....	49
清掃 .....	123
車いすの車内外への乗降	
車内への乗り入れ位置	
(サード席) .....	78, 85
車内への乗り入れ位置	
(セカンド席) .....	77, 84
車内への乗り入れ位置	
(2脚乗り入れ時) .....	88
セーフティベルト装着車 ..	75, 79
電動ウインチ装着車 .....	82, 86
車いすの車内での固定・解除	
解除 .....	102
固定 .....	100
車いす用シートベルト	
サード席での着用 .....	109
シートベルトの構成 .....	106
セカンド席での着用 .....	107
電動車いすでの着用 .....	111
はずし方 .....	112

## こ

工具・ジャッキの取り出し .....	128
故障かな？とお考えになる前に	
車いす固定装置が	
作動しないとき .....	151
車高降下装置が	
作動しないとき .....	138
電動スロープが	
作動しないとき .....	139
ヒューズの交換 .....	133
ワイヤレスリモコンの	
電池交換 .....	140
固定装置スイッチ .....	101, 102

## さ

サードシート	
格納 .....	28
標準車との相違点 .....	27
もどし方 .....	31
作動条件 .....	49

## し

シート	
サードシート	27
シートの構成および	
標準車との相違点	26
セカンドシート	26
室内装備	
収納装備一覧	35
夜間照明灯	34
室内レイアウト	38
締め付けトルク基準値	156
車高降下装置	
作動しないとき	138
作動条件	49
車高降下を途中で	
やめるとき	57, 63
手動スロープ装着車	56, 58
電動スロープ装着車	62, 63
車高降下装置異常ランプ	65
車高調整	
インジケーター	56, 62, 65
車高調整およびスロープの展開・格納	
手動スロープ装着車	56, 58
電動スロープ装着車	62, 63
車高調整スイッチ	56, 58
車高復帰忘れ防止機能	64
ジャッキ	126, 129
ジャッキカバートレイ	35
ジャッキの取り出し	128
手動スロープ	
格納	58
清掃	118
展開	56, 57
前倒れ機構	59, 60
使用工具について	142
消耗部品	156

## す

スマートエントリー&	
スタートシステムについて	39
スロープ	
内幅	40
手動スロープ	57
耐荷重	40
電動スロープ	62
スロープを使用する前に	
車いす乗車の目安	40
車いすのタイヤ空気圧	40
ご使用前に確認して	
いただきたいこと	38
室内レイアウト	38
重量	40
乗車可能な車いす	41
スマートエントリー&	
スタートシステム	39
スロープ内幅	40
路面	39

## せ

セーフティベルト	
仮置きボックス	89
車外への降車	79
車内への乗り入れ位置	77, 78
手動での引き出し	75
乗車・降車方法のポイント	90
清掃	122
引き出せない・後退防止作動	
しないとき	146
セーフティベルトスイッチ	
解除	75, 80
作動	76
作動条件	49
セカンドシート	
標準車との相違点	26

## そ

走行する前に.....	116
操作スイッチ.....	62, 63
操作の流れ	
車いすを車外に降ろすとき.....	47
車いすを車内に乗り入れ・	
固定するとき.....	43

## て

定期点検整備記録簿.....	巻末
デッキポケット.....	35
点検・整備項目	
締め付けトルク基準値.....	156
消耗部品.....	156
定期点検整備.....	154
電動ウインチ	
ウインチスイッチ.....	82, 86
仮置きボックス.....	89
作動しないとき.....	148
作動条件.....	49
車外への降車.....	86
車内への乗り入れ位置.....	84, 85
手動での引き出し.....	82
清掃.....	122
電動スロープ	
格納.....	63
格納できないとき.....	142
作動しないとき.....	139
作動条件.....	49
清掃.....	120
展開.....	62

## は

バックドア.....	39, 52
バックしたとき	
工具・ジャッキの取り出し....	128

## ひ

ヒューズ	
エンジンルーム左側.....	133
助手席足元.....	136
左側リヤカバー内.....	134

## ふ

ブザー.....	50
フロアマット.....	124

## へ

ヘッドランプ光軸切りかえ機能....	66
ベルトの清掃.....	122

## ま

万ーの場合には	
故障かな?と	
お考えになる前に.....	133
パンクしたときは.....	128

## め

メインスイッチ.....	53
--------------	----

## や

夜間照明灯.....	34
------------	----

## ゆ

床面ロック.....	30, 31
------------	--------

## わ

ワイヤレスリモコン	
各部の名称.....	81
使い方.....	81
電池交換.....	140



お問い合わせ、ご相談は  
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター  
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を  
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、  
[https://toyota.jp/privacy\\_statement/](https://toyota.jp/privacy_statement/) にて  
掲載しております。

「リコール等情報」については、  
<https://toyota.jp/recall/index.html> にて  
掲載しております。

**トヨタ自動車株式会社**  
<https://toyota.jp>



M 28841

01999-28841

IT-2019年10月10日

2019年1月7日 初版

2019年10月17日 2版

エスクァイア／ノア／ヴォクシー  
車いす仕様車(スロープタイプ I・II)